索引（つづき）

アルファベット

数字

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX………………………………… 0466-31-2595

受付時間：月〜金曜日 9:00〜20:00 土・日・祝日 9:00〜17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

＊ I - 2 1 4 9 7 5 7 0 2 5 ＊

2-149-757-**02**(1)

Printed in Japan

SONY

ハードディスク搭載DVDレコーダー DESR-7100/DESR-5100

SONY

2-149-757-02(1)

ハードディスク搭載DVDレコーダー取扱説明書

DESR-7100
DESR-5100

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取扱説明書」と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次（操作編）

準備

PSX入門

テレビを楽しむ

ビデオを楽しむ

ビデオ

ミュージックを楽しむ

ミュージック

フォトを楽しむ

フォト

ゲームを楽しむ

ゲーム

“PlayStation® BB”を楽しむ

PSBB PlayStation®BB

目次(設定編)

DVD

必ずお読みください

本書の読みかた

- 取扱説明書（本書）では、リモコンのボタンを使った説明を主体としています。
- 取扱説明書（本書）で使われている画面イラストと実際に出る画面は異なることがあります。
- 取扱説明書（本書）で説明しているイラストは、DESR-7100を使っています。

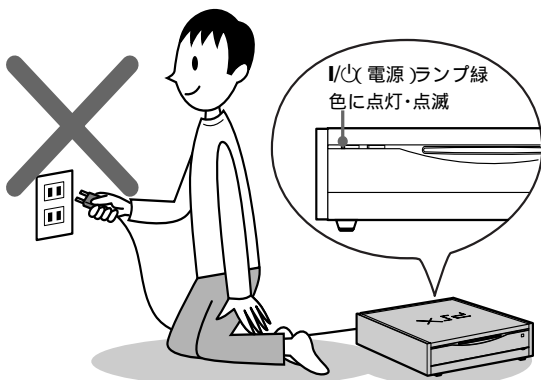
本機は日本国内専用品です。
DVDビデオを本機で再生して他機で録画する場合、録画動作が停止されたり、録画が制限されることがあります。これはDVDビデオに施されたコピープロテクションによるものです。このコピープロテクションを改変したり、除去するなどしてDVDビデオを録画することは、私的使用のためであっても、法律により禁止されています。

本機にはアクセスコントロールが施されています。DVDビデオ及び音楽CDを除く非専用ソフトウェア、並びに専用ソフトウェアの複製物は、本アクセスコントロールにより本機において使用することができません。本アクセスコントロールの無効化装置若しくはプログラム又は本無効化装置を組み込んだ本機を譲渡し、引き渡し、展示し、輸出し、輸入し、又は送信することは、法律により禁止されています。

本機は“PlayStation”や“PlayStation 2”と操作方法が異なることがあります。

本機の取り扱いについて

本機の起動と終了について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に本体のI/⏻（電源）スイッチを押してから、実際に起動するまでと、実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。
本体のI/⏻（電源）ランプが緑色に点灯・点滅しているときは、電源コードを絶対に抜かないでください。
本体のI/⏻（電源）ランプが点灯・点滅中に電源を抜くと、本機に内蔵されているハードディスクが壊れ、本機が使用できなくなることがあります。

ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しむことができます。その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。ハードディスクには記録した画像データを守るための安全機構が組み込まれていますが、大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- 電源プラグをコンセントにさしたまま本機を動かさない。
- 電源が入っているときは、電源プラグをコンセントから抜かない。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しない。
- 故障の原因となるため、お客様自身でハードディスクの交換や増設をしない。

何らかの原因で機器が故障した場合を含め、いかなる場合においても記録内容の補償はできません。ハードディスクは大切な画像データを編集してDVDにダビングするまでの一時的な記録場所としてご利用ください。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビまたは液晶テレビなどでは残像現象が起こりやすいのでご注意ください。

本機の取り扱いについて

- 本機は、コンセントの近くで使用してください。本機を使用中に不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光の当たる場所には置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばでは絶対に使用しないでください。
- タバコの煙やくん煙殺虫剤などが本機内部に入ると故障の原因となります。

結露について

結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。
結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

本機のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

クリーニングディスクについて

市販のレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

録画やダビングについて

大切な録画の場合は

必ず事前にためし録りをし、正常に録画･録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません

万一、本機のハードディスクやDVD+RW/DVD-RW/DVD-Rディスクの不具合、故障、修理、交換、その他の外部要因を含め何らかの原因で録画･編集ができなかった場合、録画･編集されたものが破損、消滅した場合等、いかなる場合においても記録内容の補償及びそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いません。

なお、ソフトウェア更新時に予期せぬ不具合により、まれにハードディスクに保存されている映像などに損傷を与えることがあります。

録画やダビングの制限について

「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像を本機で録画することはできません。また、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている映像を、本機で録画することはできますが、DVDにダビングすることはできません。番組の途中に「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれていると、そこから青色の画面がDVDに記録されます。

コピー制御信号の種類	本機のハードディスクに録画	➡ ハードディスクからDVDにダビング
録画自由 地上波放送など	○	○
1回だけ録画可能 BSデジタル放送など	○	×
録画禁止 DVDビデオなど	×	×

ご注意

地上･BS･110度CSデジタル放送のほとんどの番組は、コピー制御信号が含まれております。

「1回だけ録画可能」、「録画禁止」のコピー制御信号が含まれる番組をDVDへダビング、移動することはできません。

“PSX”では、「1回だけ録画可能」な番組はハードディスクにのみ録画することができます。

著作権について

- あなたが本機で録画･録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 本機は、無許諾のディスク（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- 本機の外部入力に接続したチューナーの番組には録画防止機能（コピーガード）がついている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。
- 本機は、接続するテレビの画面に合わせて画郭サイズを選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画郭表示機能を利用して再生などを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

DESR-7100/5100の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のために権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目4番6号赤坂三辻ビル2F
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）
FAX　03-5570-2560

ゲームについて

ゲームのディスクを使用するときのご注意

- "PlayStation 2"規格ソフトウェアや"PlayStation"規格ソフトウェアのディスクを他の機種で使用すると、機器などの故障の原因や、耳や目などの身体に悪い影響を与える場合がありますので絶対にやめてください。
- "PlayStation 2"規格ソフトウェアや"PlayStation"規格ソフトウェアのディスクを本機にセットする場合は、必ずレーベル面(タイトルなどが印刷されている面)を表に向けてディスク挿入口に入れてください。
- "PlayStation 2"規格ソフトウェアや"PlayStation"規格ソフトウェアのディスクは NTSC J あるいは FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY の表記のある日本国内仕様の"PSX"にのみ対応しています。

海外で購入したディスクについて

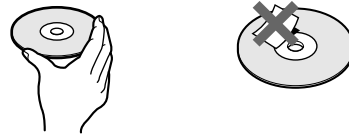
本機はNTSCカラーテレビ方式に対応しています。海外で購入された NTSC U/C 、NTSC C および PAL の表記がある"PlayStation 2"規格CD-ROMおよびDVD-ROM、"PlayStation"規格CD-ROMを本機で使用することはできません。

"PSX"の認証について

"PSX"は、"DNAS"(Dynamic Network Authentication System)という著作権およびセキュリティの保護を可能にする株式会社ソニー･コンピュータエンタテインメント独自の認証システムを使用しています。このシステムの無効化装置若しくはプログラムを譲渡し、引き渡し、展示し、輸出し、輸入し、または送信することは、法律により禁止されています。なお、"DNAS"に対応したコンテンツを、他の"PSX"や"PlayStation 2"で利用することはできません。

ディスクについて

ディスクの取り扱いに関するご注意

- 再生、録画面に手を触れないように持ってください。

- 直射日光が当るところなど温度の高い場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
- ディスクはケースに入れて保管してください。
- ディスクはいつもきれいに保ってください。指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。
- ディスクを拭くときは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクをいためることがありますので、使用しないでください。
- ディスクに鉛筆やボールペンなどで書き込みをしないでください。
- 次のようなディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
  - 紙やシールの貼られたディスク
  - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク
  - 特殊な形状をしたディスク

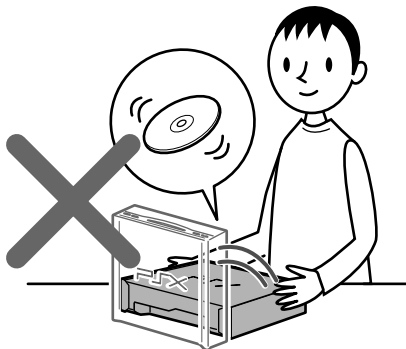
音量を調節するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。
再生を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。

地域番号(リージョンコード)について

DVDビデオのパッケージには地域番号が表示されています。
地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。

ディスクのご注意

- 8cmディスクには再生のみ対応しています。
- パッケージに「ビデオ用」または「for Video」と記載のあるディスクをお求めください。
- 本機で読み込みができないパソコンで記録したデータは消去されることがあります。
- 本機のDVD-RWのVRモードでダビングしたディスクは、通常のDVDプレーヤーでは再生できません。DVD-RW（VRモード）対応プレーヤーでのみ再生可能です。
- 本機のDVD+RWでダビングしたディスクは、通常のDVDプレーヤーでは再生できません。DVD+RW対応プレーヤーでのみ再生可能です。
- 他のDVD機器で記録されたDVD-RW/DVD-RまたはCD-Rディスクは、傷や汚れ、また記録状態や記録機、CD/DVDソフトの特性などにより再生できないことがあります。また、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業を正しくしていないディスクは再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をお読みください。
- 本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社により著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生や取り込みができない場合があります。
- ディスクを入れたまま、本機を絶対に動かさないでください。
  ⏏（取り出し）ランプ点灯中に本機を動かすと、ディスクに傷が付くことがあります。本機の設置方法（縦置き⟺横置き）を変更するときなどは、必ずディスクを取り出してから行ってください。

DVDディスク再生時のご注意

- 他機で作成したCPRM*対応のディスクを再生することはできません。
- DVDビデオはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

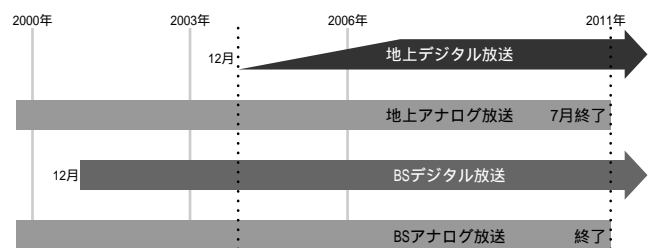
* CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化する技術です。

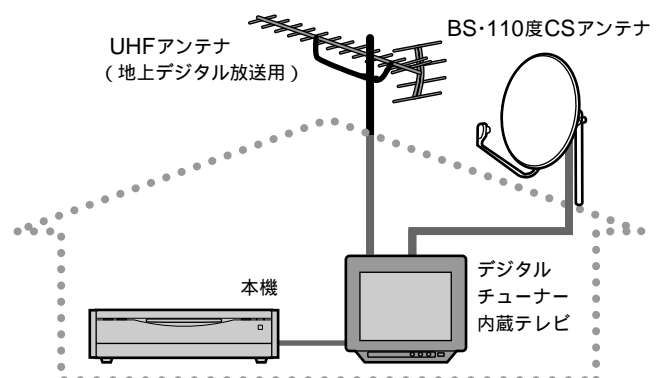
“メモリースティック”の取り扱いに関するご注意

- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”を付属の収納ケースに入れてください。
- “メモリースティック”の端子部に触れたり、金属を接触させないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたりしないでください。
- 落としたりしないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所に保管しないでください。
- 直射日光のあたる場所に保管しないでください。
- 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所に保管しないでください。

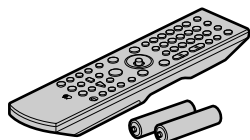
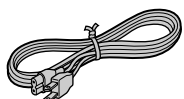
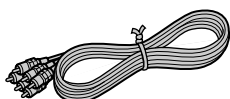
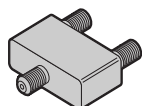
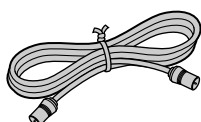
アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

本機でデジタル放送を録画するには

別売りのデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、本機を接続することにより、デジタル放送を録画いただけます。番組によっては、コピー制御信号により、録画や一度録画したタイトルのダビングができない場合があります。

準備１　付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。

リモコン（1）
単3乾電池（2）

電源コード（1）

映像･音声コード（1）

アンテナ分配器（2）

F型コネクター付同軸ケーブル（4）

取扱説明書

準備ガイド

保証書

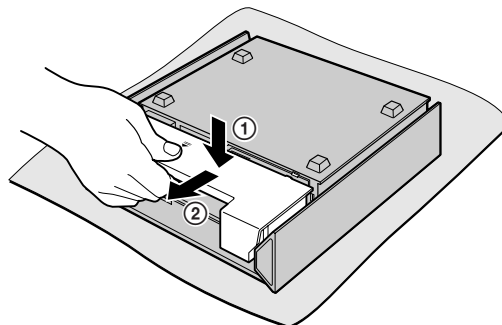
安全のために

“ PSX ”カルテ

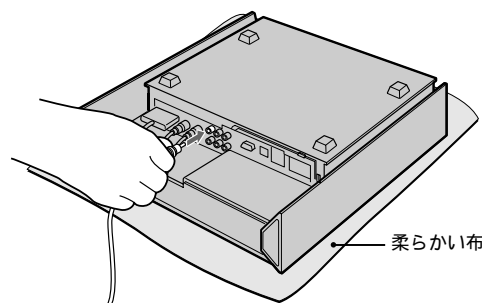
（各１部）

準備2　アンテナを接続する

ご注意はP26へ

本機底面のふたのはずしかた

① を一度押し込んでから、②手前に引っぱる。

接続するときの設置のしかた

接続をするときのみ、下の図のように本機を設置して接続してください。
前面を下にして接続すると前面に傷がつくことがありますので、必ず柔らかい布の上に、本機の天面を下にして接続してください。
接続が終了したら、「準備6　設置する」（19ページ）をご覧になり、正しい方法で本機を設置してください。

電源コードは必ず、すべての接続が終わってから接続してください。

VHF/UHFとBSアンテナが別々のときは

BS

サテライト用同軸ケーブル
（室外用防水型：別売り）

アンテナ分配器
（付属）

POWER PASSの端子へ

F型コネクター付
同軸ケーブル（付属）

F型コネクター付
同軸ケーブル（付属）

BS IF IN
（入力）

本機後面

テレビのBS IF
入力端子へ

VHF/UHF IN
（入力）

テレビのVHF/UHF
入力端子へ

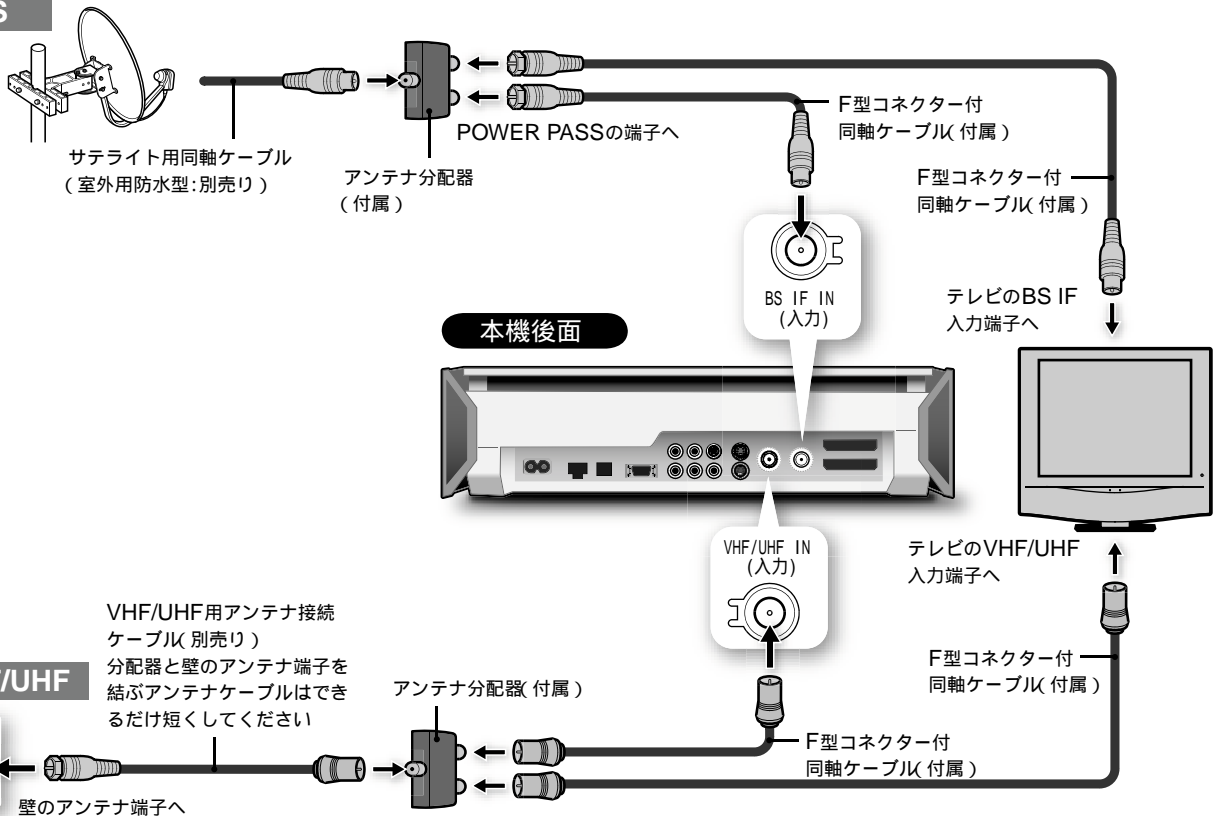
VHF/UHF用アンテナ接続
ケーブル（別売り）
分配器と壁のアンテナ端子を
結ぶアンテナケーブルはでき
るだけ短くしてください

VHF/UHF

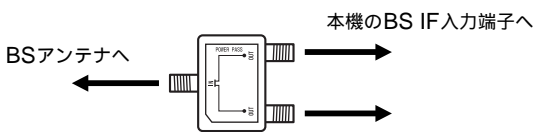
アンテナ分配器（付属）

F型コネクター付
同軸ケーブル（付属）

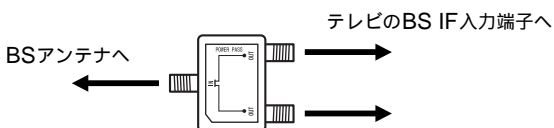
F型コネクター付
同軸ケーブル（付属）

壁のアンテナ端子へ

BSアンテナの分配について

本機から**BS**アンテナに電源を供給するときは

分配器のPOWER PASSと書かれている端子と、本機のBS IF入力端子を接続します。

上記のように接続したときは、「準備7　かんたん設定をする」（20ページ）で「BSアンテナ電源」を「入」にしてください。

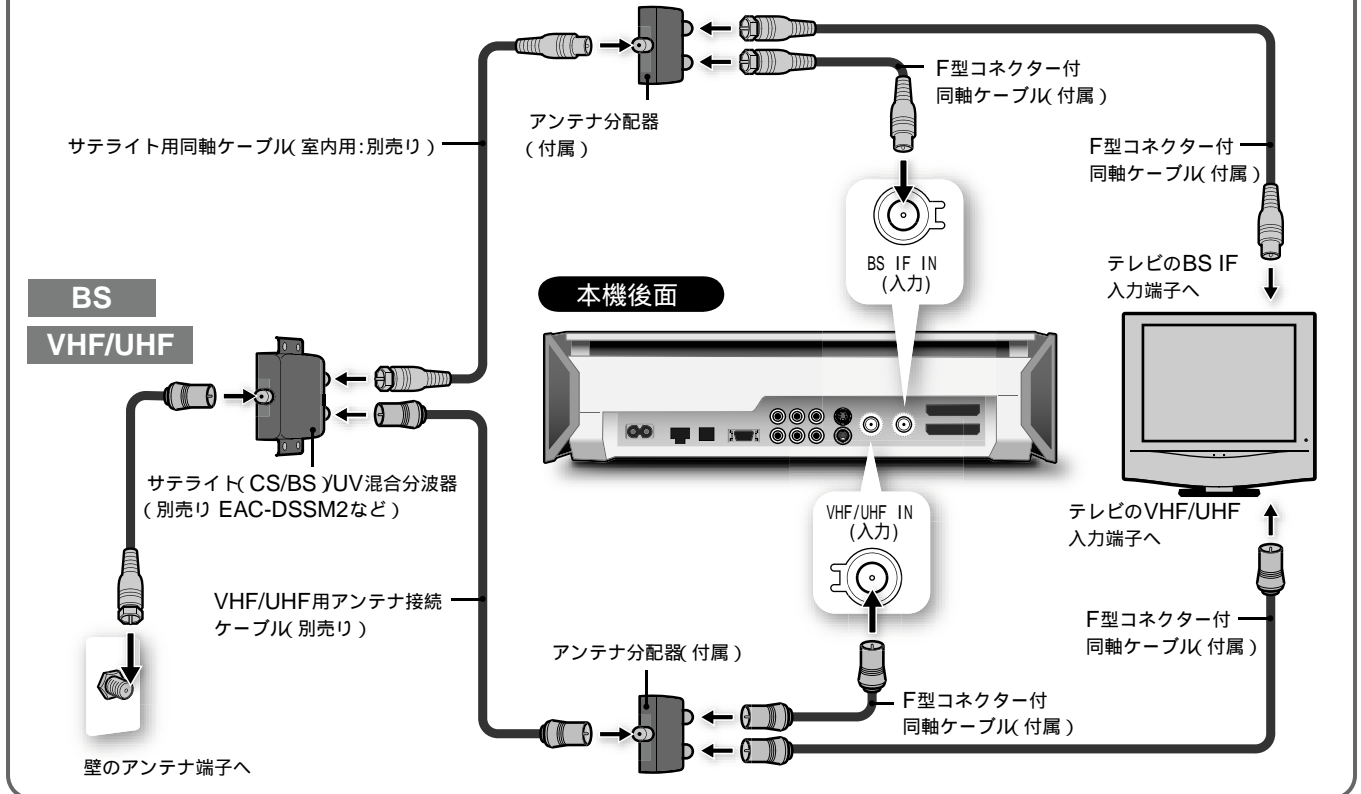
テレビ側で**BS**アンテナに電源を供給するときは

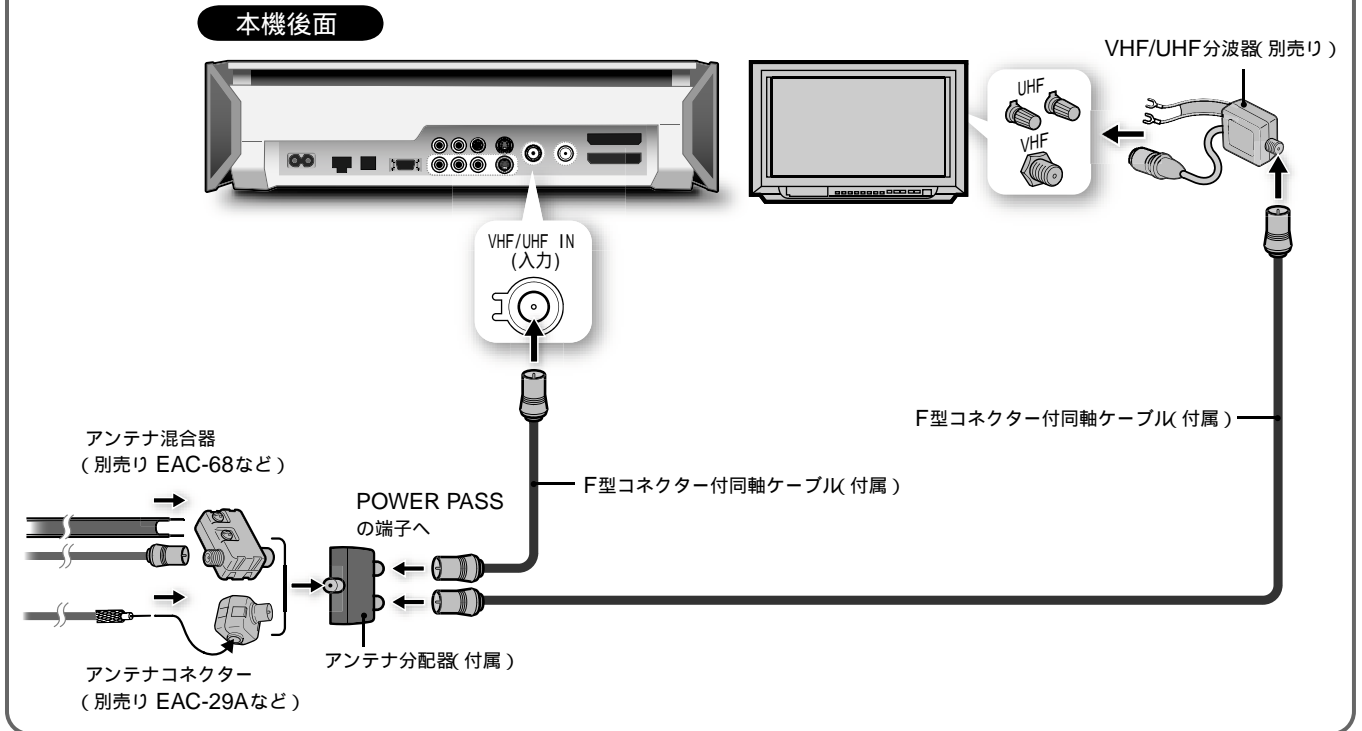
分配器のPOWER PASSと書かれている端子と、テレビのBS IF入力端子を接続します。

上記のように接続したときは、「準備7　かんたん設定をする」（20ページ）で「BSアンテナ電源」を「切」にしてください。

準備2　アンテナを接続する（つづき）

VHF/UHFとBSアンテナが混合のときは

下の接続図のように、BS放送とテレビ放送を分波して接続してください。また、「準備7　かんたん設定をする」で「BSアンテナ電源」を「切」にしてください（20ページ）。お使いのテレビのコンバーター用電源の設定も「切」にしてください。

BS
VHF/UHF
本機後面
アンテナ分配器
（付属）
F型コネクター付
同軸ケーブル（付属）
サテライト用同軸ケーブル（室内用：別売り）
F型コネクター付
同軸ケーブル（付属）
BS IF IN
（入力）
テレビのBS IF
入力端子へ
サテライト（CS/BS）/UV混合分波器
（別売り EAC-DSSM2など）
VHF/UHF IN
（入力）
テレビのVHF/UHF
入力端子へ
VHF/UHF用アンテナ接続
ケーブル（別売り）
F型コネクター付
同軸ケーブル（付属）
アンテナ分配器（付属）
F型コネクター付
同軸ケーブル（付属）
壁のアンテナ端子へ

本書記載の別売アクセサリーは、2004年6月現在のものです。万一、品切れや生産完了の際はご容赦ください。

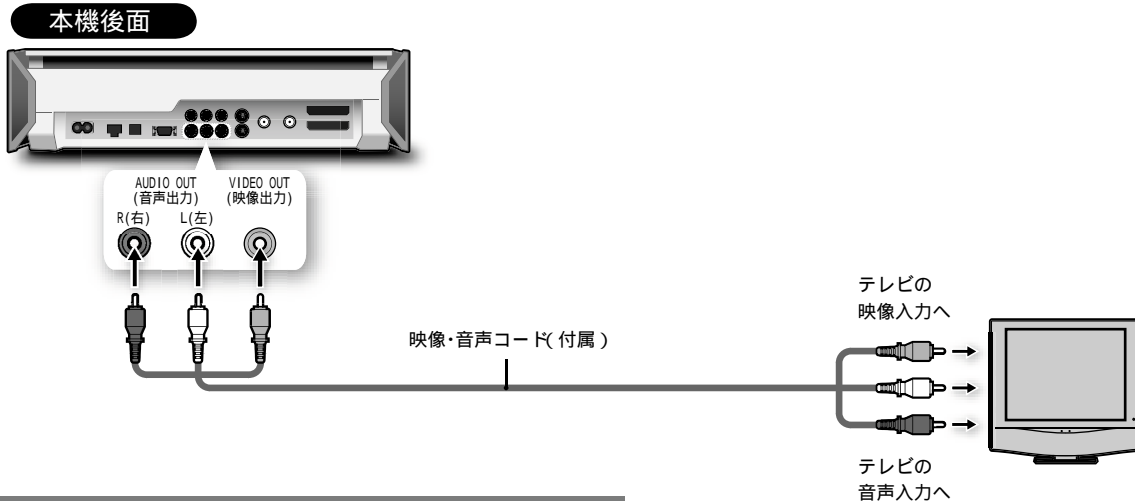
お使いのテレビがフィーダー線＋プラグ付き同軸ケーブルのときは

テレビの映りが悪いときは

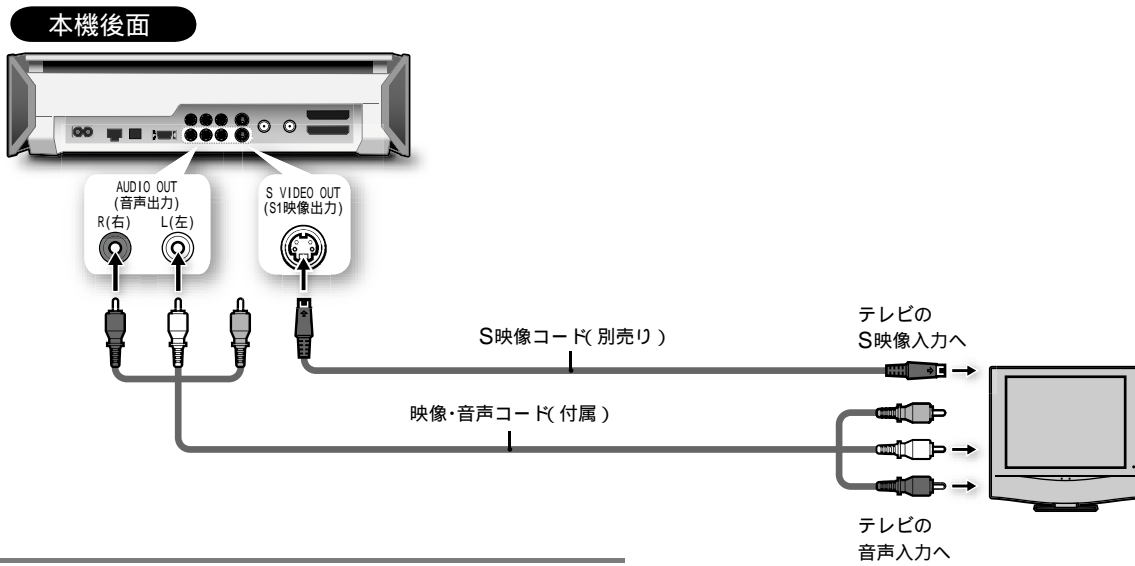
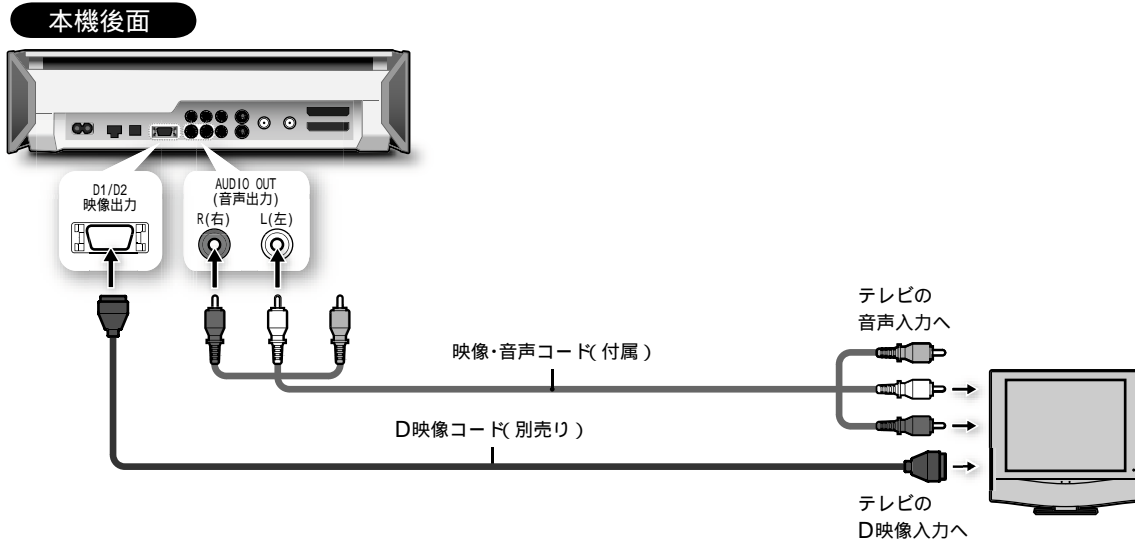
本機で受信したテレビ番組が映らない場合や、画面に乱れが生じるときは、アンテナ分配器の代わりに、市販のアンテナブースターを使ってVHF/UHF端子にアンテナを接続してください。

⚠警告

BS IF入力端子には付属の同軸ケーブルをつないでください

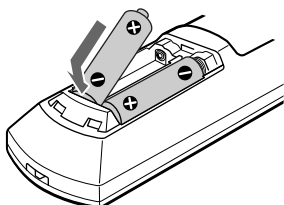
付属の同軸ケーブル以外のケーブルをBS IF入力端子に絶対につながないでください。BS IF入力端子からはBSコンバーター用の電源が供給されているため、専用のケーブルをつながないとショートして火災などの事故の原因となることがあります。

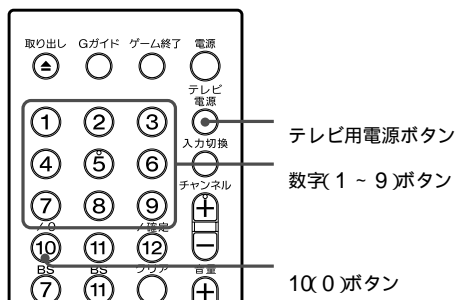
準備3　映像と音声のケーブルを接続する

映像ケーブルを使って接続する場合

S映像ケーブルを使って接続する場合

D端子ケーブルを使って接続する場合

準備4　リモコンを準備する

ご注意はP26へ

リモコンに電池を入れる

リモコン裏面のふたを開け、付属の電池を入れてください。
下図のように必ず⊖極側から電池を入れてください。

各社のテレビを操作できるように設定する

本機のリモコンでテレビのチャンネルや音量、電源を操作できます。お買い上げ時はソニーのテレビを操作できるように設定されています。

テレビ用電源ボタンを押しながら、操作したいテレビのメーカー登録番号を2ケタ続けて押す。

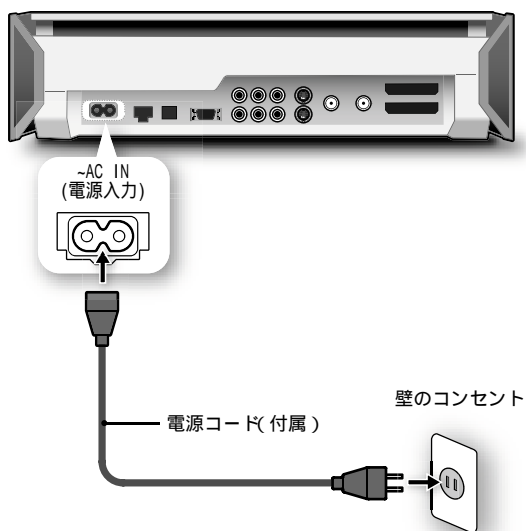
入力例
東芝:テレビ電源ボタンを押しながら ⑩ → ③
パイオニア:テレビ電源ボタンを押しながら ① → ⑩

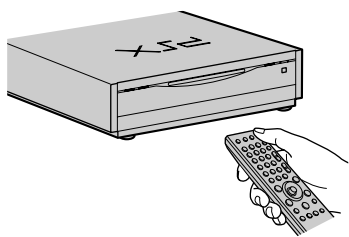
テレビのメーカー	登録番号
ソニー *1	01(お買い上げ時の設定)、12
松下電器産業*1	02、13
東芝	03
日立製作所	04
三菱電機	05
日本ビクター	06
三洋電機*1	07、15
シャープ*1	08、16
NEC	09
パイオニア*2	10
富士通ゼネラル	11
フナイ	14
アイワ*1	01、17
三星(SAMSUNG)*1	18、19

*1 メーカー番号が2つ以上あるときは、順に試してテレビが操作できる番号を選んでください。

*2 入力切換ボタンは使えません。

準備5　電源コードを接続する

電源コードは必ず、すべての接続が終わってから接続してください。本機へ電源コードをつないでから、コンセントに電源コードを差し込みます。

電源コードをつなぐと、本機の冷却ファンとハードディスクが動作します。
HDD ACCESSランプが消えるまで待ってから電源を入れてください。

リモコンの電源ボタンで電源が入るか確認する

リモコンの電源ボタンを押し、本機の電源を入れる。

“ PSX ”のロゴが画面上に表示され、しばらくするとかんたん設定の画面が表示されます。
「準備7　かんたん設定をする」(20ページ)をご覧ください。

リモコンの電源ボタンで電源が入らないときは

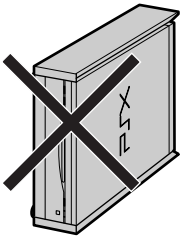
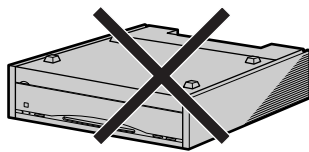
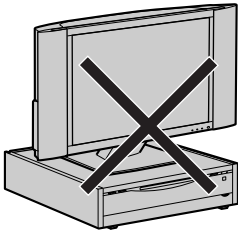
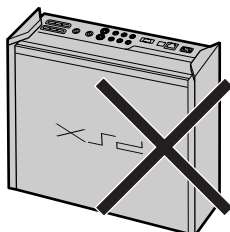
リモコンのリモコンモードスイッチが“ 1 ”に設定されているか確認してください。
本機のリモコンモードとリモコンのリモコンモードスイッチの数字が異なっていると、リモコンで本機を操作することができません。
本機のリモコンモードはお買い上げ時に“ 1 ”に設定されていますので、リモコンのリモコンモードスイッチも“ 1 ”に合わせる必要があります。

1つのリモコンで複数の“ PSX ”を操作したいときは、本体とリモコンのリモコンモードを他の“ PSX ”と異なる番号に設定してください。
設定方法について詳しくは、「リモコンモードを変更する」(110ページ)をご覧ください。

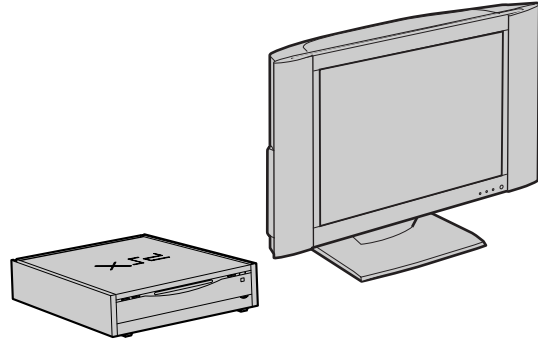
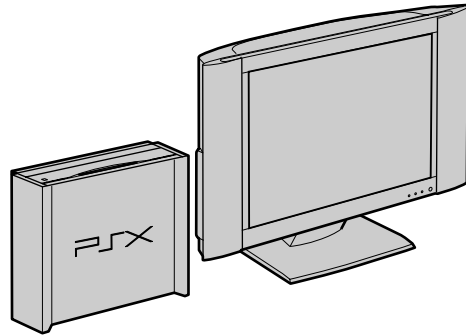
準備6　設置する

禁止されている設置方法について

本機を設置するときは、正しい設置方法以外の向きで設置しないでください。
誤った方法で設置すると、ディスクが読めなかったり、故障の原因になったりします。

－ 側面を下にして設置

－ 天面を下にして設置

－ 本機の上にテレビなどをのせて設置

－ 前面を下にして設置

正しい設置のしかた

本機を設置するときは、下図の方法で平らな場所に設置してください。

横置きのとき

縦置きのとき

本機に振動や衝撃を与えないでください

ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、誤った方法で使用すると、記録したデータを失ったり、故障の原因となります。
次の点に特に注意して使用してください。

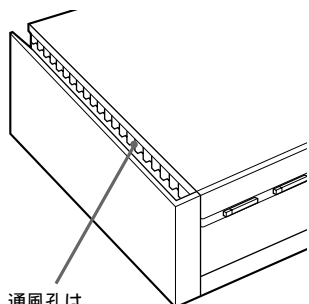
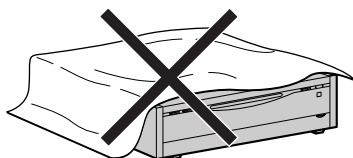
- 電源コードを差したまま本機を移動させたり、設置方向を変えない。電源コードをつなぎ電源ランプが赤色に点灯しても、ハードディスクが動作している場合があります。
- 電源コードの抜き差ししたときや、電源を入り切りしたときはすぐに動かしたり、移動させたりしない。ハードディスク保護のため、電源を切ってから20秒程度お待ちください。
- 振動や衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- 録画中や再生中には電源コードを抜かない。
- 専用アナログコントローラ等のケーブルを強く引っ張らない。縦置きしているとき、本機が倒れる恐れがあります。保護者の方は、お子様へのご注意をお願いします。

次のような場所には設置しないでください

- 直射日光が当る場所や、湿度の高い場所
- 極端に寒い場所
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い場所(チューナーやテレビ、ビデオデッキと一緒に使用するとき、近くに置くと雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。)
- じゅうたんなどの上
- 水がかかる場所
- ほこりの多い場所
- 不安定な場所

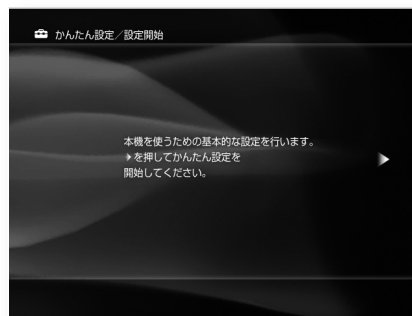
また、故障の原因となりますので、次のようなことはしないでください

- 花瓶など水の入った容器を本機の上にのせる
- やかんなど高温の物をのせる
- 本機を傾けて設置する
- 本機の上に布などをかけて通風孔をふさぐ

本機の通風孔は本体側面にあります

設置場所を変えるときは

ディスクを入れたまま本機を動かさないでください。ディスクを傷めることがあります。

準備7　かんたん設定をする

「準備5　電源コードを接続する」(18ページ)で電源を入れると、かんたん設定が表示されます。
本機を使うための基本的な設定を行います。

画面の指示に従って設定を行ってください。
かんたん設定では以下の項目の設定ができます。
かんたん設定の流れ

設定1:BSアンテナ電源

本機からBSアンテナに電源を供給するための設定です(95ページ)。

設定2:時刻設定

日付(年/月/日)と時刻の設定ができます(108ページ)。

設定3:地域番号設定

本機を使用する地域を設定します。設定した地域に合わせて、番組表に表示させるチャンネルを自動的に調整します。放送局などの都合で変更がない限り、設定を手動で変更する必要はありません。地域について詳しくは、「ガイドチャンネル一覧」(136ページ)をご覧ください。
地域番号設定をすると、番組表の番組情報を取得するための時刻も自動的に設定されます。

番組情報は設定した地域番号によって取得時刻が異なります。お住まいの地域とは異なる地域番号を登録したり、番組表の取得時刻を手動で変更すると、番組情報を取得できなくなりますので、放送局からのお知らせがない限り、絶対に変更しないでください。

準備7　かんたん設定をする(つづき)

設定4:自動チャンネル設定

受信可能なチャンネルを自動的に受信します。
受信するチャンネルを手動で変更したいときは、「受信するチャンネルを手動設定する」(94ページ)をご覧になり[受信チャンネル]を変更してください。

設定5:TVタイプ

お使いのテレビの横縦比に合った映像を表示させることができます(106ページ)。

設定6:光デジタル出力設定

光デジタル端子を使用して、他のオーディオ機器とつなぐための設定をします(107ページ)。
「光デジタル出力」を「入」に設定すると、ドルビーデジタルの設定(101ページ)とDTSの設定(101ページ)へ進みます。

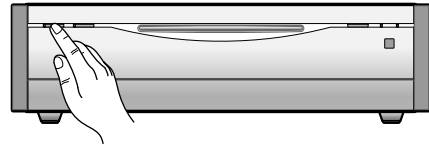
設定7:ハードディスク領域設定

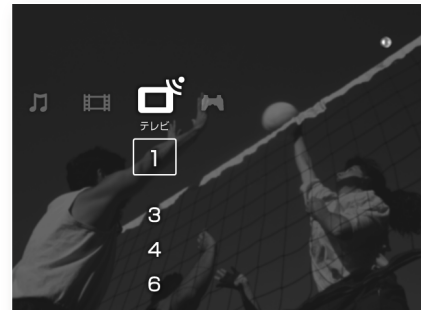
ハードディスクの使用領域を確認してください。

本機でハードディスク対応ゲームを遊ばない場合は、「ハードディスクの領域を変更する」(107ページ)をご覧になり、ゲームの領域を0GB(ギガバイト)にする設定を選択してください。そのままにしておくと、最大録画可能時間が短くなります。ゲームをする可能性があるときは、40GBの設定にしてください。

電源を入れる

本体のI/⏻(電源)スイッチまたはリモコンの電源ボタンを押してください。

本機前面

電源を入れると以下の順で画面が表示されます。

しばらくすると

しばらくすると

※番組名は番組表の番組情報を取得しないと表示されません。

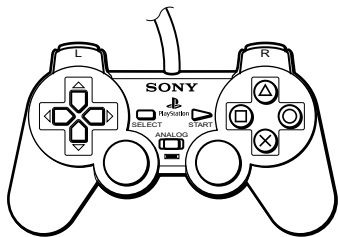
電源を切るには

本体のI/⏻(電源)スイッチを押してください。
I/⏻(電源)スイッチを押してから、本機の電源が切れるまで数秒間かかります。故障の原因となりますので、I/⏻(電源)スイッチを続けて押さないでください。

ゲームの準備をする

準備

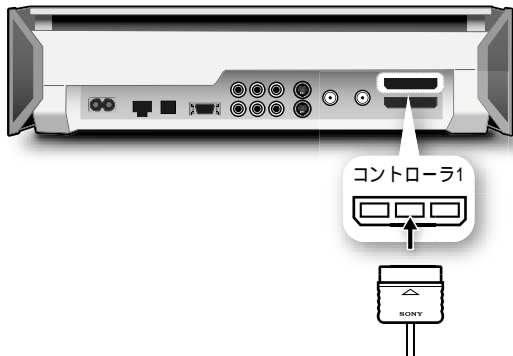
本機でゲームを楽しむ前に、以下の別売りアクセサリーを用意してください。

"PSX"専用アナログコントローラ（DESR-10）

接続のしかた

本機後面のコントローラ1に接続してください。

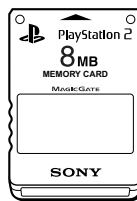
コントローラ2はゲームのときだけに使います。

コントローラ2に接続したアナログコントローラで本機のゲーム以外の操作を行うことはできません。

本機後面

ご注意

ゲーム以外の操作をコントローラで行うときは、コントローラ1に接続してください。

"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカード（本機は両方のカードに対応しています。）

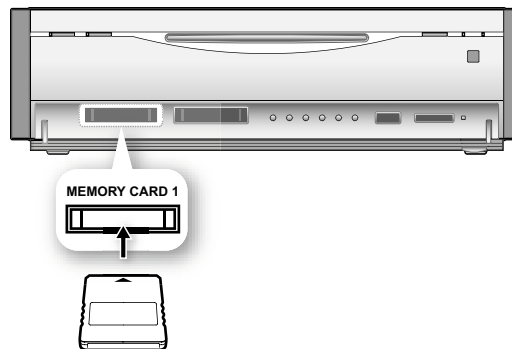
本機は"PocketStation"に対応していません。

"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）

メモリーカード

"PocketStation"

差し込みかた

本機前面のふたの中にある、MEMORY CARD1またはMEMORY CARD2に差し込んでください。

本機前面

ゲームの準備をする(つづき)

“ **PlayStation 2** ”専用メモリーカード(**8MB**)について

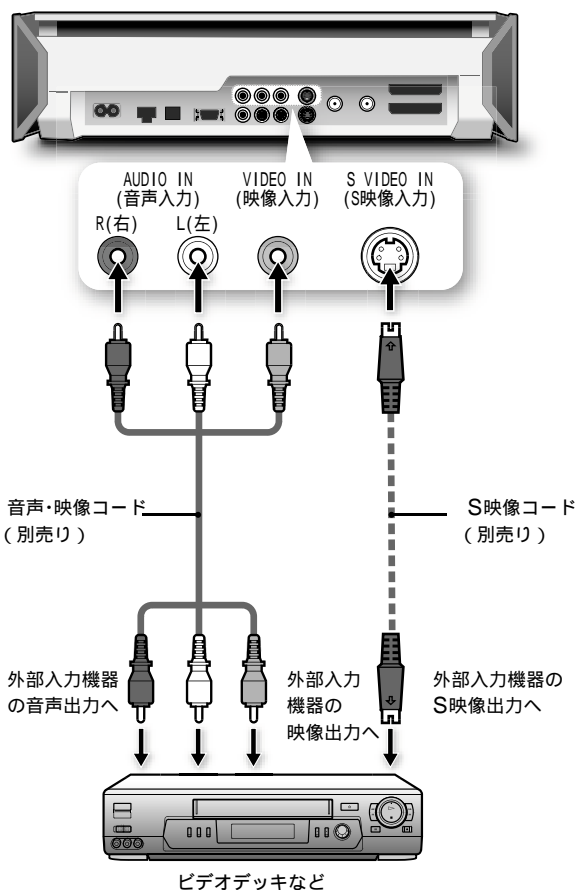
“ PlayStation 2 ”規格ソフトウェアのゲームデータをセーブまたはロードできます。
ゲームデータの確認やコピー、削除は、ゲームの[メモリーカードユーティリティ]で行ってください(88ページ)。
1枚の“ PlayStation 2 ”専用メモリーカードにつき、約8MBのゲームデータをセーブできます。
ただし、ファイル管理情報として使用される容量の分だけ空き容量が少なくなる場合があります。

メモリーカードについて

“ PlayStation ”規格ソフトウェアのゲームデータをセーブまたはロードできます。
ゲームデータの確認やコピー、削除は、ゲームの[メモリーカードユーティリティ]で行ってください(86ページ)。
1枚のメモリーカードにつき、120KB(15ブロック)のゲームデータをセーブできます。
“ PlayStation 2 ”規格ソフトウェアのゲームデータを、メモリーカードにコピーすることはできません。

ゲームデータのセーブについて

“ PlayStation 2 ”専用メモリーカード(8MB)またはメモリーカードの空き容量を超える容量を必要とするゲームデータをセーブしようとしても、セーブできません。ゲームで遊ぶ前に、データのセーブに必要な容量とカード内の空き容量を確認してください。データのセーブに必要な容量は、ゲームソフトに付属の解説書などをご覧ください。

外部入力機器をつなぐ

接続した外部入力機器を見るには

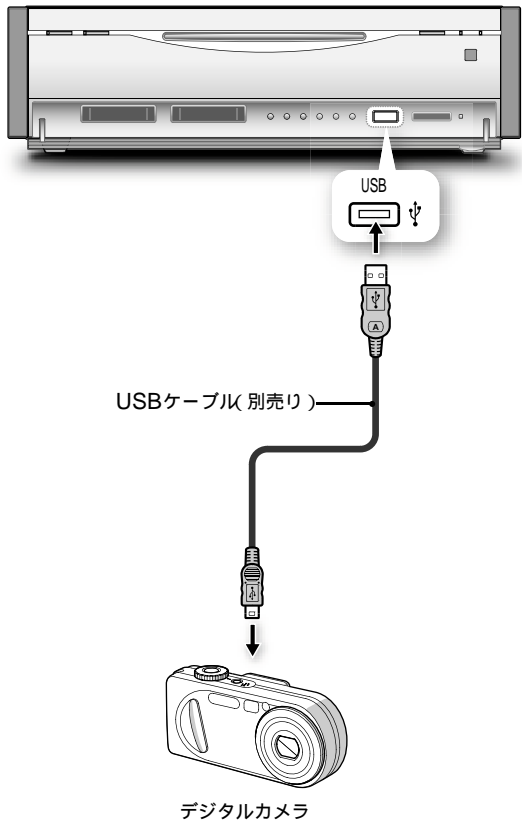
⬆⬇でホームメニューの (テレビ)から LINE (外部入力)を選び 決定 を押します。
詳しくは「テレビを見る」(40ページ)をご覧ください。

S映像コードで外部入力機器を接続したときは

「ビデオの設定をする」の「外部映像を入力する端子を設定する」で「S映像」を選んでください(98ページ)。

デジタルカメラをつなぐ

ご注意はP27へ

USBケーブルを使って本機とデジタルカメラを接続します。

接続したデジタルカメラの写真を見るには

デジタルカメラを本機に接続すると がホームメニューに表示されるようになります。

Step1 ⬆⬇でホームメニューの (写真)から (デジタルカメラ)を選び 決定 を押す。

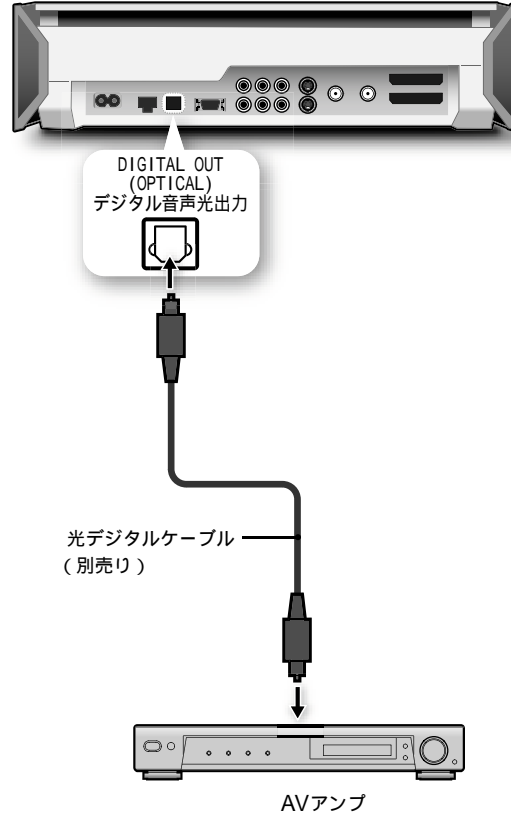
Step2 ⬆⬇で表示させたいフォルダを選び 決定 を押す。

Step3 ⬆⬇で見たい写真を選び 決定 を押す。

詳しくは「写真を再生する」(80ページ)をご覧ください。
本機はソニー製デジタルカメラに対応しています。本機に接続できるソニー製デジタルカメラの種類については、以下のホームページでご確認ください。
http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

光デジタル入力対応のオーディオ機器をつなぐ

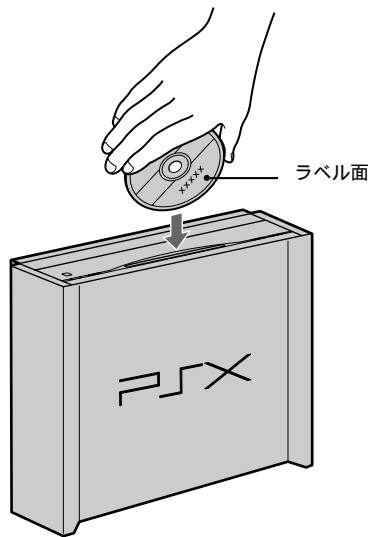
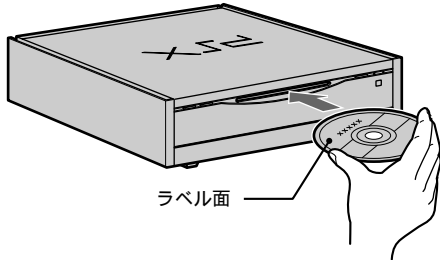
ご注意はP27へ

光デジタル音声入力端子を持つAVアンプをつなぎます。

光デジタル出力から音声を出力するには

(本体の設定)の「光デジタル出力を設定する」(107ページ)で[光デジタル出力]を[入]に設定します。

ディスクや"メモリースティック"の入れかたについて

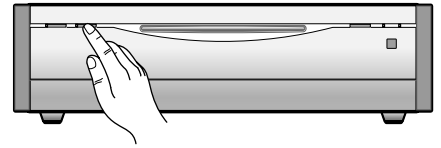
ご注意はP27へ

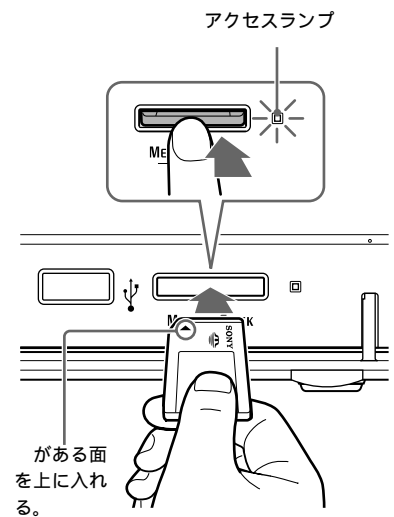
ディスクを入れるには

ディスクのラベル面(再生面ではない面)を表に向けてディスク挿入口に入れる。
上図の矢印の向きに沿ってまっすぐ入れてください。

8cmディスクを入れるときは

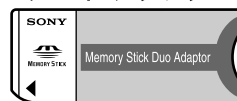
本機は8cmディスクのアダプターを使わずに再生できます。ディスクをディスク挿入口の中央に合わせ、まっすぐ入れてください。
8cmディスクにアダプターをつけて本機に挿入すると、故障の原因となります。
また本機の故障の原因となりますので、ディスクはゆっくり入れてください。

ディスクを取り出すには

本機前面

⏏取り出しボタンを押す。
ディスクが自動的に出ます。
⏏取り出しボタンを押しても、ディスクが取り出せないときは、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

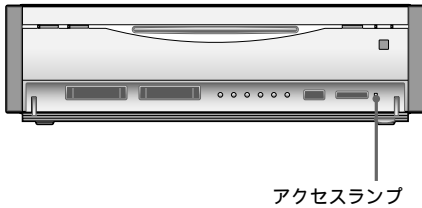
"メモリースティック"を入れるには

"メモリースティック"の▲の向きを確認し、MEMORY STICK挿入口にしっかり入れる。
奥へ押し込むとアクセスランプが点灯して消えます。

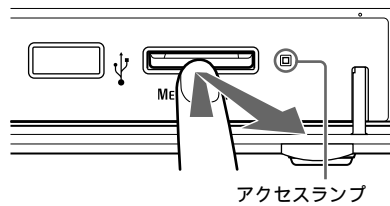
"メモリースティック デュオ"を使うときは

"メモリースティック デュオ"に"メモリースティック デュオ"アダプターを取り付けてから本機のMEMORY STICK挿入口に入れてください。

"メモリースティック デュオ"アダプター　　"メモリースティック デュオ"

◀マークの方向に差し込む

“メモリースティック”を取り出すには

Step1

アクセスランプが点灯していないことを確認する。

Step2

“メモリースティック”をゆっくり奥に押し込んでから取り出す。

次のとき“メモリースティック”や“メモリースティック”挿入口が破損することがあります

- アクセスランプがオレンジ色で点灯中のときに、電源コードを抜く。
- “メモリースティック”を無理に引っ張り出す。
- “メモリースティック”挿入口に“メモリースティック”以外の異物を入れる。
- “メモリースティック”を逆向きに無理に入れる。

「準備」に関するご注意

「準備**2** アンテナを接続する」のご注意

- ハイビジョン専用コンポーネントビデオ入力($Y/P_B/P_R$)には対応していません。

  本機をプログレッシブ(525p)方式に対応するテレビなどにつないでプログレッシブ出力したときに、画像の乱れなどの問題が生じた場合は、通常のテレビ(インターレース)方式でご覧になることをお勧めします。プログレッシブ方式について詳しくは、「プログレッシブ出力を設定する」(101ページ)をご覧ください。

  本機とテレビとの互換性については、お客様ご相談センターにお問い合わせください。
- 本機は525i(480i)の標準テレビ放送信号で出力された映像のみ録画できます。ハイビジョン信号は録画できません。
- 本機ではBS WOWOW放送のデコーダーを接続することができません。
- 画像の乱れを防ぐために、本機の上にテレビを直接置かないでください。
- アンテナ線はなるべく短くし、本機から離してお使いください。特にフィーダー線は同軸ケーブルにくらべて雑音電波などの影響を受けやすいため、本機からできる限り離してください。
- 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
  - お住まいの地域またはBSを送信する放送衛星会社のある地域が雷雨、強風などの悪天候のとき
  - BSアンテナに雪が付着しているとき
  - 強風などでアンテナの向きが変わったとき(BSアンテナの向きを調整してください。)

「準備**4** リモコンを準備する」のご注意

- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直接日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

「本機のリモコンで各社のテレビを操作できるよう設定する」のご注意

- テレビによってはメーカー登録番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
- メーカー登録番号を新たに入力すると、それまで設定していたメーカー登録番号は消えます。
- リモコンの電池を取り換えたときは、メーカー登録番号が自動的にお買い上げ時の設定に戻ることがあります。その場合は、メーカー登録番号をもう一度入力し直してください。

「デジタルカメラをつなぐ」のご注意

・他社製のデジタルカメラやUSB経由の記憶メディアは本機には対応していません。

「光デジタル入力対応のオーディオ機器をつなぐ」のご注意

・ドルビーデジタル*方式、DTS方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。
・" PlayStation 2 "規格ソフトウェアの一部には、DIGITAL OUT（OPTICAL）（光デジタル出力）端子からの音声出力に対応していないものがあり、その場合オーディオ用光デジタル接続コードで接続しても音声が出力されません。そのようなソフトウェアの音声を楽しむには、本機と音響機器を付属の音声コードで接続する必要があります。

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、ドルビーデジタル及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「ディスクや" メモリースティック "の入れかたについて」のご注意

・" メモリースティック "を取り出すときに、指で横にはじいて出さないでください。目などに入って怪我をすることがあります。

基本操作を確認する

ホームメニューの紹介

電源を入れ、本機が起動するとホームメニューが表示されます。
本機では、ホームメニューからテレビ・ビデオ・ミュージック・フォト・PSBBなどのジャンルを選び、各ジャンルのコンテンツや機能を利用します。

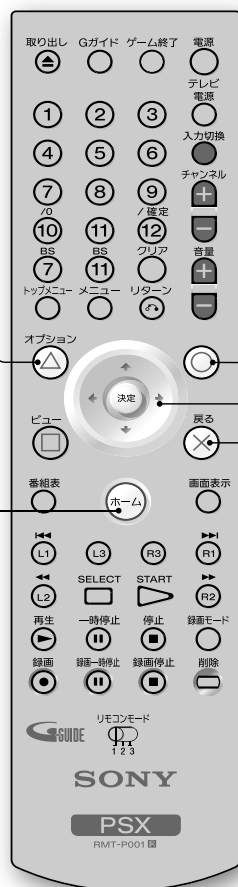
リモコンの操作方法について

本機は以下のリモコンのボタンだけで基本的な操作ができます。

△ボタン

- オプション機能を表示したいときに押します。
- 操作パネルを表示させたいときに押します。

ホームボタン

ホームメニューに表示したい/戻りたいときに押します。

○/決定ボタン

- コンテンツを再生するときに押します。
- メニュー上で選んだ項目を確定するときに押します。

十字キー

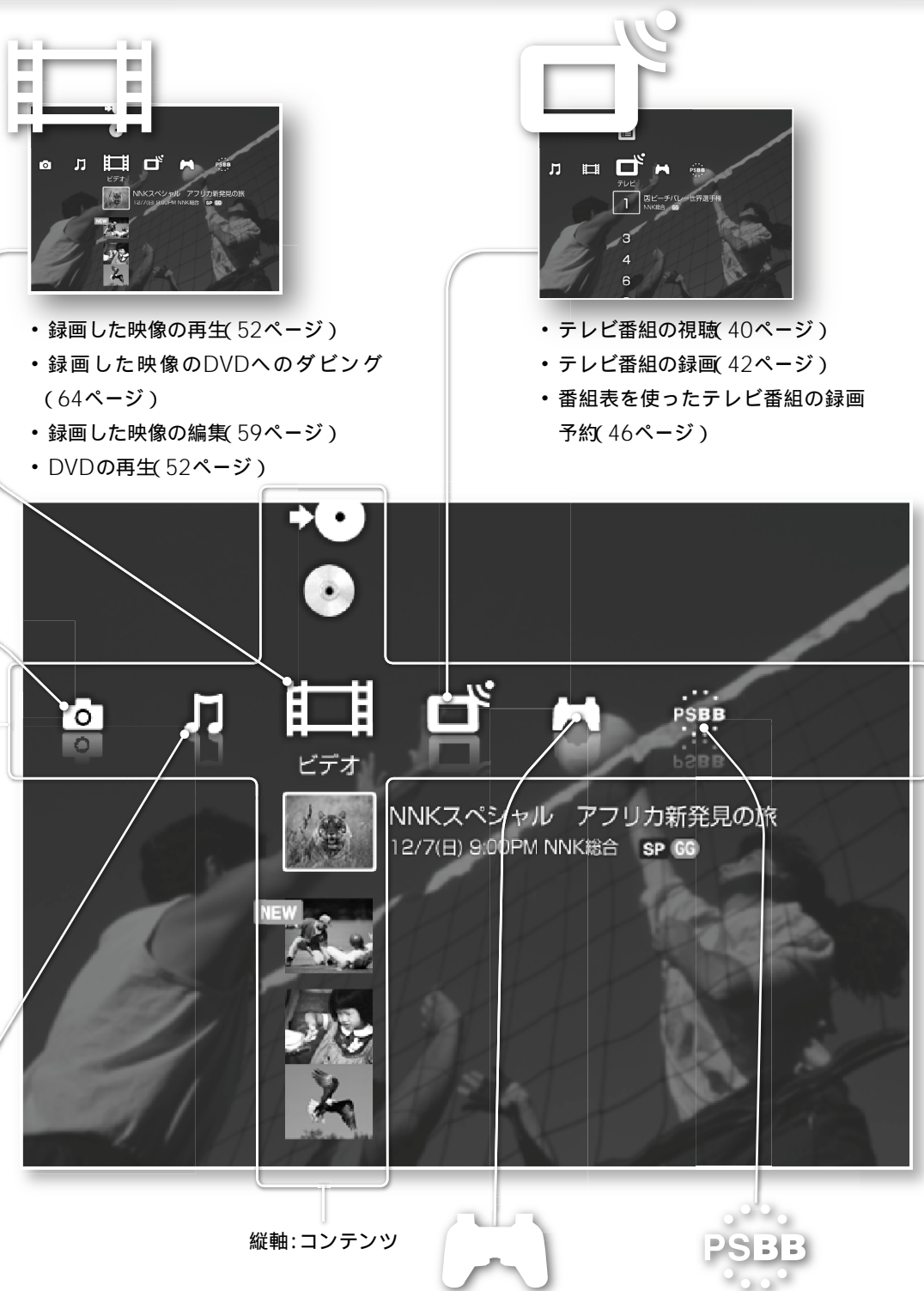
- メニュー上に表示されるカーソルを移動させるときに使います。
- ウィザードの画面を切り換えるときに使います。

✕ ボタン

- 再生を停止し、ホームメニューに戻るときに使います。
- 一つ前のメニューに戻るときに押します。

リモコンのその他のボタンの説明については、「各部のなまえ」(140ページ)をご覧ください。

- "メモリースティック"やデジタルカメラ、CD-Rに保存した写真や動画の再生(80ページ)
- "メモリースティック"やデジタルカメラ、CD-Rに保存した写真や動画のハードディスクへの保存(84ページ)

- CDやCD-Rに記録されている曲の再生(72ページ)
- CDやCD-Rに記録されている曲のハードディスクへの保存(75ページ)

- 録画した映像の再生（52ページ）
- 録画した映像のDVDへのダビング（64ページ）
- 録画した映像の編集（59ページ）
- DVDの再生（52ページ）

- テレビ番組の視聴（40ページ）
- テレビ番組の録画（42ページ）
- 番組表を使ったテレビ番組の録画予約（46ページ）

- “PlayStation”や“PlayStation 2”のゲームで遊ぶ（86ページ）

PSBB

- ゲームメーカーやプロバイダなどが提供するコンテンツの閲覧（92ページ）

主なメニュー画面の紹介

オプションメニュー画面

ホームメニュー上に表示されている、コンテンツやディスク、フォルダに対して操作をしたいときに利用します。
このメニューの基本的な操作方法
ジョイスティックの↑↓で利用したい機能を選び、(決定) を押します。

操作パネルの画面

再生中のコンテンツを操作したいときに利用します。
このメニューの基本的な操作方法
ジョイスティックの↑↓←→で利用したい機能を選び、(決定) を押します。

ウィザードメニュー画面

ダビングや本機の設定を行うときに利用します。
このメニューの基本的な操作方法
画面上の指示に従って項目の選択や設定を行い、ジョイスティックの →で次のページに移動します。

番組表画面

テレビ番組の録画予約などを行うときに利用します。
操作方法について詳しくは「番組表ガイド」（31ページ）をご覧ください。

番組表ガイド

番組表（Gガイド）とは、新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているような番組の一覧をテレビ画面に表示したものです。番組表から見たい番組を選ぶだけで録画予約などができます。

お買い上げ時は、本機に番組表を使うための番組データが入っていないため、番組表を利用することができません。「番組表を正しく表示するための4つのポイント」をご覧になり、番組表の番組データを正しく受信してから、番組表を利用してください。

番組表を正しく表示するための**4**つのポイント

Point1

番組データは本機の電源が「切」のときや、
ゲームをしているときのみ受信できます

Point2

番組データは受信できるまでに半日〜**1**日程度
かかります

番組データは特定の放送局（ホスト局）が一日数回送信しています。時間帯によっては、受信できるまでに半日〜１日程度かかりますので、ご注意ください。

Point3

アンテナ線と電源コードが正しく
接続されているか確認してください

番組表の番組データはホスト局からテレビの電波を使って送られてきます。アンテナ線や電源コードが接続されていないと、番組データを受信できませんのでご注意ください。
また、電波の状況や、ゴーストの発生状況によっては、番組表が取得できないことがあります。

Point4

「かんたん設定」が正しく設定されているか
確認してください

かんたん設定の「時刻設定」や「地域番号設定」が正しく設定されていない場合、番組表が受信できません。
詳しくは「準備7 かんたん設定をする」（20ページ）をご覧ください。

番組表の表示のしかた

Step1

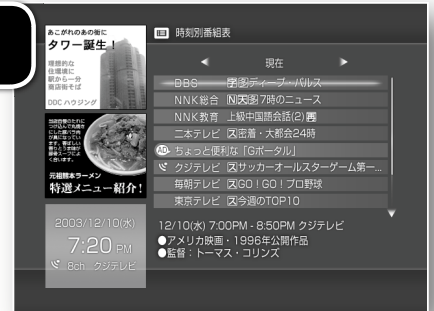
ホームメニューの（テレビ）から（番組表）を選び 決定 を押す。
リモコンのGガイドボタンや番組表ボタンを押して番組表を表示することもできます。

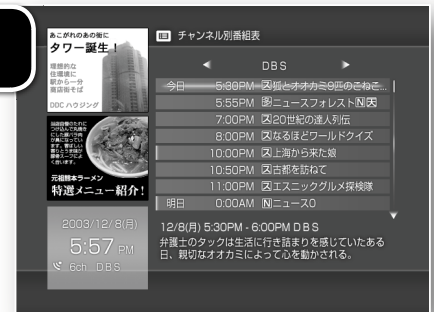
番組表を終了するには

番組表を表示しているときに ⊗ を押します。
リモコンのGガイドボタンを押しても終了できます。

番組表画面の種類について

本機には４種類の番組表とトピックスがあります。

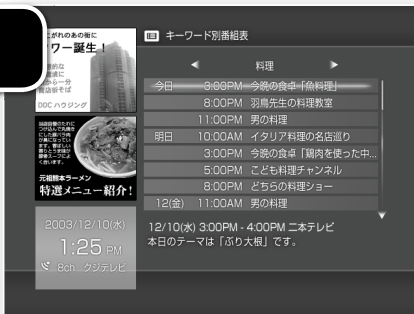
時刻別番組表

各放送局のテレビ番組一覧を時間ごとに表示します。

チャンネル別番組表

テレビ番組の一覧を放送局ごとに表示します。

番組表の種類を切り換えるには

ジャンル別番組表

各放送局で放送されている番組の一覧をスポーツやドラマなどのジャンルごとに表示します。

キーワード別番組表

あらかじめ設定したキーワードで検索された番組を一覧表示します。
キーワード別番組表の使いかたについては、「キーワード別番組表を使う」(34ページ)をご覧ください。

トピックス

放送局からのお知らせや便利な情報などを表示します。表示する内容は定期的に更新されます。

番組表のオプションメニューを使って切り換える

Step1

番組表を表示しているときに △ を押す。
番組表のオプション画面が表示されます。

Step2

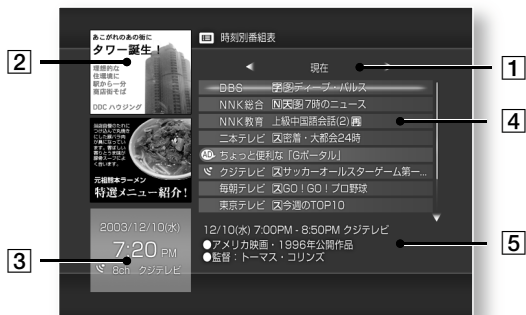
⬆⬇で切り換えたい番組表を選び 決定 を押す。

リモコンの番組表ボタンで切り換える

番組表表示中に、リモコンの番組表ボタンを繰り返し押すと、番組表の種類を以下の順番で切り換えることができます。

時刻別番組表 ➡ チャンネル別番組表 ➡ ジャンル別番組表 ⇦ キーワード別番組表 ⇦ トピックス ➡ 時刻別番組表

番組表画面の各部名称

番組表画面の見かた

1 放送局名（または時刻、チャンネル番号、ジャンル）欄
←→で表示したい放送局、時刻、またはジャンルを選ぶことができます。

2 パネル広告画面
広告画面を選ぶと、広告の詳細が表示されます。

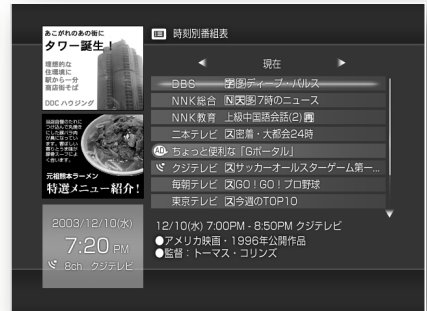
3 現在日時
アイコンの説明
- ：番組表を表示する直前に本機で表示していた番組に表示されます。

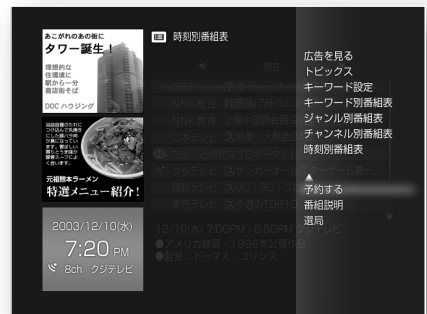
4 放送開始日時または放送局と番組名
選んだ放送局、時間、またはジャンル/サブジャンルで放送予定の番組と、放送局のテキスト広告（時刻別番組表のみ）が表示されます。↑↓で番組を選べます。
次のアイコンが表示されます。
アイコンの説明
- （白時計）：録画予約が設定されている番組に表示されます。
- ●（赤丸）：録画中の番組に表示されます。
- ▌（赤線）：放送時間が重なる別の番組が録画中の場合に表示されます。
- ▯（白線）：放送時間の重なる別の番組が録画予約されているときに表示されます。
- AD：番組ではなく、広告のときに表示されます。
- ：番組表を表示する直前に本機で表示していた番組に表示されます。

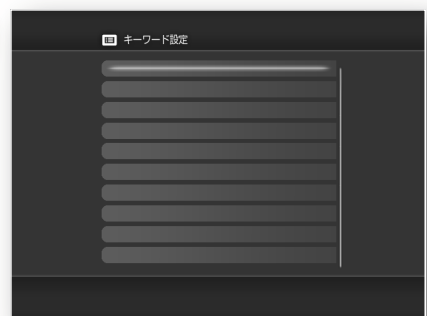
5 番組説明

キーワード別番組表を使う

キーワード別番組表はあらかじめキーワードを登録する必要があります。

Step1

番組表を表示しているときに △ を押す。

Step2

↑↓で［キーワード設定］を選び 決定 を押す。

Step3

↑↓で空いている欄を選び 決定 を押す。

Step4

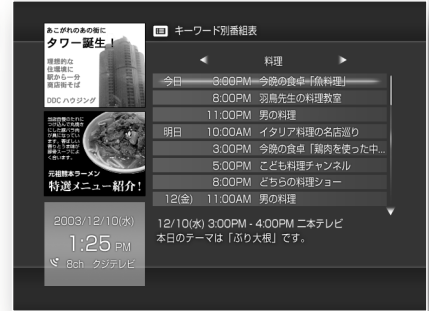
画面上のキーボードでキーワードを入力する。
キーボードの入力方法については、120ページをご覧ください。
キーボードの入力を完了すると、キーワード設定の画面に戻ります。

Step5

番組表を表示しているときに △ を押す。

Step6

↑↓で[キーワード別番組表]を選び 決定 を押す。

Step7

←→で検索したいキーワードを選ぶ。

Step8

↑↓で番組を選び 決定 を押す。

PSX入門

番組表のオプション機能を使う

番組表画面で番組を選んでいるときに △ を選ぶと、番組表のオプション画面が表示されます。

番組表オプション画面

本機の番組表では以下のオプション機能が利用できます。

番組表のオプションで使える機能

機能名	選んで 決定 を押すと
広告を見る	広告の詳細な内容を表示します。
トピックス	トピックス画面を表示します。
キーワード設定	キーワード別番組表用にキーワードを設定することができます。
キーワード別番組表	キーワード別番組表を表示します。
ジャンル別番組表	ジャンル別番組表に切り換わります。サブジャンル選択ができます。
サブジャンル選択	より細かいジャンルを選択することができます。
チャンネル別番組表	チャンネル別番組表に切り換わります。
時刻別番組表	時刻別番組表に切り換わります。
予約する	選んだ番組を録画予約します。
番組説明	選んだ番組の詳細な説明を表示します。
選局	選んだ番組を画面に表示します。

本機で再生・ダビングできるディスク一覧

ビデオで再生できるディスクについて

本機では、さまざまな種類のディスクを利用することができます。本機の機能によって、利用できるディスクが異なります。

ディスクの種類	ディスク名称	DVD-ROM	DVD-R	DVD-RW		DVD+RW
	ロゴ	DVD ROM	DVD R R4.7	DVD RW		RW DVD+ReWritable
	モード	―	Videoモード	VRモード	Videoモード	＋VRモード
	本機での表示	DVD-Video	DVD-Video	DVD-VR	DVD-Video	DVD+VR

ビデオでダビングできるディスクについて

ディスクの種類	ディスク名称	DVD-R	DVD-RW		DVD+RW	
	ロゴ	DVD R R4.7	DVD RW		RW DVD+ReWritable	
	モード	Videoモード	VRモード	Videoモード	＋VRモード	
	本機での表示	DVD-Video	DVD-VR	DVD-Video	DVD+VR	
最長録画時間		約6時間				
他機との互換性		○	△	○	△	
		DVDプレーヤーで再生可能	VRモード対応の機器でのみ再生可能	DVDプレーヤーで再生可能	＋RW対応の機器でのみ再生可能	
ダビング可能な回数		1回のみ	初期化を行えば何回でも可能		初期化を行えば何回でも可能	
ダビング後の追記		×	○	×	○	詳しくは66ページ
DVDメニュー作成		○	×	○	○	詳しくは68ページ
プレイリスト作成		×	○	×	×	詳しくは64ページ
二ヵ国語放送のダビング	主音声のみ	○*2	○*2	○*2	○*2	詳しくは99ページ
	副音声のみ	○*2	○*2	○*2	○*2	
	主音声＋副音声	△*1	◎*3	△*1	△*1	

*1 「DVD二カ国語記録音声」の設定で選択した音声で記録されます。

*2 録画時に設定したHDD二カ国語記録音声の音声のみダビングされます。

*3 主音声/副音声両方がダビングされ、再生時に主音声/副音声の切り換えができます。

ミュージック(音楽の再生)で再生できるディスク

本機で再生できるディスクは音楽CDとCD-Rだけです。
CD-RWは対応していません。
本機で再生するためのCD-Rの作成方法は、「CD-Rに保存したMP3ファイルを本機で再生するときのご注意」(77ページ)をご覧ください。

ディスクの種類	ディスク名称	CD	CD-R
	ロゴ	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc Recordable
説明		音楽や音声が記録された市販のソフト	CDレコーダーやパソコンで作成したCD。CDDA方式のフォーマットと、MP3ファイルのみ再生可能。

フォトで再生できるディスク

本機のフォトで再生できるディスクはCD-Rのみです。
本機でCD-Rを再生するためのCD-Rの作成方法は、「CD-Rへのファイルの保存方法について」(123ページ)をご覧ください。

ゲームで使えるディスク

ディスクの種類	“PlayStation 2”規格 DVD ROM	“PlayStation 2”規格 COMPACT disc	“PlayStation”規格 COMPACT disc
ディスクに付いているマーク(ロゴ)	“PS”と“PlayStation 2”ロゴタイプと NTSC J と「FOR JAPAN ONLY」表記	“PS”と“PlayStation 2”ロゴタイプと NTSC J と「FOR JAPAN ONLY」表記	“PS”と“PlayStaion”ロゴと NTSC J と「FOR JAPAN ONLY」表記
ディスクの色	銀・金	青	黒
記録しているもの	音声+映像		
ディスクの大きさ	12cm		

本機に対応していないディスクについて

本機は以下のディスクに対応していません

- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- 本機では再生できない地域番号(リージョンコード)のDVDビデオ
- CD-RW
- ビデオCD
- スーパー VCD
- スーパーオーディオCDのHD(ハイデンシティ)レイヤー
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)対応のディスク(本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため)

「PSX入門」に関するご注意

「番組表ガイド」のご注意

- 番組表のデータは、特定の放送局から1日に数回送信されます。このため、かんたん設定（20ページ）が終わってから番組表の受信が終了するまでに、1日程度かかることがあります。番組表の受信・更新中は、番組表は空欄になります。
- お住まいの地域や電波状況、気象条件などにより、番組表の受信や更新ができないことがあります。その場合、番組表は空欄になります。
- 放送局側の都合により、番組の内容や放送時間が変更になることがあります。本機での予約は、放送局側の都合による変更には対応できません。
- 引越した場合は、受信する放送局が同じであっても、最適な番組表を表示するために必ず「かんたん設定」をし直してください。
- 番組表では8日先の番組まで予約できます。
- 録画中は番組情報を取得することができません。

テレビを楽しむ

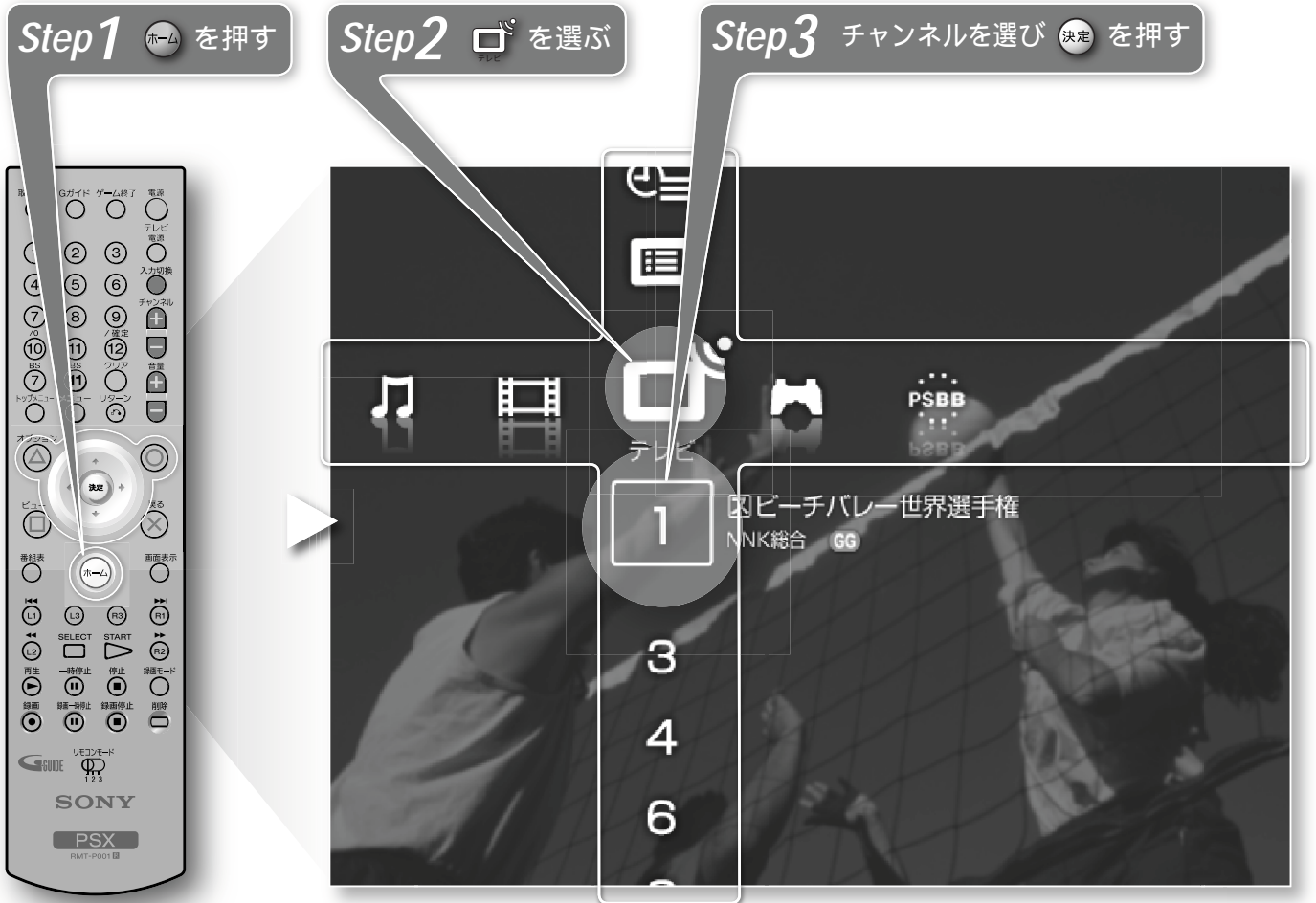
テレビ

テレビを見る

本機はテレビ番組を見ることができます。また、テレビ番組を本体のハードディスクに録画することもできます。

Step1 ホーム を押す

Step2 テレビ を選ぶ

Step3 チャンネルを選び 決定 を押す

テレビ で選べるアイコンの説明

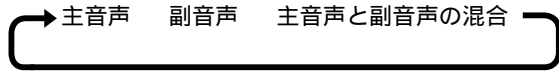
アイコン	選んで 決定 を押すと
時間指定予約	手動で日時を指定して録画予約ができます(47ページ)。
録画予約確認	録画予約した番組の確認や変更ができます(49ページ)。
番組表	番組表から選局や録画予約ができます(31ページ)。
チャンネル	テレビ番組が表示されます。
LINE 外部入力	外部入力端子につないだ機器の映像が表示されます。

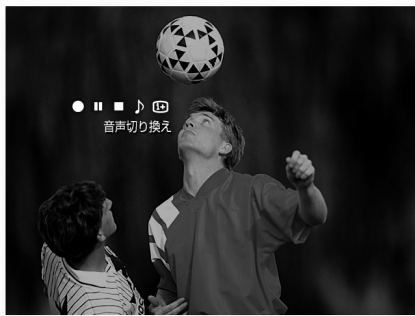
番組表は、リモコンの番組表ボタンやGガイドボタンでも表示することができます。

GG はGガイドから番組情報を取得しているときに表示されます。

音声を切り換える

二カ国語音声に対応しているテレビ番組を見ているときに、♪（音声切り換え）を繰り返し選ぶと、音声が以下のように切り換わります。

主音声 ➡ 副音声 ➡ 主音声と副音声の混合

Step1

主音声が流れているときに △ を押す。
操作パネルが表示されます。

Step2

←→で ♪（音声切り換え）を選び 決定 を押す。
副音声が流れます。

Step3

再び 決定 を押す。
主音声と副音声が同時に流れます。

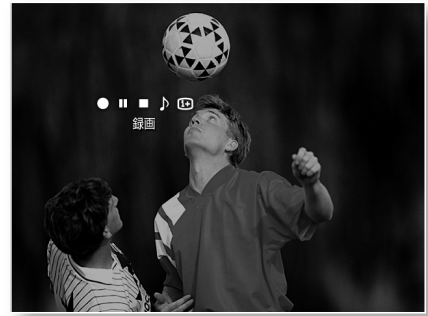
Step4

再び 決定 を押す。
主音声だけが流れます。

表示中のテレビ番組を操作する

Step1

テレビ番組を見ているときに △ を押す。
操作パネルが表示されます。

Step2

←→で利用したいアイコンを選び 決定 を押す。
テレビでは以下のアイコンが使えます。

操作パネルで使えるアイコン

アイコン		選んで 決定 を押すと
●	録画	現在視聴している番組を録画します(44ページ)。 ●（録画）を2回続けて選ぶとクイックタイマーの設定画面が表示されます(44ページ)。
❚❚	録画一時停止	録画を一時停止します。
■	録画停止	録画を停止します。
♪	音声切り換え	視聴しているテレビ番組の音声を切り換えます。
i+	画面表示	画面表示を切り換えます。 ハードディスクの容量などを確認するときに使います。

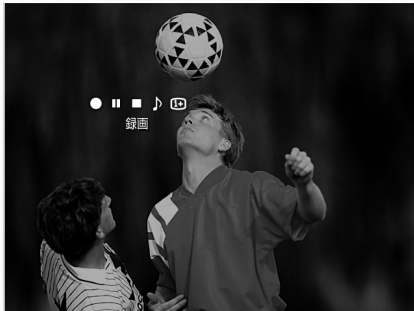
録画と録画停止、録画一時停止、画面表示は、リモコンの●録画ボタンと■録画停止ボタン、❚❚録画一時停止ボタン、画面表示ボタンでも同じ操作ができます。

録画する

ご注意はP50へ

今見ているテレビ番組を本機のハードディスクに録画したいときに使います。録画中にビデオの映像を再生することも可能です。
本機は最長6時間まで連続して録画することができます。録画を開始してから6時間たつと録画が自動的に停止します。

ハードディスクの空き容量を表示する

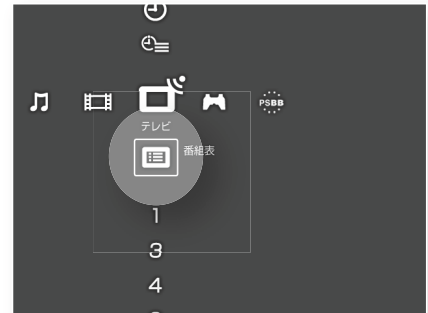
Step1

テレビを見ているときに、(画面表示)を選び 決定 を押す。

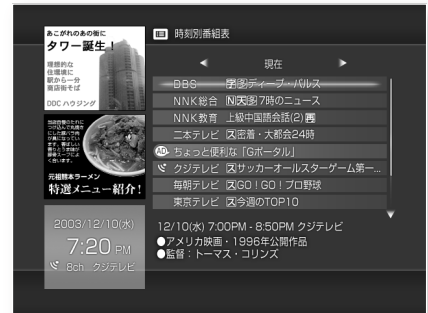
Step2

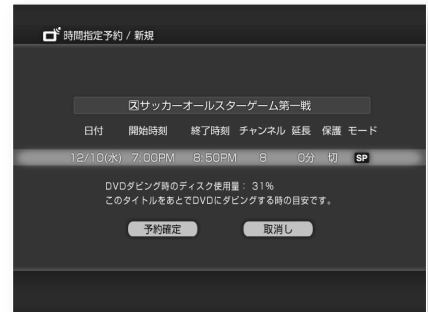
再び (画面表示)を選び 決定 を押す。
ハードディスクの空き容量(ディスク残量)と各録画モードでの録画可能時間を確認することができます。

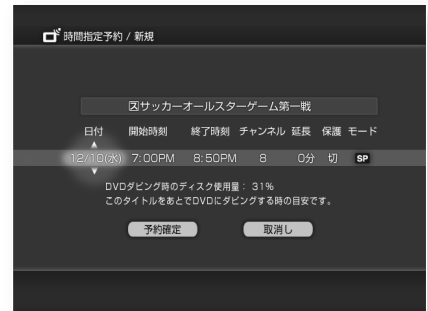
番組表で録画する

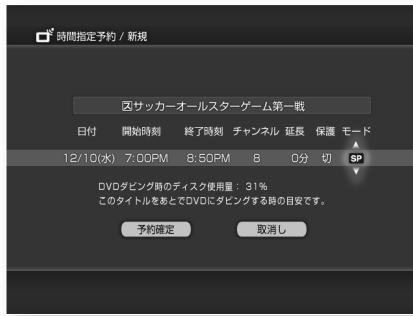
番組表から録画すると、番組が終わった時点で自動的に録画が停止します。

Step1

ホームメニューの (テレビ)から (番組表)を選び 決定 を押す。

Step2

⬆⬇で録画したい番組を選び 決定 を押す。

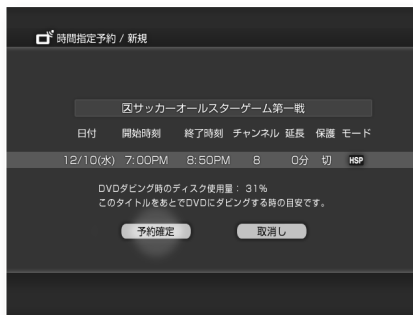
Step3

⬆⬇で設定項目欄を選び 決定 を押す。

Step4

⬅➡で変更したい項目を選ぶ。

Step5

↑↓で項目を変更する。

Step6

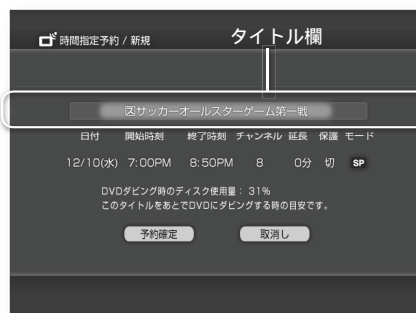
すべての項目の設定が終了したら 決定 を押す。

Step7

↑↓で[予約確定]を選び 決定 を押す。
録画が始まります。

Step4で設定できる項目

項目名	説明
日付	録画する日付を設定します。
開始時刻	録画を開始する時刻を設定します。
終了時刻	録画を終了する時刻を設定します。
チャンネル	録画するチャンネルを設定します。延長設定したときは、番組が終了した後も録画を続けます。
延長	録画を延長したいときに設定します。
保護	録画した映像を保護します。
モード	録画モードを設定します(右記)。

録画するタイトル名を変更したいときは

Step1

「番組表で録画する」(42ページ)のStep3で、↑↓でタイトル欄を選び 決定 を押す。

Step2

↑↓←→で番組名を変更する。
キーボードの入力方法については、「文字の入力方法について」(120ページ)をご覧ください。

Step3

↑↓←→でキーボードの[完了]を選び 決定 を押す。

録画モードについて

本機には6つの録画モードがあります。高画質で記録したいときは、HQなどの高い画質の録画モードを選んでください。
本機のハードディスクにより多くの映像を録画したいときは、SLPなどの録画モードを選んでください。

録画モード		記録可能時間	
		DESR-7100	DESR-5100
HQ	高画質	約53時間	約33時間
HSP		約81時間	約51時間
SP（標準）		約107時間	約67時間
LP		約164時間	約103時間
EP		約217時間	約137時間
SLP	長時間	約325時間	約204時間

ハードディスクの領域を変更すると、録画可能時間も変わります。

本機は最長6時間まで連続して録画することができます。

テレビ

録画する(つづき)

録画を停止するには

操作パネルから □ (録画停止)を選び 決定 を押します(41ページ)。

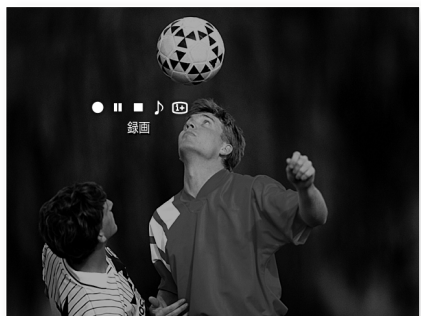
録画した番組を見るには

ホームメニューの (ビデオ)から録画した映像を選び 決定 を押します(52ページ)。

テレビ

今見ているテレビ番組を録画する

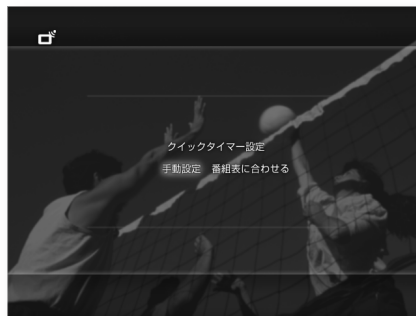
Step1

テレビ番組を見ているときに △ を押す。
操作パネルが表示されます。

Step2

←→で ○ (録画)を選び 決定 を押す。
録画が始まります。

録画中は本機のチャンネルを切り換えることはできません。付属の分配器を使ってテレビと本機にアンテナをつなぐと、録画中もテレビのチャンネルを切り換えることができます。接続方法は、13ページをご覧ください。

クイックタイマーで録画する

「今見ているテレビ番組を録画する」のStep2で ○ (録画)を2回続けて選ぶと、以下のような画面が表示され、クイックタイマーを設定することができます。
本機のクイックタイマーには、手動で設定する方法と、番組表の時刻に合わせて設定する方法があります。

項目一覧

項目名	説明
手動設定	録画する時間を設定することができます。
番組表に合わせる	現在録画している番組の情報を番組表から取得し、番組が終了するのに合わせて録画を自動的に終了させることができます。

録画を停止するには

操作パネルから □ (録画停止)を選び 決定 を押します(41ページ)。

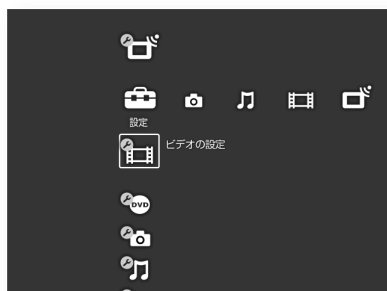
録画した番組を見るには

ホームメニューの (ビデオ)から録画した映像を選び 決定 を押します(52ページ)。

二カ国語放送（二重音声放送）を録画する

主音声または副音声のみを記録する

本機では二カ国語放送などの番組を録画するときに、音声を2通りの方法で記録することができます。

Step1

↑↓←→でホームメニューの（設定）から［ビデオの設定］を選び 決定 を押す。

Step2

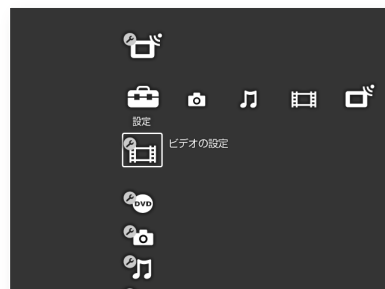
↑↓で「HDD二カ国語記録音声」を選び 決定 を押す。

Step3

↑↓で「主音声」または「副音声」を選び 決定 を押す。

主音声・副音声両方の音声を記録する

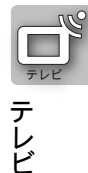
再生時に主音声・副音声を切り換えて再生することができます。

Step1

↑↓←→でホームメニューの（設定）から［ビデオの設定］を選び 決定 を押す。

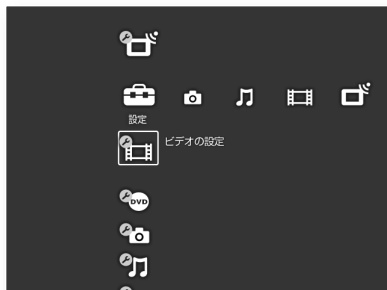
Step2

↑↓で「HDD二カ国語記録音声」を選び 決定 を押す。

Step3

↑↓で「主+副音声」を選び 決定 を押す。

二カ国語放送(二重音声放送)を録画する(つづき)

外部入力を使って外部機器の二カ国語放送を録画する

二カ国語放送の設定に加え、「外部入力音声設定」の設定を「二重音声」に変更してください。

Step1

↑↓←→でホームメニューの （設定）から[ビデオの設定]を選び （決定）を押す。

Step2

↑↓で「外部入力音声設定」を選び （決定）を押す。

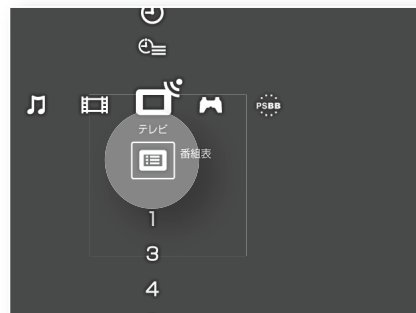
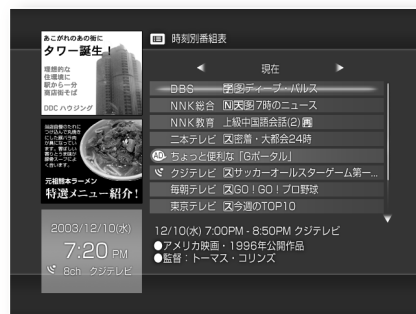
Step3

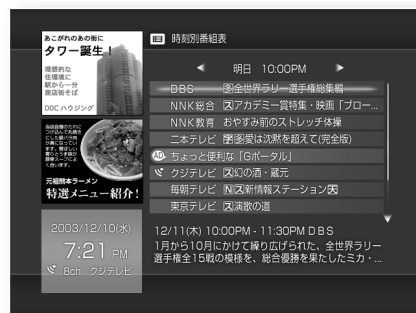
↑↓で「二重音声」を選び （決定）を押す。

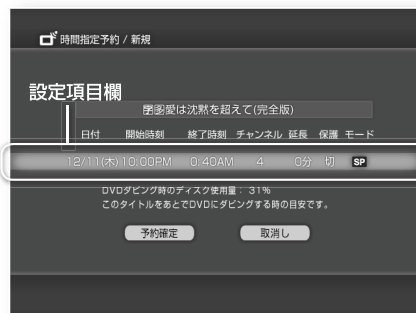
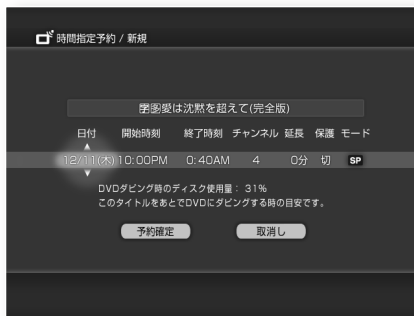
録画予約する

本機の録画予約の方法には、番組表を使って予約する方法と、手動で日時を指定して予約する方法(47ページ)の2種類があります。

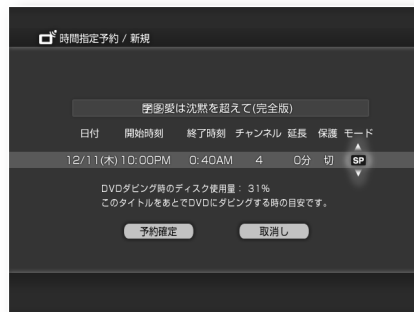
番組表で録画予約する

Step1

ホームメニューの （テレビ）から （番組表）を選び （決定）を押す。

←→で予約したい時間を選ぶ。

Step3

↑↓で予約したい番組を選び （決定）を押す。

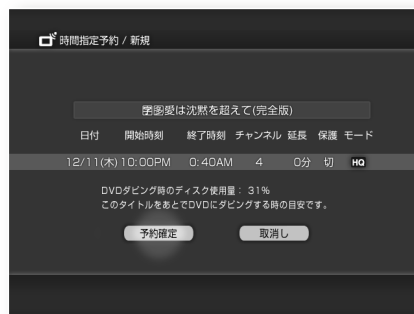
Step4

↑↓で設定項目欄を選び （決定）を押す。

Step5

←→で変更したい項目を選ぶ。

Step6

↑↓で項目を変更する。

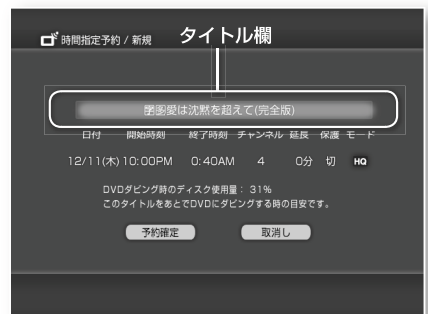
Step7

すべての項目の設定が終了したら 決定 を押す。

Step8

↑↓で[予約確定]を選び 決定 を押す。
録画予約が設定されます。

Step5で設定できる項目

項目名	説明
日付	録画する日付を設定します。
開始時刻	録画を開始する時刻を設定します。
終了時刻	録画を終了する時刻を設定します。
チャンネル	録画するチャンネルを設定します。
延長	録画を延長したいときに設定します。
保護	録画した映像を保護します。
モード	録画モードを設定します(43ページ)。

タイトル名を変更したいときは

Step1

Step7が終わった後に、↑↓でタイトル欄を選び 決定 を押す。
画面上にキーボードが表示されます。

Step2

キーボードでタイトル名を変更する。
キーボードの使いかたについて詳しくは、「文字の入力方法について」(120ページ)をご覧ください。

Step3

キーボードの[完了]を選び 決定 を押す。

日時を指定して録画予約する

番組表を使わずに、手動で録画予約することもできます。

Step1

ホームメニューの (テレビ)から (時間指定予約)を選び 決定 を押す。

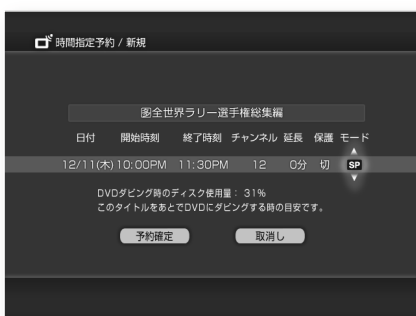
Step2

↑↓で設定項目欄を選び 決定 を押す。

録画予約する（つづき）

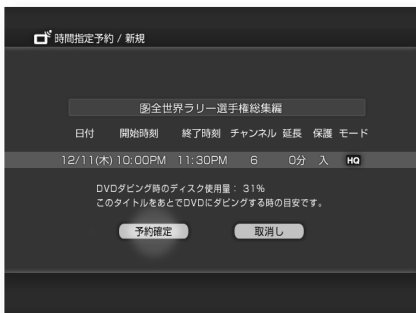
Step3

←→で設定する項目を選ぶ。

Step4

↑↓で選んだ項目を設定する。

Step5

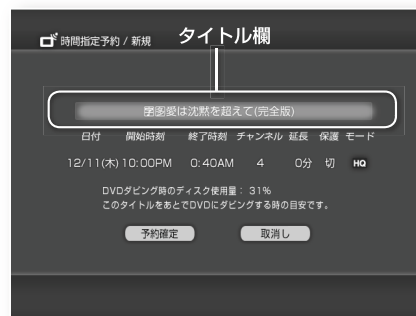
すべての項目の設定が終了したら（決定）を押す。

Step6

↑↓で［予約確定］を選び（決定）を押す。

Step3で設定できる項目

項目名	説明
日付	録画する日付を設定します。
開始時刻	録画を開始する時刻を設定します。
終了時刻	録画を終了する時刻を設定します。
チャンネル	録画するチャンネルを設定します。
延長	録画を延長したいときに設定します。 なお、延長設定をした予約録画が実行されているときは、再録画の延長を設定します。
保護	録画した映像を保護します。
モード	録画モードを設定します（43ページ）。

タイトル名を変更したいときは

Step1

Step5が終わった後に、↑↓でタイトル欄を選び（決定）を押す。
画面上にキーボードが表示されます。

Step2

キーボードでタイトル名を変更する。
キーボードの使いかたについて詳しくは、「文字の入力方法について」（120ページ）をご覧ください。

Step3

キーボードの［完了］を選び（決定）を押す。

予約した録画を停止するには

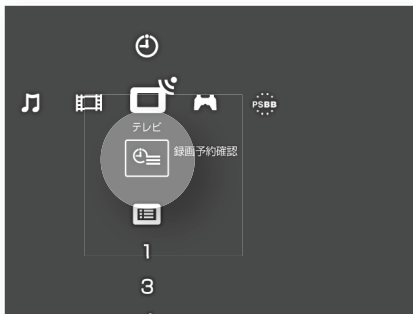
操作パネルから □（録画停止）を選び（決定）を押します（41ページ）。

録画した番組を見るには

ホームメニューの（ビデオ）から録画した映像を選び（決定）を押します（52ページ）。

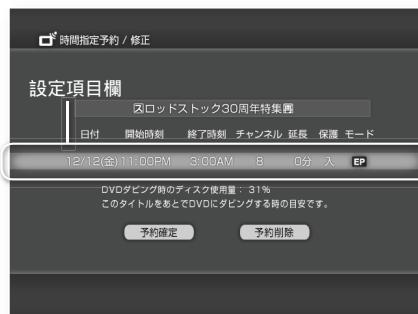
録画予約の内容を変更する･取り消す

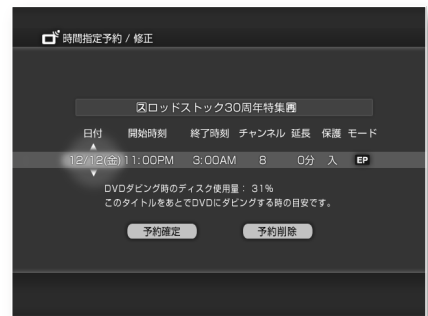
一度予約した内容を確認したり、設定を変更したりすることができます。

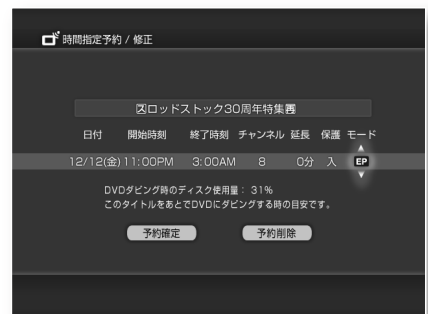
Step1

ホームメニューの （テレビ）から （録画予約確認）を選び 決定 を押す。

Step2

⬆⬇で変更したい番組を選び 決定 を押す。

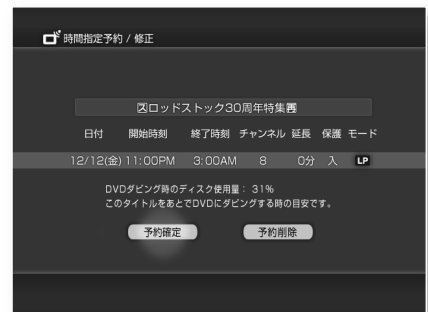
Step3

⬆⬇で設定項目欄を選び 決定 を押す。
録画予約の内容を取り消すには、［予約削除］を選びます。
録画予約の内容を変更するには、Step4へ進みます。

Step4

⬅➡で変更する項目を選ぶ。
各項目について詳しくは、「Step3で設定できる項目」（48ページ）をご覧ください。

Step5

⬆⬇で選んだ項目を変更する。

Step6

すべての項目の設定が終了したら 決定 を押す。

Step7

⬆⬇で［予約確定］を選び 決定 を押す。

「テレビを楽しむ」に関するご注意

「番組表で録画する」のご注意

- 16:9映像は4:3で録画されます。
- 録画中または録画一時停止中に録画モードを変えることはできません。
- 録画中に電源コードを抜いた場合、録画中の番組は消去されることがあります。
- 同じ時間に重複して予約を設定することはできません。
- 本機では30件まで予約することができます。
- 録画中は本機のチャンネルを切り換えることはできません。付属の分配器を使ってテレビと本機にアンテナにつなぐと、録画中もテレビのチャンネルを切り換えることができます。接続方法は、13ページをご覧ください。
- 予約録画が開始されている間は、延長設定のみ変更できます。

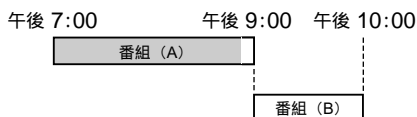
「今見ているテレビ番組を録画する」のご注意

- 16:9映像は4:3で録画されます。
- 本機の外部入力端子からのデジタル衛星放送を録画するには、デジタルチューナーの電源を入れ、録画したい番組を選びます。録画が終わるまでチューナの電源を切ったり、チャンネルを切り換えたりしないでください。
- 本機は最長6時間まで連続して録画することができます。
  録画を開始してから6時間たつと録画が自動的に停止します。
- 録画中にリモコンや本機の電源ボタンで電源を切っても、録画は停止しません。
- 操作パネルやリモコンの「録画」「録画一時停止」「録画停止」はテレビ番組を見ているときのみ働きます。ビデオや音楽、写真などを見ているときや本機の電源が切れているときには働きません。
- 録画中はチャンネルを切り換えることができません。
- 録画中に、予約録画の開始時刻を過ぎた場合、録画を停止するまで次の予約録画は開始されません。

「番組表で録画予約する」のご注意

- DVDにダビングしているときは、録画予約を実行できません。ダビングする前に予約リストでダビング中に録画予約が始まらないか確認してください。
- 録画予約の終了時間が他の録画予約の開始時間と同じ場合、終了時間の数十秒前までしか録画されません。

「日時を指定して録画予約する」のご注意

- 時刻設定が間違っていると、希望の日時に録画予約されません。
- 本機では1ヵ月先の番組まで予約することができます。
- DVDにダビングしているときは、録画予約を実行できません。ダビングする前に予約リストでダビング中に録画予約が始まらないか確認してください。
- 予約終了時刻と次の予約開始時刻が同じときは、先に録画していた番組(A)の終わりが録画されません。

二カ国語放送の録画映像の音声を光デジタル出力で聞くときのご注意

[DVDの設定]の「ドルビーデジタル」が「入」のときは、以下の映像の音声を切り換えることができません。

- HQ以外の録画モードで録画した録画映像
- HQ以外の録画モードで録画した録画映像をダビングしたDVD

外部入力(LINE)から二重音声の番組(デジタルCS放送の番組など)を録画するときのご注意

「外部入力音声設定」を「ステレオ」にすると、再生時に音声を切り換えることができません。

二カ国語放送の録画映像をダビングするときのご注意

主音声・副音声両方の音声が記録されている録画映像は、DVD-RWのVRモードでのみダビングすることができます。詳しくは以下の表をご覧ください。

録画時のHDD二カ国語記録音声の設定	ダビング可能なDVDディスクと記録モード			
	DVD-R（Videoモード）	DVD-RW		DVD+RW（+VRモード）
		Videoモード	VRモード	
主音声	○	○	○	○
副音声	○	○	○	○
主+副音声	△	△	◎	△

△「DVD二カ国語記録音声」の設定で選択した音声で記録されます
○録画時に設定したHDD二カ国語記録音声の音声のみダビングされます
◎主音声/副音声両方がダビングされ、再生時に主音声/副音声の切り換えができます

ご注意

外部入力機器で放送されている二カ国語放送を録画するときは、あらかじめ本機の外部入力音声の設定を「二重音声」に設定してください。外部入力音声の設定を「ステレオ」のまま録画すると、HDD二カ国語記録音声の設定で「主+副音声」に設定しても、再生時に主音声/副音声の切り換えができなくなります。

ビデオを楽しむ

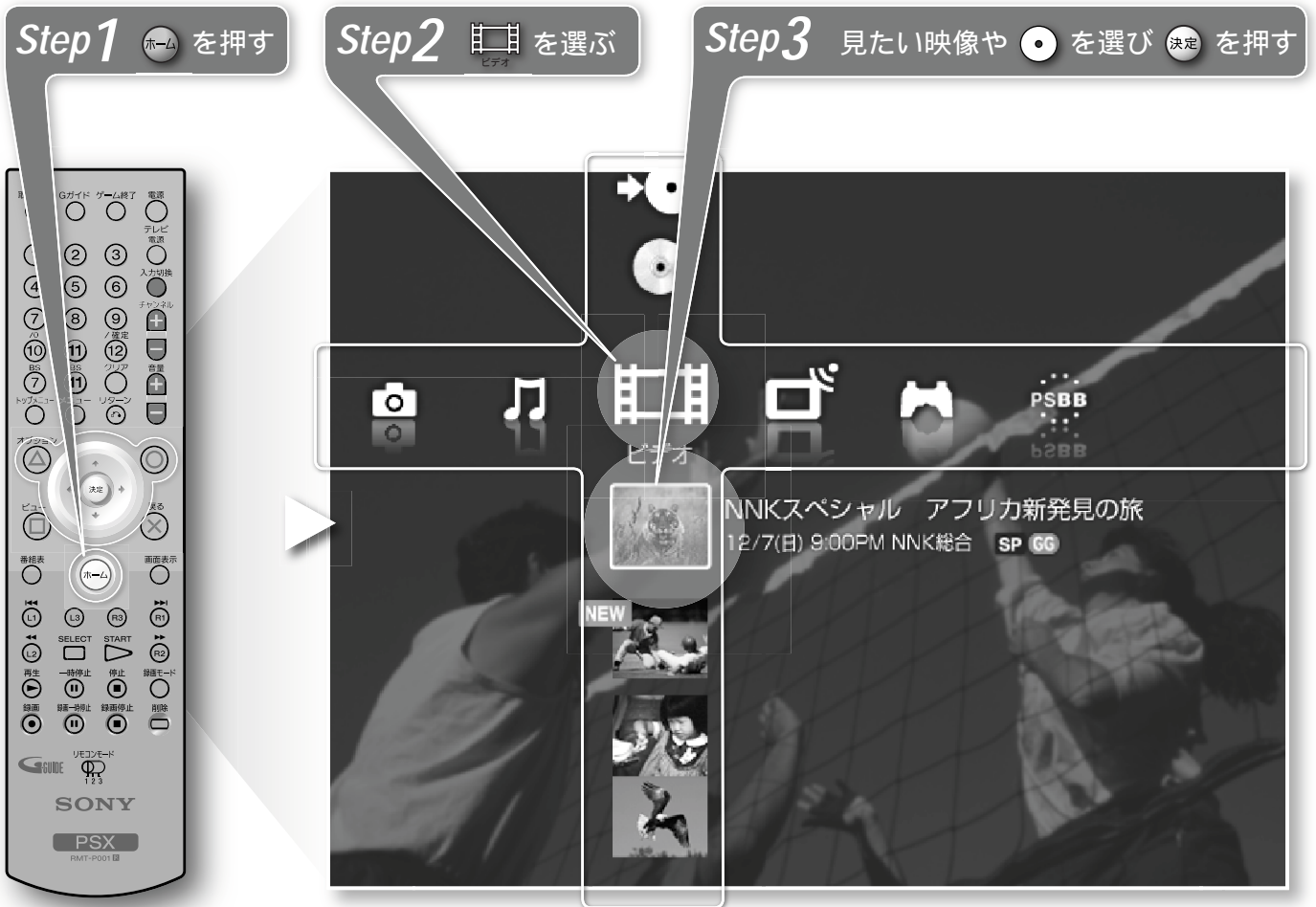
映像やDVDを再生する

ご注意はP70へ

DVDに記録されている映像を本機で再生し、本機につないだテレビで楽しむことができます。また、ハードディスクに録画した映像をDVDにダビングすることもできます。

Step1 ホーム を押す

Step2 ビデオ を選ぶ

Step3 見たい映像や ⊙ を選び 決定 を押す

Step3で、再生途中で停止した映像を選んだときは、続きの場面から再生します。

ビデオ で選べるアイコンの説明

アイコン	選んで 決定 を押すと
ダビング	ハードディスクの映像をDVDにダビングします。
映像	ハードディスクに保存されている映像を再生します。

DVDを入れているときに表示されるアイコン

アイコン	選んで 決定 を押すと
DVDまたはDVD-Video、DVD-VR、DVD+VR	DVDを再生します。

GG はGガイドから番組情報を取得しているときに表示されます。

DVD-RWのVRモードで記録されたディスクを再生するには

52ページのStep3で (DVD-VR)を選ぶと、DVDに記録されている映像のタイトル一覧が以下のように表示されます。再生したいタイトルを一覧から選び 決定 を押すと、映像の再生が始まります。

市販のDVDの再生を終了するには

Step1

ホーム を押す。

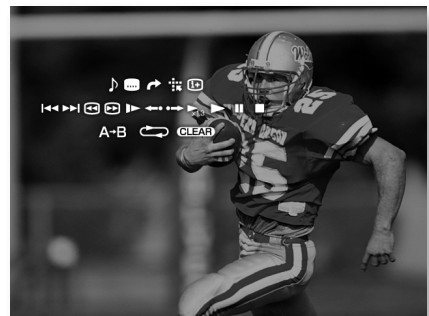
Step2

←→で[はい]を選び 決定 を押す。
DVDの再生が停止し、画面が一度黒くなります。しばらくすると、ホームメニューが表示されます。

再生中の映像を操作する

Step1

映像を見ているときに △ を押す。
操作パネルが表示されます。

Step2

↑↓←→で利用したいアイコンを選び 決定 を押す。
ビデオでは以下のアイコンが使えます。

操作パネルで使えるアイコン
使用状況により表示されないアイコンがあります。

アイコン	選んで 決定 を押すと
リターン	前の画面に戻ります。
音声切り換え	再生する映像の音声を切り換えます。
ジャンプ または 時間指定ジャンプ	指定した時間から映像を再生します。
サムネイル登録	を選んで 決定 を押したときに表示されていた画像がホームメニューのアイコンになります。
画面表示 または 時間表示	画面表示を切り換えます。 表示される内容はディスクにより異なります。
前	前のチャプターに戻ります。
次	次のチャプターへ移動します。

ビデオ

アイコン		選んで 決定 を押すと
	サーチ（早戻し）	「早送り・早戻しする」（58ページ）をご覧ください。
	サーチ（早送り）	「早送り・早戻しする」（58ページ）をご覧ください。
	スロー	映像をゆっくり再生します。
	スロー（逆スロー）	逆方向に映像をゆっくり再生します。
	フラッシュ＋	約15秒先の場面まで飛ばして再生します。
	フラッシュ－	約15秒後ろの場面まで戻して再生します。
x1.3	早見再生	映像を音声つきで1.3倍速再生します。
	再生	停止中の映像を再生します。
	一時停止	再生中の映像を一時停止します。
	停止	再生中の映像を停止します。
A⇒B	A-Bリピート	指定したシーンを繰り返し再生します（右記）。
	アングル切り換え	アングル（角度）の異なる映像が収録されているときに、切り換えることができます。
	字幕切り換え	字幕で表示する言語を切り換えます。
1	チャプタージャンプ	数字が入力できます。
	メニュー	DVDのメニューを表示します。
	トップメニュー	DVDのタイトルを表示します。
CLEAR	クリア	リピートやA-Bリピートの設定を解除します。
	リピート	繰り返し再生します。押すたびに以下のように切り換わります。 ハードディスクの映像を再生しているとき タイトルリピート→チャプターリピート→リピート 切 DVDを再生しているとき ディスクリピート→タイトルリピート→チャプターリピート
	設定	映像のノイズを軽減したり、輪郭を強調したりします。

再生や停止、一時停止はリモコンの▷再生ボタン、⏸一時停止ボタン、■停止ボタンでも同じ操作ができます。

A-Bリピートを設定するには

Step1 映像を再生中に △ を押す。
操作パネルが表示されます。

Step2 繰り返し再生させたい場面の始点が表示されたら A⇒B（A-Bリピート）を選び 決定 を押す。
A⇒B を選んだ時の場面がA-Bリピートの始点として登録されます。

Step3 繰り返し再生させたい場面の終点が表示されたら 決定 を押す。
A⇒B を選んだ時の場面がA-Bリピートの終点として登録され、始点と終点を繰り返し再生します。

ビデオ

オプション機能を使う

オプション機能を利用すると、本機に保存してある映像を編集したり、名前を変更したりすることができます。

Step1

オプションを表示させたいアイコンを選び △ を押す。

Step2

↑↓←→で利用したい項目を選び (決定) を押す。
オプションで利用できる機能は右の表の通りです。

オプションを表示できるアイコン

(DVD)
(映像)

オプションで利用できる項目

ディスクや映像によって表示されるオプションが異なります。

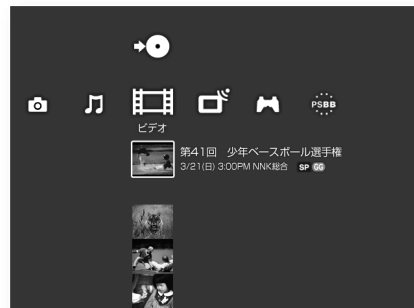
オプション名	できること
並び順変更	本機に保存されている映像を並べ換えます。 並び順変更について詳しくは、「録画した映像の並び順を変更する」(56ページ)をご覧ください。
再生	選んだ映像を再生します。
始めから再生	DVDや、本機に保存されている映像を始めから再生します。
保護	本機に保存されている映像を保護し、映像の削除や編集ができないようにします。
保護解除	保護された映像を解除し、映像の削除や編集ができるようにします。
名前変更	本機に保存されている映像の名前を変更します。 [名前変更]を選んで決定を押すと画面上にキーボードが表示されるので、キーボードを使って名前を変更してください。 キーボードの使いかたについて詳しくは、「文字の入力方法について」(120ページ)をご覧ください。
編集	本機に保存されている映像を編集し、再生したくない場面を飛ばして再生することができます。 編集作業について詳しくは、「編集する」(59ページ)をご覧ください。
編集取消し	編集した映像を元に戻します。 編集の取消しについて詳しくは、「設定を取り消したいときは」(61ページ)をご覧ください。

映像やDVDを再生する（つづき）

オプション名	できること
最適化	録画した映像の録画モードを変更したり、編集で再生しないように設定した箇所を削除したりできます。 最適化について詳しくは、「映像を最適化する」（63ページ）をご覧ください。
最適化中止	映像の最適化を途中で中止します。
削除	本機に保存されている映像を削除します。 ※ DVDに記録されている映像は削除できません。
初期化	DVD-RWやDVD+RWのディスクを初期化（フォーマット）します。DVD-RWは初期化を開始する前に、VideoモードまたはVRモードを選ぶことができます。
情報	録画日時などの情報が表示されます。
タイトル一覧	DVDに記録されているタイトルを一覧表示します。

録画した映像の並び順を変更する

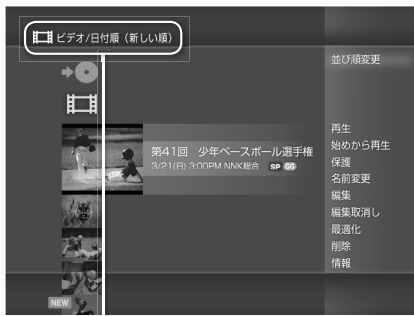
録画した映像の一覧を並べ換えることができます。

Step1

↑↓←→でホームメニューの ビデオ から映像を選び △ を押す。
ビデオのオプション画面が表示されます。

Step2

↑↓で［並び順変更］を選び 決定 を押す。
「並び順変更」で 決定 を押すたびに、映像の並び順が以下の順で切り換わります。

日付順（新しい順）
↓
日付順（古い順）
↓
名前順（▼）
↓
名前順（▲）
↓
ジャンル順
↓
未視聴順

現在表示されている映像の並び順は画面の左上で確認することができます。

現在の並び順

録画中の映像を再生する（追いかけ再生）

録画中の映像を、録画を止めずに再生することができます。録画中の番組はホームメニューの（ビデオ）の中に表示されます。

Step1

REC と表示されている番組を選んで 決定 を押す。

録画中の番組が始めから再生されます。

音声つきで早送りする（1.3倍速早見再生）

Step1

映像を再生しているときに △ を押す。
操作パネルが表示されます。

Step2

↑↓←→で ▷x1.3 を選び 決定 を押す。
映像が音声つきで1.3倍速再生されます。

早送り・早戻しする

Step1

映像を再生しているときに △ を押す。
操作パネルが表示されます。

Step2

↑↓←→で ◁◁（早戻し）または ▷▷（早送り）を選び 決定 を押す。
映像が巻き戻しまたは早送りされます。

早送りや早戻しアイコンを選んで繰り返し 決定 を押すたびに、再生速度が切り換わります。

◀◀/▶▶ボタンを押し続けた場合、押している間だけ早送り/早戻し再生します。
なお、リモコンのL2・R2ボタンの設定を「フラッシュ」に変更している場合には、約15秒先（後ろ）の場面まで飛び（戻り）ます。

少し先の場面まで飛ばす・戻す

Step1

映像を再生しているときに △ を押す。
ビデオの操作パネルが表示されます。

Step2

ビデオの操作パネル

↑↓←→で ⇦○（フラッシュ－）○⇨（フラッシュ＋）を選び 決定 を押す。
決定 を1度押すと、約15秒先（後ろ）の場面まで飛ばす（戻す）ことができます。
決定 を2回押すと、約30秒先（後ろ）の場面まで飛ばす（戻す）ことができます。
L2・R2にフラッシュ機能を割り当てるには、「リモコンのL2・R2ボタンの設定をする」（99ページ）をご覧ください。

編集する

ご注意はP70へ

再生しながら編集する

映像を再生しながら、編集したい場面を設定します。
始点と終点の間の場面を飛ばして再生します。

Step1

ホームメニューの（ビデオ）から ◎（DVD）や映像を選び △ を押す。
オプション画面が表示されます。

Step2

↑↓で［編集］を選び 決定 を押す。
編集画面が表示されます。

Step3

再生したくない場面の始点で 決定 を押す。
始点マークが再生バー上に固定されます。

Step4

再生したくない場面の終点で 決定 を押す。
終点マークが再生バー上に固定されます。
再生したくない場面が複数あるときは、Step3と4を繰り返してからStep5に進んでください。

編集する(つづき)

ご注意はP70へ

Step5

↑↓←→で[確認再生]を選び 決定 を押す。
映像が再生され、設定した内容を確認することができます。
正しく設定されていることを確認したら、Step6に進んでください。

Step6

↑↓←→で[完了]を選び 決定 を押す。
始点と終点の間の場面を飛ばして再生するようになります。

直前の操作を取り消すには

⊗ を押してください。
直前に設定した始点または終点が取り消されます。

一時停止して編集する

再生したくない場面が静止画で確認できるので、再生したくない場面を簡単に設定することができます。

Step1

編集画面表示中に ↑↓←→で ⏸ を選び 決定 を押す。
再生中の映像が一時停止します。

Step2

↑↓で再生バーを選ぶ。

Step3

←→で再生したくない場面の最初の画像を選び 決定 を押す。
始点マークが再生バー上に固定されます。

Step4

⬅➡で再生したくない場面の最後の画像を選び (決定) を押す。
終点マークが再生バー上に固定されます。
再生したくない場面が複数あるときは、Step3と4を繰り返してからStep5に進んでください。

Step5

⬆⬇⬅➡で[確認再生]を選び (決定) を押す。
映像が再生され、設定した内容を確認することができます。
正しく設定されていることを確認したら、[確定終了]を選び (決定) を押して、Step6に進んでください。

Step6

⬆⬇⬅➡で[完了]を選び (決定) を押す。
始点と終点の間の場面を飛ばして再生するようになります。

約**15**秒先(後ろ)の場面まで飛ばすには

○⇨(フラッシュ＋)または ⇦○(フラッシュー)を選び (決定) を押します。

直前の操作を取り消すには

⊗ を押してください。
直前に設定した始点または終点が取り消されます。

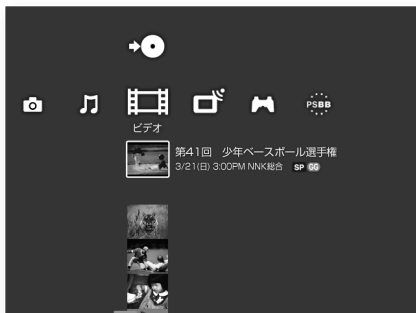
設定を取り消したいときは

⬆⬇⬅➡で[中止]を選びます。

ビデオ

チャプターマークを設定する

本機で録画した映像にチャプターマークを加えることができます。チャプターマークを加えると、再生中に操作パネルの |◁◁ や ▷▷| のアイコンでチャプターマークを加えた場面まで飛ばしたり、戻したりすることができます。

Step1

↑↓←→でホームメニューの (ビデオ)からチャプターマークを加えたい映像を選び △ を押す。

Step2

↑↓で「編集」を選び 決定 を押す。
編集画面が表示されます。

Step3

チャプターマークを加えたい場面で R3 を押す。
一つの映像に対して99個のチャプターマークを加えることができます。

Step4

チャプターマークの設定が終了したら、↑↓←→で[完了]を選び 決定 を押す。

設定したチャプターマークを取り消すには

Step1

編集画面表示中に↑↓←→で ⏸ (一時停止)を選び 決定 を押す。

Step2

L1 または R1 で取り消したいチャプターマークを選択する。

Step3

R3 を押す。
Step2で選んだチャプターマークが削除されます。

設定したチャプターマークをすべて取り消すには

Step1

↑↓←→でホームメニューの (ビデオ)からチャプターマークを取り消したい映像を選び △ を押す。

Step2

↑↓で「編集取り消し」を選び 決定 を押す。
「編集取り消し」を選択すると、設定したチャプターマークと、飛ばし再生を設定した編集範囲がすべて取り消されます。

映像を最適化する

ご注意はP70へ

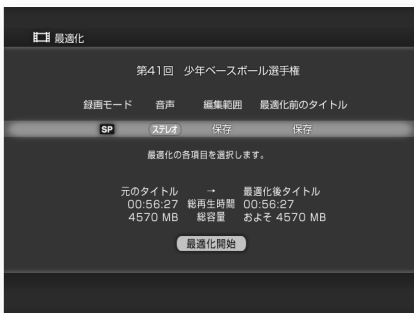
映像のデータサイズを小さくしたり、編集で飛ばすように設定した場面を完全に削除することができます。

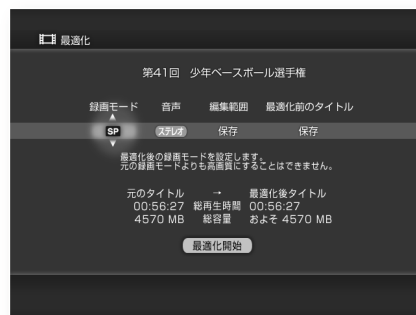
Step1

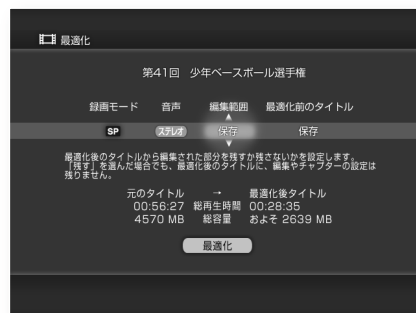
ホームメニューの（ビデオ）から映像を選び△を押す。
オプション画面が表示されます。

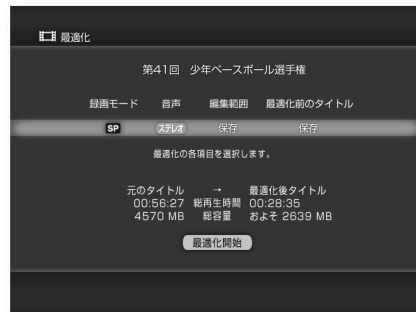
Step2

⬆⬇で[最適化]を選び決定を押す。
最適化画面が表示されます。

Step3

⬆⬇で最適化の設定欄を選び決定を押す。

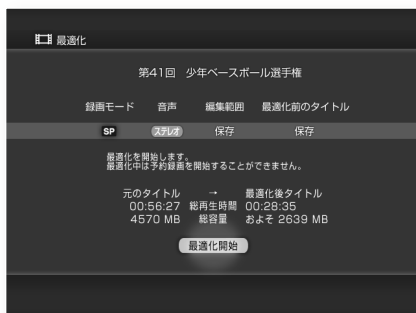
Step4

⬅➡で設定する項目を選ぶ。

Step5

⬆⬇で選んだ項目を設定する。
DVD+RWでダビングしたいときは「（DVD+RW用）SLP」を選んでください。

Step6

すべての項目の設定が終了したら決定を押す。

映像を最適化する(つづき)

ご注意はP70へ

Step7

↑↓で[最適化開始]を選び 決定 を押す。
最適化作業が始まります。

最適化中は映像の左上に Re-Rec マークが表示されます。

Step3で設定できる項目

項目	説明
録画モード	最適化後の画質を設定します。画質を落とすと、データサイズは小さくなります。
音声	主+副で録画された映像の音声を、DVD-RW(Videoモード)やDVD-R、DVD+RWのディスクにダビングするときの音声記録方法を設定します。
編集範囲	編集で飛ばすように設定した箇所を、最適化時に完全に削除するかしないかを設定します。「残す」を選んだ場合でも、最適化後のタイトルに、編集やチャプターの設定は残りません。
最適化前のタイトル	最適化前のタイトルを残すか残さないかを設定します。 「1回だけ録画可能」なコピー制御信号を含んでいる映像を最適化するときは選択できません。

最適化を途中でやめたいときは

↑↓でオプションメニューの[最適化中止]を選び 決定 を押す。

DVDにダビングする

ご注意はP70へ

本機に録画した映像をDVDにダビングすることができます。
ダビングを行う前に、目的に合ったDVDを用意してください。

本機でダビングできるディスクの種類について

本機でダビングできるディスクには、いくつかの種類があります。
本機でダビングできるディスクの種類について詳しくは、「本機で再生・ダビングできるディスク一覧」(37ページ)をご覧ください。

DVDに記録できる映像の長さについて

映像の録画モードにより、DVDにダビングできる映像の長さが異なります。

録画モード		長さ
HQ	高画質	1時間
HSP		1.5時間
SP(標準)		2時間
LP		3時間
EP		4時間
SLP		6時間

DVD-RWにVRモードでダビングするときは

DVD-RWにVRモードでダビングするときには、事前にプレイリストの設定を行う必要があります。詳しくは、「編集した映像をDVD-RWのVRモードにダビングするときのダビング方法を設定する」(98ページ)をご覧ください。

プレイリストとは

再生の順番など、映像を再生するための管理情報のことをプレイリストと呼びます。
プレイリストが記録されているDVD-RWのディスクのタイトル一覧には、オリジナルの映像とプレイリストが表示されます。
プレイリストには、P LIST マークが表示されます。

オリジナルの映像を選ぶと、編集で再生しないように設定した箇所もそのまま再生します。
プレイリストを選ぶと、編集で再生しないように設定した箇所を飛ばして再生します。

DVDにダビングする(つづき)

ダビングウィザードの流れ

手順1 ダビングするディスクの準備

手順2 ダビングする映像の選択

手順3 DVDメニューを選ぶ

DVD－R、DVD-RW(Videoモード)、DVD+RWのみ可能

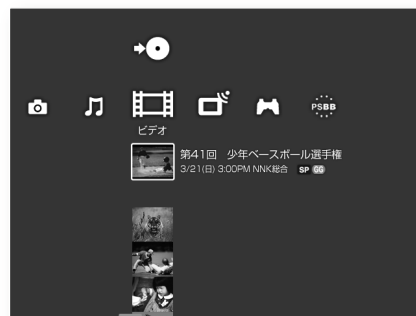
手順4 タイトルを書き込む順番を確認

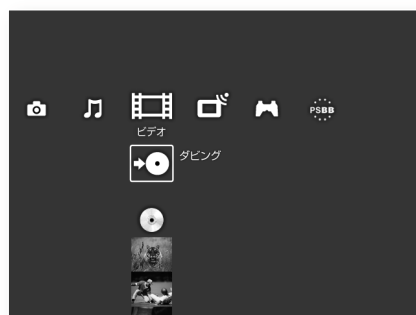
手順5 DVDメニューを作成する

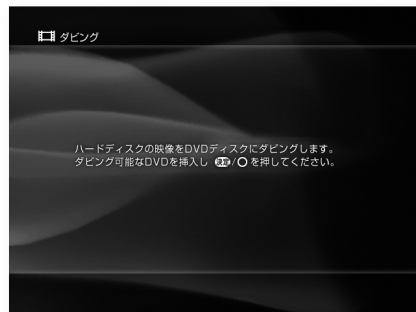
DVD－R、DVD-RW(Videoモード)、DVD+RWのみ可能

手順6 DVDにダビングする

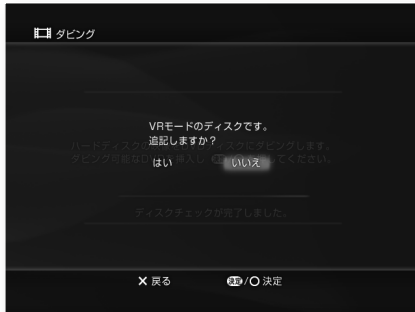
手順1 ディスクの準備をする

Step1

DVDディスクを本機に入れる。

Step2

↑↓で (ダビング)を選び 決定 を押す。

Step3

決定 を押す。
初期化(フォーマット)開始画面が表示されます。

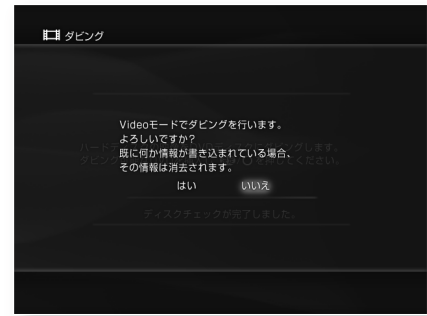
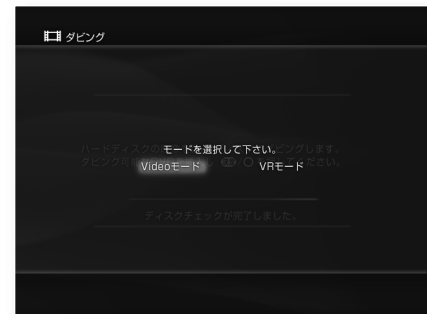
すでに映像が記録されているディスクに映像を追記したいときは

DVD-RWのVRモードやDVD+RWは、一度ダビングを行ったディスクに、映像を追加することができます。
「手順1　ディスクの準備をする」（65ページ）のStep3で 決定 を選ぶと、追記を実行するための画面が表示されます。

追記をしたいときは、ここで「はい」を選んでください。

「はい」を選ぶと「手順2　ダビングする映像（タイトル）を選ぶ」（67ページ）のStep5に進みます。
「いいえ」を選ぶと「手順1　ディスクの準備をする」（65ページ）のStep4に進みます。

ダビングした映像の消去について
本機では、ダビングした映像の一部だけを消去することはできません。
映像を消去したいときはディスクを初期化してください。

他機器を使って、ディスクに記録されている映像を消去することで発生した空きスペースについて
DVD-RW（VRモード）の場合、この空きスペースに映像を追記することができます。
DVD+RWの場合、この空きスペースは利用できません。

Step4

←→で［はい］を選び 決定 を押す。
初期化されていないディスクが入っているときは、ここで初期化を開始します。

DVD-RWのときは、下記の一覧を参考に、利用目的に合った記録モードを選んでから［はい］を選んでください。
DVD-RWの場合、ここで［DVD-RW記録モード変更］を選ぶとモード選択画面が表示されます。

	Videoモード	VRモード
再生可能な機器	ほぼすべての DVDプレーヤー	VRモード対応の DVDプレーヤーのみ
DVDメニュー	作成可能	作成不可
追記	不可	可能
備考		プレイリスト作成可能

すでに初期化されている**DVD+RW**や**DVD-RW**のディスクを同じビデオモードで再度初期化したいときは

各ディスクのオプションメニューにある［初期化］から行ってください。

手順2 ダビングする映像（タイトル）を選ぶ

Step5

↑↓でダビングしたい順番にタイトルを選び (決定) を押す。

選んだ順番にダビングされます。画面右側に表示される円グラフで、ダビングするディスクの空き容量を確認しながら、映像を選んでください。

順番を変更したいときは

1 選んだタイトルを↑↓でもう一度選び (決定) を押す。
選択が解除されます。

2 ダビングしたい順番にタイトルを選び直し (決定) を押す。

「1回だけ録画可能」なタイトルについて

「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれているタイトルは、DVDにダビングすることができません。このようなタイトルは、Step5でタイトルの画面が赤く表示されます。

赤く表示

選んだタイトルのサイズの合計がディスクの空き容量を超えてしまうときは

このようなときは、タイトル録画モードを変更し、データサイズを小さくすることで、ディスクの空き容量にあわせてダビングすることができます。本機にはタイトルの録画モードを自動的に変更する方法と、手動で録画モードを変更する方法の2種類があります。

自動で調整したいときは

Step5でタイトルを選んだあと、←→で［はい］を選び (決定) を押してください。本機が自動的にタイトルのサイズを変更します。

手動で調整したいときは

1 Step5のときに↑↓でサイズを変更したいタイトルを選び △ を押す。

2 ↑↓で［録画モード］を選び (決定) を押す。

3 ↑↓で変更後の録画モードを選び (決定) を押す。

変更前の録画モードより高画質な録画モードを選ぶことはできません。

録画モードは以下の表の順でサイズが小さくなります。

録画モード	サイズ	画質
HQ	大	高画質
HSP	↓	↑
SP		
LP		
EP		
SLP	小	

録画モードが変更されたタイトルは、以下の画面のように変更後の録画モードが表示されます。

ビデオ

録画モードを変更したくないタイトルがあるときは
変更したくないタイトルを保護すると、自動的にタイトルのサイズを変更するときでも、保護をかけたタイトルはもとの録画モードのままダビングすることができます。

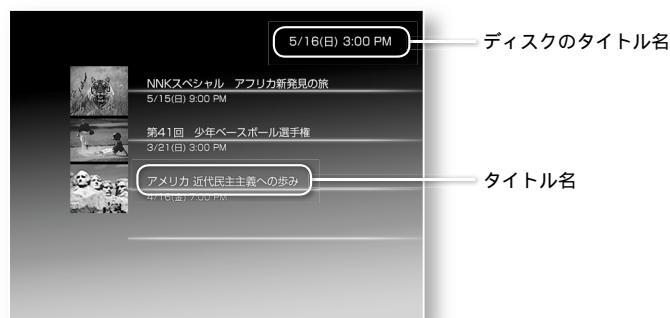
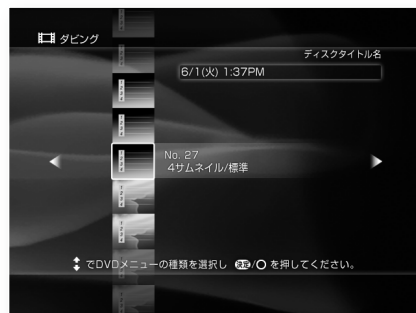
1 Step5のときに⬆⬇でサイズを変更したいタイトルを選び △ を押す。

2 ⬆⬇で[モード固定]を選び 決定 を押す。
録画モードが保護され、変更後の録画モード表示のところに 🔒 マークがつきます。

Step6

録画モードの変更が終わったら、➡を押す。

手順3 DVDメニューのデザインを選ぶ

DVDメニューとは**DVD**を再生したときに最初に表示されるタイトル一覧です。
本機ではDVD-R、DVD-RW（Videoモード）、DVD+RWのディスクでダビングするときのみ作成できます。
DVD-RW（VRモード）を使用してダビングするときは、DVDメニュー作成画面が表示されません。「手順4 タイトルを書き込む順番を確認する」（69ページ）に進んでください。

Step7

⬆⬇でDVDメニューのデザインを選び 決定 を押す。

DVDメニューを作成したくないときは
DVDメニュー一覧の一番上に表示されている「メニューを作成しません」を選んでください。
DVDメニューにより、1ページに表示できるタイトル数が異なります。DVDメニューを拡大表示して、表示できるタイトル数を確認してください。タイトル数が1ページに収まらないときは、同じデザインのDVDメニューが自動的に追加され複数ページのDVDメニューとなります。

他機器で作成した**DVD+RW**に映像を追記するときのご注意

本機で映像を追記するときに、本機で選択したDVDメニューに置き換わります。
他機器で作成したDVDメニューは、本機で映像を追記したときに消えてしまいます。

DVDメニューのデザインを拡大して確認したいときは

Step7で確認したいデザインを選んでいるときに △ を押して、⬆⬇で[拡大表示]を選ぶ。

DVDメニュー上にディスクのタイトル名を表示させたいときは

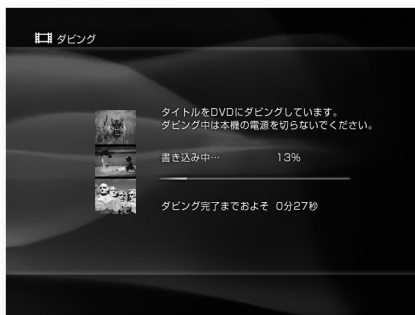
ディスクのタイトル名をDVDメニュー上に表示させることができます。初期設定はDVDメニュー上にDVDメニューを作成したときの時刻が表示されるように設定されています。

1 Step7で確認したいデザインを選んでいるときに △ を押して、⬆⬇で[名前変更]を選ぶ。

2 文字入力画面が表示されるので、ディスクのタイトル名を入力する。

手順4 タイトルを書き込む順番を確認する

タイトルは上から順番に書き込まれます。

Step8

タイトルの書き込み順番を確認し 決定 を押す。

タイトルの順番を変更したり、録画モードを変更したいときは

⬅を押して、Step5に戻る。

手順5 DVDメニューを作成する

手順3で選んだデザインでDVDメニューを作成します。
DVDメニューの作成には、時間がかかることがあります。作成されるまでしばらくお待ちください。

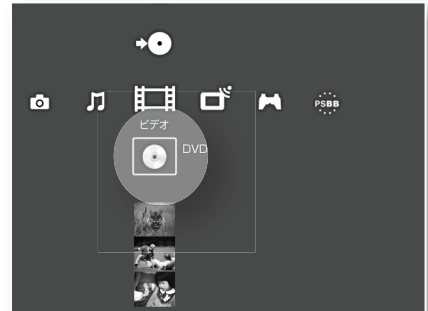
手順6 DVDにダビングする

メニューの作成が終わると、自動的にダビングが始まり、最後にファイナライズ処理をします。
ダビング時に最適化作業が発生した場合は、ダビングに時間がかかることがあります。
最適化作業はダビング時に録画モードを変更したり、音声の記録方法を変更したときに発生します。

DVDを初期化する

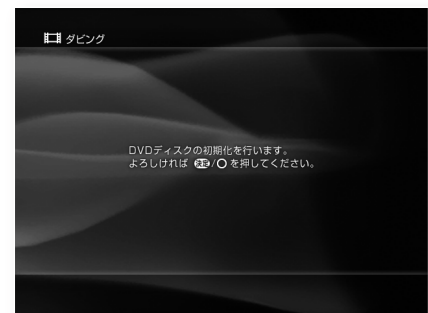
Step1

DVDディスクを本機に入れる。

Step2

⬆⬇で ⊙ (DVD)を選び △ を押す。

Step3

⬆⬇で[初期化]を選び 決定 を押す。
DVDの初期化が始まります。

Step4

決定 を押す。

DVD-RWの場合、ここで[DVD-RW記録モード変更]を選ぶとモード選択画面が表示されます。
下記の一覧を参考に、利用目的に合った記録モードを選んでから[はい]を選んでください。

	Videoモード	VRモード
再生可能な機器	ほぼすべてのDVDプレーヤー	VRモード対応のDVDプレーヤーのみ
DVDメニュー	作成可能	作成不可
追記	不可	可能
備考		プレイリスト作成可能

「ビデオを楽しむ」に関するご注意

「映像やDVDを再生する」のご注意

- ディスクに含まれている再生の設定は、本機の設定画面の設定より優先され、設定しても機能が働かないことがあります。
- DVD-R/-RWを再生するときは、インターレース方式のみの映像出力となります。

DVDのDTS音声再生時のご注意

- DTS音声信号はデジタル音声出力端子から出力します。本体の設定の「光デジタル出力」とDVDの設定の「DTS」が「入」になっていることを確認してください。
- DTSの音声信号は、アナログ音声出力から出力することができません。

「前回停止した場面から再生する」のご注意

- DVDの場合は以下のときのみ前回停止した場面から再生することができます。
  - 再生中に、SELECTやホームボタンで十字メニューを表示したとき
  - 他の映像や音楽、写真などを何も再生していないとき

「音声つきで早送りする（1.3倍速早見再生）」のご注意

- 市販のDVD-Video（DVD-ROM）で早見再生を利用することはできません。
- HQ以外の録画モードで録画した映像や、その映像をダビングしたDVDは早見再生を行ったときに、ドルビーデジタルを「入」に設定しても本機の光デジタル出力から音声を出力することができません。HQの録画モードで録画した映像はドルビーデジタルの設定にかかわらず、本機の光デジタル出力から音声が出力されます。

「編集する」のご注意

「映像を一時停止して編集作業をする」のご注意

- 一時停止したときに表示される映像は、約0.5秒間隔で表示されるよう設定されています。飛ばしたはずの場面が多少再生されてしまう場合があります。

「映像を最適化する」のご注意

- 「一回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれる番組の映像を最適化した場合、コピー制御信号が含まれる場面は青色の画像で記録され、音声は記録されません。
- コピー制御信号を含んでいる映像を最適化するときは、最適化前のタイトルを削除することができません。
- 編集で設定したチャプターの情報は、最適化を行った映像に反映されません。
- 最適化中、ATRAC3形式の音楽を再生しているときに、CD、"メモリースティック"、デジタルカメラを抜き挿しすると音飛びすることがあります。
- 録画タイトル数が多い（300件以上）場合、最適化中にATRAC3形式の音楽を再生すると音飛びすることがあります。
- 最適化中は、以下の操作や機能が働きません。
  - 録画予約の開始
  - 写真の取り込み
  - 音楽の取り込み
  - ダビング
  - 設定の変更
- 最適化中に映像の再生を行うと、再生中の画像や音声が途切れることがあります。このような場合でも、最適化は正常に行われます。
- 最適化を行うと、最適化後のタイトルの先頭の画像がサムネイルとして登録されます。

「DVDにダビングする」のご注意

- DVD機器によっては、正しくファイナライズしても再生できないことがあります。
- 他のDVD機器で録画したディスクを本機でファイナライズすることはできません。
- ダビング中は、録画予約や録画はできません。
- DVD-RWのVideoモードでダビングした場合、編集の結果は反映されます。
- ハードディスクの容量が少ないときは、DVDメニューを作成できなかったり、最適化が必要な場合にダビングができないことがあります。
- 編集で設定したチャプターの情報は、ダビング時に最適化を行った映像に反映されません。
- 地上･BS･110度CSデジタル放送のほとんどの番組はコピー制御信号が含まれております。「1回だけ録画可能」、「録画禁止」のコピー制御信号が含まれる番組をDVDへダビング、移動することはできません。" PSX "では「1回だけ録画可能」な番組はハードディスクにのみ録画することができます。
- 他機器でタイトルをすべて削除したVRモード、+VRモードのディスクに追記をすることはできません。

ミュージックを楽しむ

音楽を再生する

ご注意はP77へ

本機では、CDの曲や、ハードディスクに保存した曲を聴くことができます。また、オプション機能を使うと、CDの曲を本機のハードディスクに保存することができます。

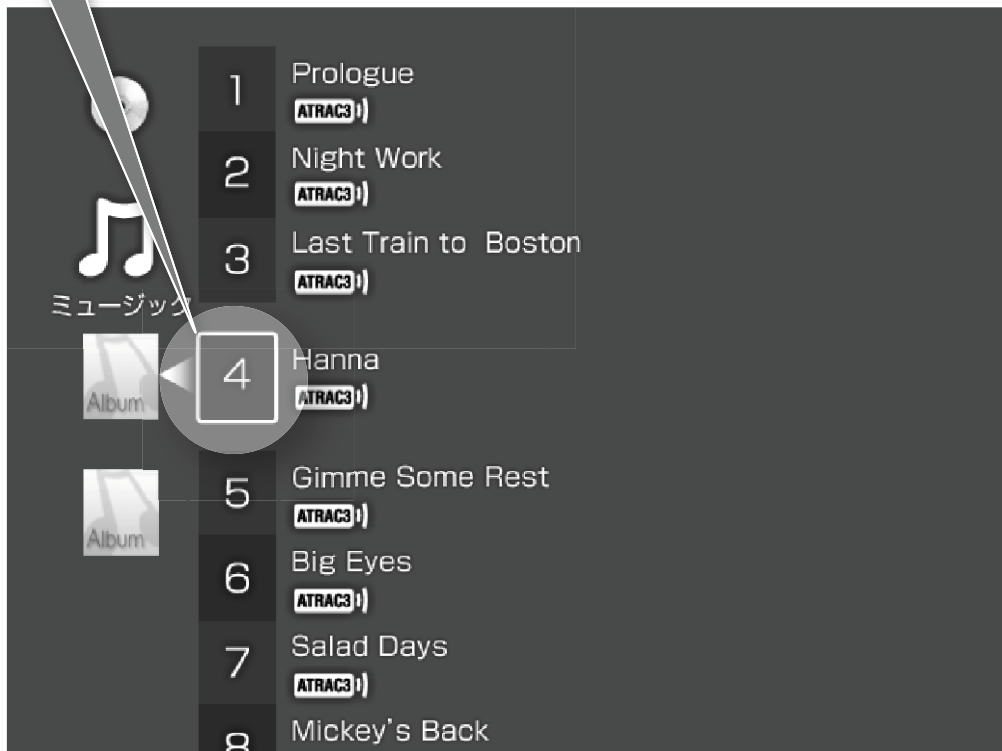
で選べるアイコンの説明

アイコン	選んで 決定 を押すと
アルバム	アルバムの中の曲を一覧表示します。

音楽CDを入れているときに表示されるアイコン

アイコン	選んで 決定 を押すと
音楽CD	CDに記録されている曲を一覧表示します。

CD-Rを入れているときに表示されるアイコン

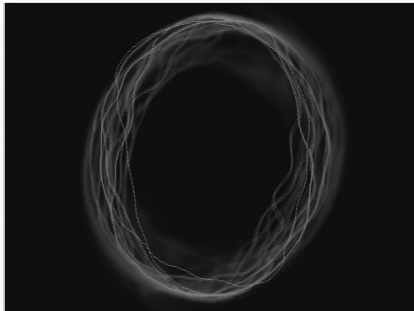
アイコン	選んで 決定 を押すと
データCD	CD-Rに記録されているMP3形式の曲を一覧表示します。

ミュージック

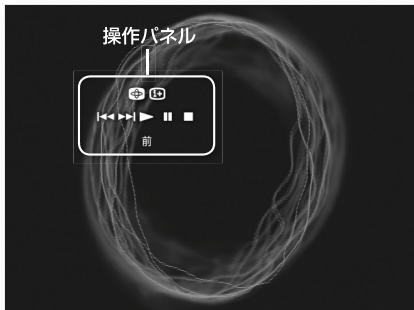
Step3で ◎（**MP3**を含んだ**CD-R**）を選んだときは

Step4でCD-Rに保存されているフォルダが表示されますので、聴きたい曲が入っているフォルダを選び 決定 を押してください。
決定 を押すと、選んだフォルダに保存されている曲の一覧が表示されますので、聴きたい曲を選び、再び 決定 を押してください。

再生中の曲を操作する

再生中の曲を一時停止したり、早送りさせたいときは操作パネルを表示します。

Step1

曲の再生中に △ を押す。
操作パネルが表示されます。

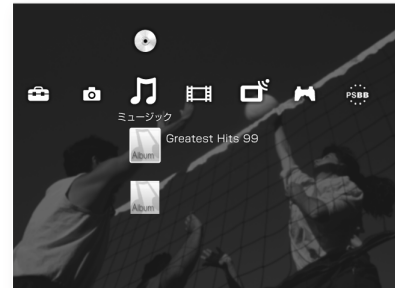
Step2

↑↓←→で利用したいアイコンを選び 決定 を押す。

操作パネルで利用できる項目

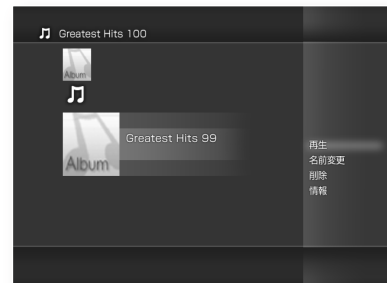
操作パネルに表示されるアイコンは使用状況により異なります。

アイコン名	できること
ビジュアライザー	再生中に表示される画像のデザインを切り換えることができます。
画面表示	画面表示を切り換えます。
前	再生中の曲、または前の曲の先頭へ移動します。
次	次の曲の先頭へ移動します。
再生	停止中の曲を再生します。
一時停止	再生中の曲を一時停止します。
停止	再生中の曲を停止します。

オプション機能を使う

オプション機能を利用すると、CDの曲を本機に取り込んだり、本機に取り込んだ音楽の名前を変更したりすることができます。

Step1

オプションを表示させたいアイコンを選び △ を押す。

Step2

↑↓←→で利用したい項目を選び 決定 を押す。
オプションで利用できる機能は右の表の通りです。

オプションを表示できるアイコン

 （音楽CDやデータCD）

 （アルバム）

（フォルダ）

（曲）

オプションで利用できる項目

ディスクやアルバム、フォルダ、曲によって表示されるオプションが異なります。詳しくは74ページをご覧ください。

オプション名	できること
再生	選んだ曲を再生します。
取り込み	音楽CDやCD-Rの曲を本機のハードディスクに取り込みます。 詳しくは「CDの曲を本機に取り込む」(右記)、「MP3の曲を本機に取り込む」(76ページ)をご覧ください。
名前変更	本機のアルバムやアルバムに保存されている曲の名前を変更します。 [名前変更]を選んで決定を押すと画面上にキーボードが表示されるので、キーボードを使って名前を変更してください。 キーボードの使いかたについて詳しくは「文字の入力方法について」(120ページ)をご覧ください。
削除	本機のアルバムや、アルバムに保存されている曲を削除します。 ※ CDに記録されている曲は削除できません。
情報	CDやフォルダ、曲などの情報が表示されます。

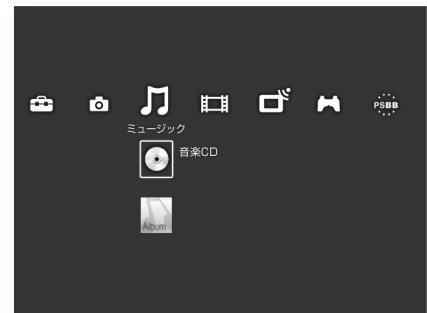
本機に取り込む

ご注意はP77へ

CDの曲を本機に取り込む

音楽CDから曲を本機に取り込むことができます。音楽CDから取り込むときは、ATRAC3形式でハードディスクに保存します。

音楽CDを取り込むときの音質の設定は、「ミュージックの設定をする」の「CDの曲を取り込むときの音質を設定する」をご覧ください(104ページ)。

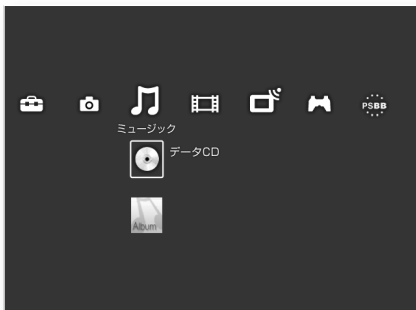
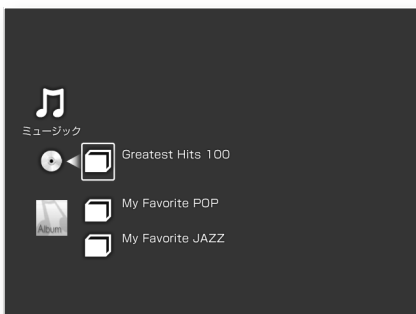
Step1

↑↓←→でホームメニューの (ミュージック) から (CD)を選び (決定) を押す。

Step2

↑↓で[取り込み]を選び (決定) を押す。

取り込みが開始されます。画面の指示にしたがってアルバムに取り込んでください。

MP3の曲を本機に取り込む

CD-Rに保存されているMP3ファイルを本機に取り込むことができます。

フォルダごと取り込む

Step1

↑↓←→でホームメニューの ♫(ミュージック) から ◎(データCD)を選び (決定) を押す。

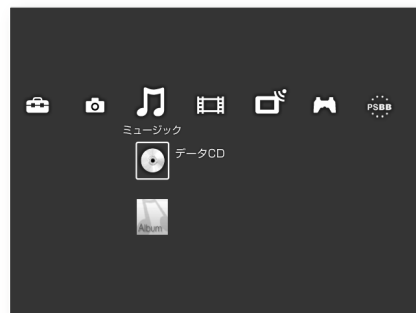
Step2

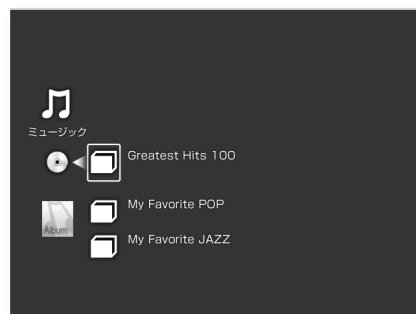
↑↓で取り込みたいフォルダを選び △ を押す。
フォルダのオプションメニューが表示されます。

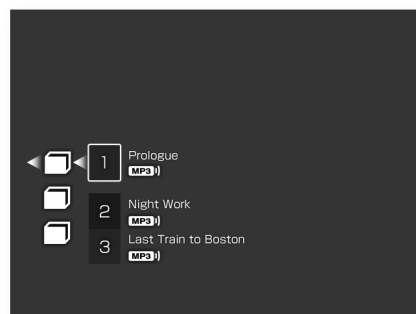
Step3

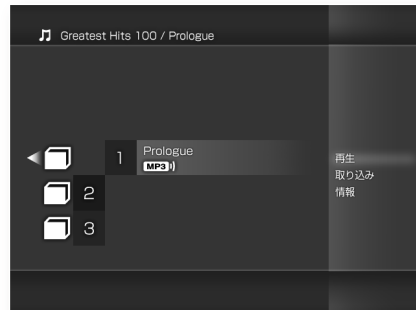
↑↓で［取り込み］を選び (決定) を押す。
取り込みが開始されます。画面の指示に従ってMP3ファイルを取り込んでください。
指定したアルバムに曲が取り込まれます。

MP3ファイルを取り込む

Step1

↑↓←→でホームメニューの ♫(ミュージック) から ◎(データCD)を選び (決定) を押す。
フォルダが表示されます。

Step2

↑↓でフォルダを選び (決定) を押す。

Step3

↑↓で取り込みたいMP3ファイル(曲)を選び △ を押す。

Step4

↑↓で［取り込み］を選び (決定) を押す。
取り込みが開始されます。画面の指示に従って、MP3ファイルを取り込んでください。

「ミュージックを楽しむ」に関するご注意

「音楽を再生する」のご注意

- パソコンで作成したCDは再生できないことがあります。
- 一部のCDは本機で再生できないことがあります。
- ハードディスクに取り込んだATRAC3形式の音声を、本機の光デジタル出力端子から出力することはできません。
- SACDのHDレイヤーを再生することはできません。

CDの**DTS**音声再生時のご注意

DTSで記録されたCDを再生するとアナログ出力からは極端に大きなノイズが出ます。本機のアナログ出力をアンプにつないでいるときは、お手持ちのシステムが破損しないよう細心の注意を払う必要があります。DTS Digital Surround™の再生をお楽しみいただくには、本機のデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surround™デコーダーを接続する必要があります。DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器につないでいるときに、CDのDTS音声を再生すると、デジタル音声出力から異音が出ます。

「再生中の曲を操作する」のご注意

- 暗い部屋でビジュアライザーを正視し続けると、癲癇(てんかん)等の症状を引き起こす場合がありますので、部屋を明るくするか、ビジュアライザーを静止画に切り換えてください。

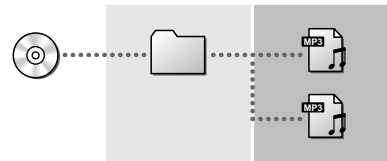
「CDの曲を本機に取り込む」のご注意

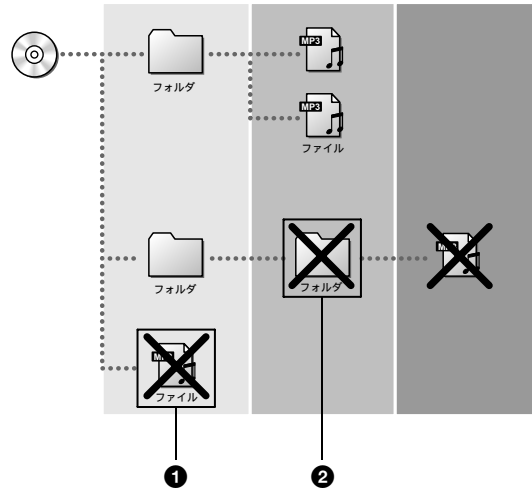
- CD規格に準拠していないCDの曲を本機に取り込むことはできません。
- 以下のCDは本機のハードディスクに取り込むことはできません。
  - レーベルゲートCD
  - DTS-CD
- CDの曲を本機に取り込んでいるときは、⏏ボタンやI/⏻(電源)ボタンを押さないでください。
- CD規格に準拠していない著作権保護技術付きの音楽ディスクは取り込めない場合があります。

CD-Rに保存した**MP3**ファイルを本機で再生するときのご注意

本機で再生できるMP3ファイルは、以下の方法で保存されたCD-Rのみです。これ以外の方法で保存されたMP3ファイルを再生することはできません。

フォルダやファイルの作成・保存場所

CD-Rの直下(ルート)にフォルダを作成し、そのフォルダの中にMP3ファイルを保存してください。

フォルダやファイルを作成・保存するときのご注意

- CD-R直下(ルート)に書き込んだMP3ファイルは本機で認識されません(❶)。
- フォルダの中にフォルダを作成しないでください(❷)。

- 1枚のCD-Rに40個以上のフォルダを作成しないでください。
- 1つのフォルダの中に100個以上のMP3ファイルを保存しないでください。

フォルダ名やファイル名をつけるときのご注意

- ファイル名は64文字以内で設定してください。
- 半角の「<」「>」「|」「"」「/」「\」「*」「:」「?」「\」などの文字は使用しないでください。
- ファイル名、フォルダ名はISO9660のレベル1、レベル2、拡張フォーマット(Joliet)に準拠していない場合、正しく表示されない場合があります。
- ファイルに名前を付けるときは、ファイルの最後に拡張子「.mp3」を付けてください。

・MP3形式以外のファイルに拡張子「.mp3」を付けると、そのファイルを再生してしまう場合があるため、雑音や故障の原因となります。
・CD-R上のMP3ファイルにおけるトラック名は、ID3タグが存在する場合、ID3タグの情報を参照して表示されますが文字数に制限があります。
・HDDに取り込んだMP3ファイルのトラック名は、ファイル名を表示しますが、文字数に制限があります。

パソコンでCD-RにMP3ファイルを書き込むときのご注意
・CD-Rを必ず使ってください。
・「Disc at once」で必ず書き込んでください。
・一度書き込んだCD-Rに追記しないでください。
・ディスクの状態によっては再生できない場合があります。
・マルチセッションで記録したディスクは、再生できません。
・CD-RWには対応しておりません。
・パケットライトには対応しておりません。

本機が対応しているフォーマットについて

CD-Rファイルシステム	ファイル名文字数制限
ISO9660レベル1	8.3形式
ISO9660レベル2	最大半角31文字(拡張子含む)
拡張フォーマット(Jolietのみ)	最大64文字(拡張子含む)

＊ フォルダは1階層までしか対応していません。

本機が対応しているCD-Rに書き込むための規格

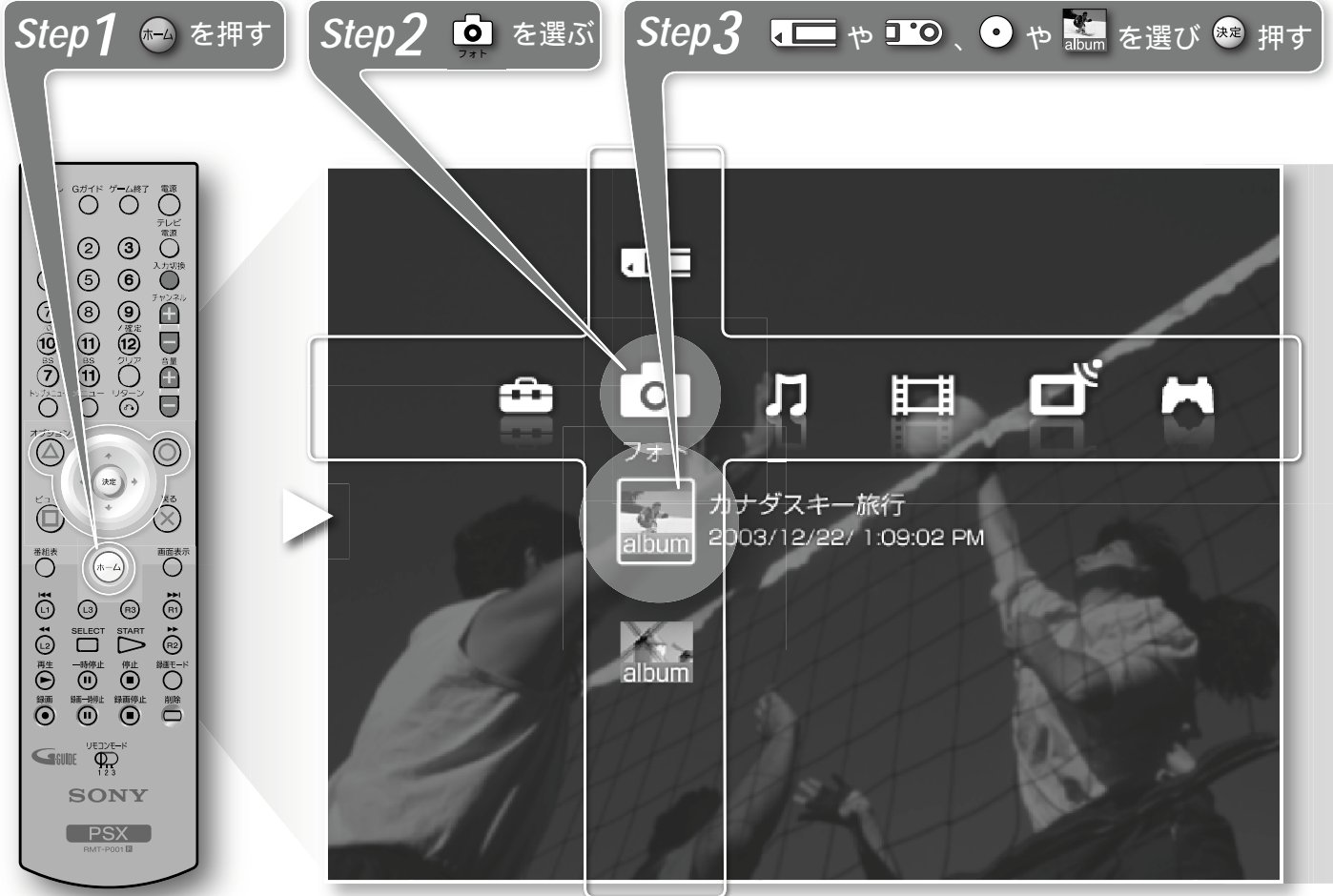
項目	MPEG1 Layer3	MPEG2 Layer3
書き込みモード	モード1、モード2(Form1)に対応	
圧縮方式(サンプリングレート)	48KHz, 44.1KHz, 32KHz	24KHz, 22.05KHz, 16KHz
ビットレート	32k～320kbps、VBRも可＊	8k～160kbps、VBRも可＊
ファイル数	99(1フォルダあたり)	
アルバム(フォルダ)数	39	
アルバム(フォルダ)階層	1	
マルチセッション	非対応	
m3uプレイリスト	非対応	
mp3PROフォーマット	非対応	

＊ VBRの場合、再生経過時間表示が実際と異なる場合があります。

フォトを楽しむ

写真を再生する

ご注意はP85へ

デジタルカメラなどで撮影した写真や本機に取り込んだ写真を表示させることができます。また、"メモリースティック"に保存された写真も表示できます。

フォト で選べるアイコンの説明

アイコン	選んで 決定 を押すと
アルバム	アルバムに保存されている写真の一覧を表示します。

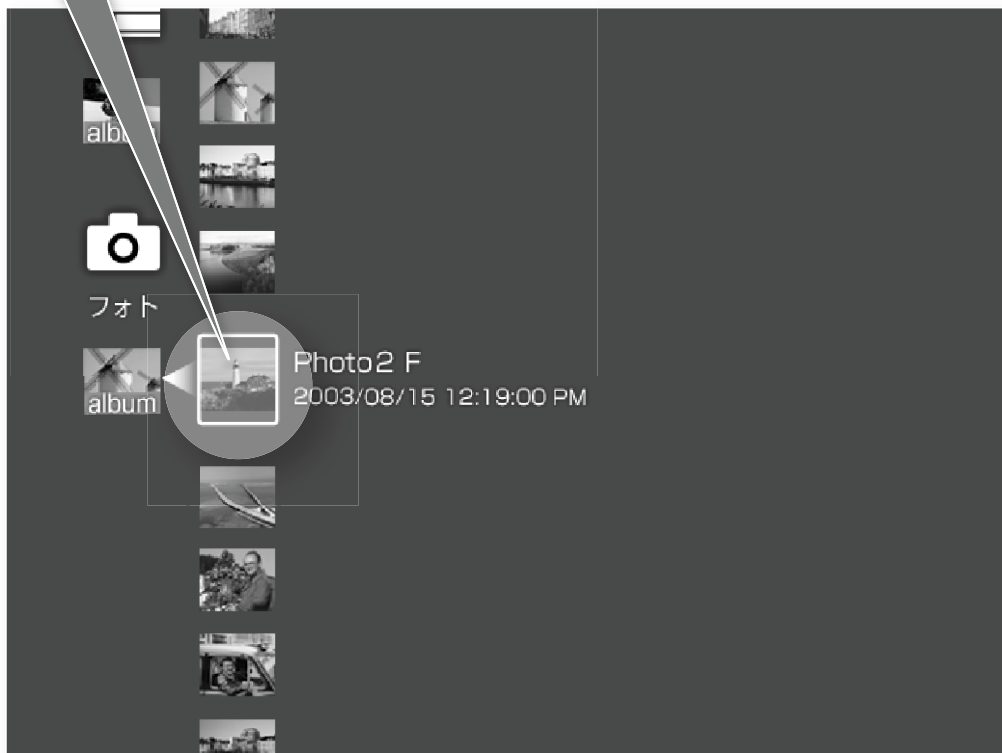
接続しているときや"メモリースティック"を入れているときに表示されるアイコン

アイコン	選んで 決定 を押すと
"メモリースティック"	"メモリースティック"に保存されている写真の一覧を表示します。
デジタルカメラ	デジタルカメラに保存されている写真の一覧を表示します。
データCD	ディスクに保存されている写真の一覧を表示します。

本機で再生できる写真や動画について

- 本機で再生できる写真や動画は、ソニー製デジタルスチルカメラ"サイバーショット"で撮影したJPEG/GIF/TIFF形式の写真とMPEG 1形式の動画、およびクリップモーションになります。

  また、"メモリースティック"やデジタルカメラに保存されている写真を再生するためには、写真がDCF形式で保存されている必要があります。

  "メモリースティック"へのファイルの保存方法は、『"メモリースティック"への写真や動画ファイルの保存方法について』(124ページ)をご覧ください。

CD-Rの作成方法は、「CD-Rへのファイルの保存方法について」(123ページ)をご覧ください。

- HQモードやVXモードなどの高ビットレートのMPEG1形式の動画は正常に再生できないことがあります。
- MPEG形式の動画や、TIFF/GIF形式の写真などを"メモリースティック"やCD-R、デジタルカメラから再生すると、時間がかかることがあります。このようなときは、再生したい動画や写真が入っているフォルダごと本機に取り込んでから再生してください。
- 動画ファイルをスライドショーで表示することはできません。
- ファイルサイズが大きい写真は、サムネイルが表示される代わりにアイコンが表示されることがあります。

Step3で や 、 を選んだときは

Step4で"メモリースティック"やデジタルカメラ、ディスクに保存されているフォルダが表示されますので、見たい写真や動画が入っているフォルダを選び 決定 を押してください。
決定 を押すと、選んだフォルダに保存されている写真や動画の一覧が表示されますので、見たい写真や動画を選び、再び 決定 を押してください。

写真を再生する（つづき）

ご注意はP85へ

順番に表示する（スライドショー）

本機のアルバムに保存されている写真を順番に表示します。

↑↓でオプション画面から[スライドショー]を選び 決定 を押す。

スライドショーの表示速度は「フォトの設定をする」の「スライドショーの表示速度を設定する」で設定してください（103ページ）。

再生中の写真や動画を操作する

Step1

写真を表示しているときに △ を押す。
操作パネルが表示されます。

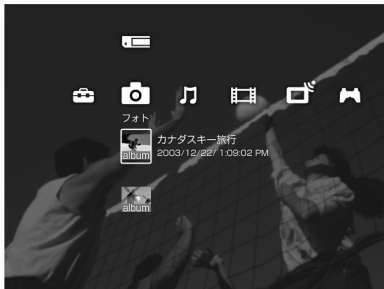
Step2

↑↓←→で利用したいアイコンを選び 決定 を押す。
写真を見ているときは、以下のアイコンが使えます。

操作パネルで使えるアイコン
使用状況により表示されないアイコンがあります。

アイコン	選んで 決定 を押すと
回転（左）	表示中の画像を左回りに90度回転させます。
回転（右）	表示中の画像を右回りに90度回転させます。
アルバムジャケットにする	アルバムのアイコンとして、写真が登録されます。
画面表示	画面表示を切り換えます。
前の写真	前の写真を表示します。
次の写真	次の写真を表示します。
再生	停止中の写真を再生します。
一時停止	再生中の写真を一時停止します。
停止	再生中の写真を停止します。

オプション機能を使う

オプション機能を利用すると、写真を本機に取り込んだり、本機に取り込んだ写真の名前を変更したりすることができます。

Step1

オプションを表示させたいアイコンを選び △ を押す。

Step2

↑↓←→で利用したい項目を選び 決定 を押す。
オプションで利用できる機能は右の表の通りです。

オプションを表示できるアイコン

 （アルバム）

 （データCD）

 （フォルダ）

 （写真）

オプションで利用できる項目

ディスク、アルバムによって表示されるオプションが異なります。詳しくは左記をご覧ください。

オプション名	できること
再生	選んだ写真を再生します。
スライドショー	本機のアルバムに保存されている写真を順番に表示します。
取り込み	“メモリースティック”やデジタルカメラに保存されているフォルダや写真を本機のハードディスクに取り込みます。
回転（左）	本機のアルバムに保存されている写真を90度ずつ左に回転させます。
回転（右）	本機のアルバムに保存されている写真を90度ずつ右に回転させます。
名前変更	アルバムの名前や、アルバムに保存されている写真の名前を変更します。 ［名前変更］を選んで決定を押すと画面上にキーボードが表示されるので、キーボードを使って名前を変更してください。 キーボードの使いかたについて詳しくは「文字の入力方法について」（120ページ）をご覧ください。
削除	本機のアルバムに保存されている写真を削除します。
情報	撮影日時などの情報が表示されます。

本機に取り込む

（"メモリースティック"）や（デジタルカメラ）、（データCD）に保存されている動画やクリップモーションを本機に取り込むことができます。

フォルダごと取り込む

Step1 ↑↓←→でホームメニューの（フォト）から（"メモリースティック"）や（デジタルカメラ）、（データCD）を選び 決定 を押す。

Step2 ↑↓で取り込みたいフォルダを選び △ を押す。
フォルダのオプションメニューが表示されます。

Step3

↑↓で[取り込み]を選び 決定 を押す。
取り込みが開始されます。画面の指示にしたがってフォルダを取り込んでください。
指定したアルバムに動画が取り込まれます。

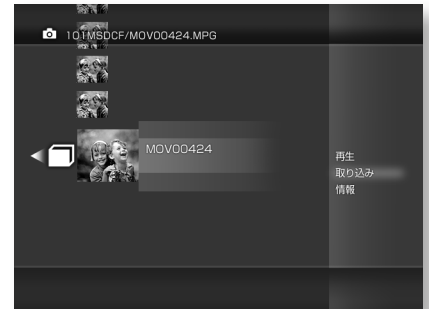
ファイルを取り込む

Step1 ↑↓←→でホームメニューの（フォト）から（"メモリースティック"）や（デジタルカメラ）、（データCD）を選び 決定 を押す。

Step2 ↑↓でフォルダを選び 決定 を押す。

Step3

↑↓で取り込みたい動画を選び △ を押す。

Step4

↑↓で[取り込み]を選び 決定 を押す。
取り込みが開始されます。画面の指示にしたがって、ファイルを取り込んでください。

フォト

「フォトを楽しむ」に関するご注意

「写真を再生する」のご注意

- パソコンで編集した写真は本機で再生できないことがあります。
- 写真を表示しているときや本機に取り込んでいるときに" メモリースティック "を抜いたり、デジタルカメラを接続しているUSBケーブルを抜いたりしないでください。
- 写真によっては、表示に時間がかかることがあります。

写真のサムネイル表示にかかる時間について

GIF形式の写真(ファイル)の数が多いときは、サムネイルが表示されるまでに非常に時間がかかる場合がありますが、本機の故障ではありません。下記目安を参考にサムネイルが表示されるまでしばらくお待ちください。サムネイルを表示する途中で、電源を切ると故障の原因となることがありますので、ご注意ください。

GIF形式の写真が表示されるまでの目安

(200枚の写真のサムネイルを画面上に表示させるときの目安です)

	(" メモリースティック ")や(デジタルカメラ)のとき	約2分～ 3分かかります
	(CD-R)上のとき	約1分かかります
album	アルバムのとき	約1分かかります

写真の取り込みが完了するまでの時間について

写真の取り込みを行うと、取り込むファイルの数によっては、非常に時間がかかる場合*がありますが、本機の故障ではありません。

写真の取り込み中に電源を切ると、故障の原因となることがありますのでご注意ください。

* 200枚の写真を一度に取り込むと、30分以上かかる場合があります。

写真の表示に関するご注意

- 一部のソニー製デジタルスチルカメラ" サイバーショット "には、文字などを白黒で取るテキストモードがあります。本機では、このモードで撮影したGIFファイルを表示したり取り込んだりすることはできません。本機はクリップモーションに対応しております。
- 本機は、ボイスメモには対応していません。

ゲームを楽しむ

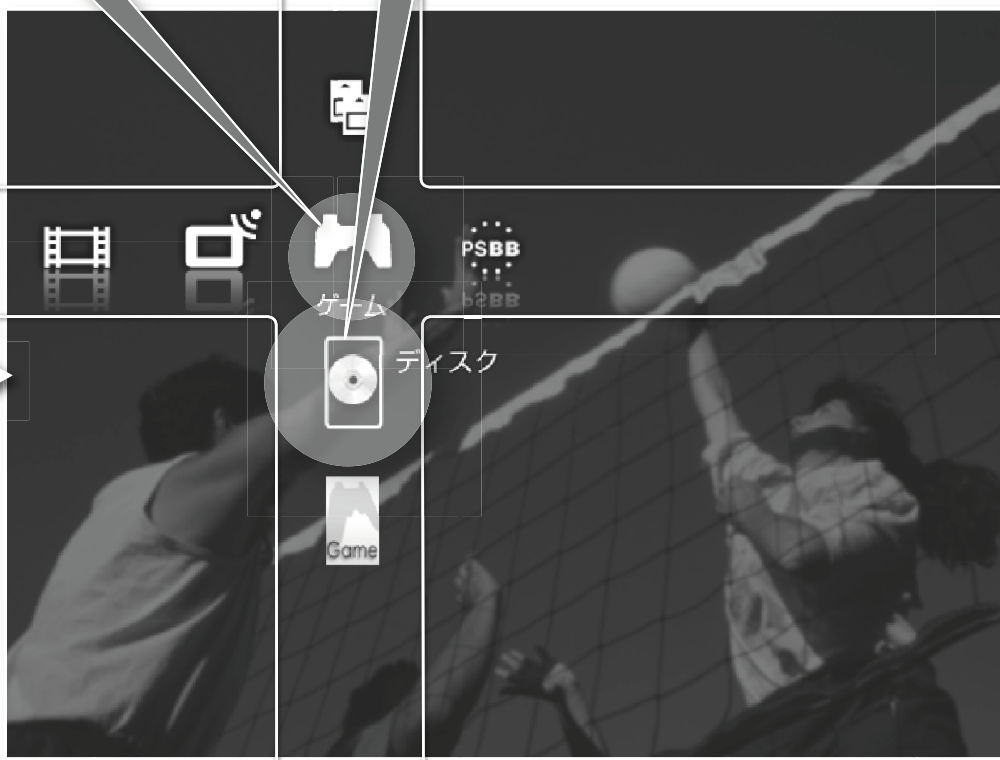
ゲームで遊ぶ

ご注意はP90へ

“ PlayStation ”や“ PlayStation 2 ”に対応したゲームソフトが楽しめます。また、ハードディスクへのインストールに対応しているゲームソフトは、本機のハードディスクにもインストールすることができます。ゲームを利用するときの準備については、「ゲームの準備をする」（22ページ）をご覧ください。

Step1 ホーム を押す

Step2 ゲーム を選ぶ

Step3 ディスク や Game を選び 決定 を押す

ゲーム で選べるアイコンの説明

アイコン		選んで 決定 を押すと
	メモリーカードユーティリティ	“ PlayStation 2 ”専用メモリーカード（8MB）またはゲームのセーブデータの保存フォルダを表示します（88ページ）。
Game	ゲームタイトル	ハードディスクにインストールしたゲームを開始します。

ディスクを入れているときに表示されるアイコン

アイコン		選んで 決定 を押すと
	ディスク	ディスクからゲームを開始します。

ゲームを始める

ゲームディスクのゲームを始めるには

ゲームディスクを挿入したあと、↑↓←→でホームメニューの（ゲーム）から（ディスク）を選びます。
“PlayStation”や“PlayStation 2”のゲームが始まります。

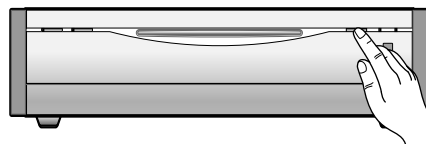
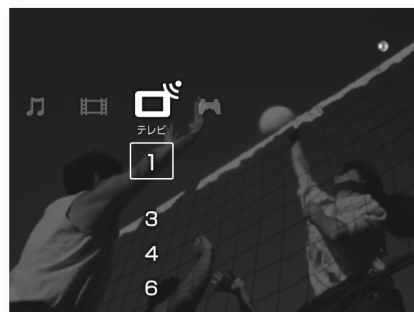
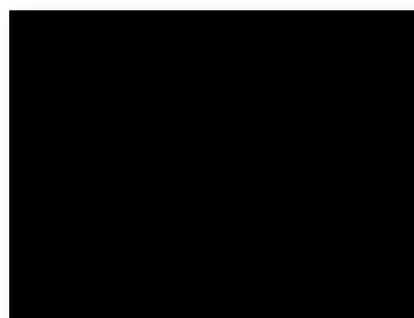
本機にインストールしたゲームを始めるには

↑↓←→でホームメニューの（ゲーム）から（ゲームタイトル）を選んで決定を押します。
“PlayStation”や“PlayStation 2”のゲームが始まります。

ゲームの操作方法については、ゲームソフトに付属の解説書をご覧ください。

ゲームをやめる

ご注意はP90へ

ゲーム中にホームボタンを押しても、ホームメニューを表示することができません。本機のゲーム以外の機能を利用したいときは、QUIT GAME（ゲーム終了）ボタンを押してホームメニューを表示させてください。

を押す

しばらくすると

QUIT GAME（ゲーム終了）ボタンを押しても、録画や録画予約は停止しません。

ゲームのその他の操作について

ご注意はP90へ

オプション機能を使う

オプション機能を利用すると、本機にインストールしたゲームの情報を表示したり、削除することができます。

Step1

オプションを表示させたいアイコンを選び △ を押す。

↑↓←→で利用したい項目を選び 決定 を押す。
オプションで利用できる機能は下の表の通りです。

オプションを表示できるアイコン

（ディスク）

（ゲームタイトル）

オプションで利用できる項目

ディスクやゲームタイトルによって表示されるオプションが異なります。詳しくは右記をご覧ください。

オプション名	できること
開始	選んだゲームを再生します。
削除	本機にインストールされたゲームを削除します。 ※ ディスクに記録されているゲームは削除できません。
情報	ゲームに関する情報が表示されます。

メモリーカードユーティリティを使う

メモリーカードユーティリティを利用すると、フォルダやセーブデータを複製したり、フォルダの名前を変更したりすることができます。

Step1

オプションを表示させたいアイコンを選び △ を押す。

Step2

↑↓←→で利用したい項目を選び 決定 を押す。
オプションで利用できる機能は右の表の通りです。

オプションを表示できるアイコン

（メモリーカードユーティリティ）

（フォルダ）

（セーブデータ）

オプションで利用できる項目

メモリーカードユーティリティ、フォルダやメモリーカード、セーブデータによって表示されるオプションが異なります。

オプション名	できること
フォルダ作成	フォルダを作成します。
名前変更	フォルダの名前を変更します。 [名前変更]を選んで決定を押すと画面上にキーボードが表示されるので、キーボードを使って名前を変更してください。 キーボードの使いかたについて詳しくは「文字の入力方法について」(120ページ)をご覧ください。
コピー	フォルダやセーブデータを複製します。
移動	セーブデータを他の“PlayStation 2”専用メモリーカード(8MB)またはメモリーカードに移動する。
削除	フォルダやセーブデータを削除します。
情報	フォルダやセーブデータに関する情報が表示されます。

ゲームをハードディスクにインストールする

ゲームのインストール方法については各ゲームに付属の解説書をご覧ください。
ハードディスクへのインストールに対応したゲームのみ本機のハードディスクにインストールすることができます。

「ゲームを楽しむ」に関するご注意

「ゲームで遊ぶ」のご注意

・本機では遊べないゲームもあります。
・本機は“ PlayStation ”や“ PlayStation 2 ”で使える以下の機器に対応していません。
　－“ PlayStation 2 ”専用マルチタップ
　－“ PocketStation ”
　－ マルチAVケーブル（VMC-AVM250）
・“ PlayStation ”や“ PlayStation 2 ”に対応している機器の中には、本機で使用できないものがあります。
・本機にはUSB端子が1つしかないため、USB端子に接続するコントローラを2つ同時につなげて遊ぶことはできません。
　市販のUSBハブを使用しても2つ同時につなげて遊ぶことはできません。
・本機は以下の“ PlayStaion 2 ”用ディスクには対応していません。
　－“ PlayStaion BB Navigator ”
　－“ PlayStation 2 ”専用DVD Player
　－ Linux（for PlayStation®2）
　－ ユーティリティディスク
　（2004年6月現在）
・ゲーム中に本機の録画を手動で停止することはできません。
・“ PlayStation 2 ”専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードの空き容量を超える容量を必要とするゲームデータをセーブしようとしても、セーブできません。ゲーム前に、データのセーブに必要な容量とカード内の空き容量を確認してください。データのセーブに必要な容量は、各ゲームに付属の解説書などをご覧ください。

「ゲームをやめる」のご注意

・ディスクを抜くとQUIT GAME（ゲーム終了）ボタンを押しても終了できないゲームもあります。
　この場合はディスクを入れ直してください。ディスクのないゲームはしばらくしてからQUIT GAME（ゲーム終了）ボタンをもう一度押してください。

ゲームのその他の操作について

セーブデータをコピーするときのご注意

・データのコピー中は、“ PlayStation 2 ”専用メモリーカード(8MB)またはメモリーカードを抜かないでください。

セーブデータを他の“ PlayStation 2 ”専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードに移動するときのご注意

・データの移動中は、“ PlayStation 2 ”専用メモリーカード(8MB)またはメモリーカードを抜かないでください。

フォルダを削除するときのご注意

・データのコピーまたは削除中は、“ PlayStation 2 ”専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードを抜かないでください。

セーブデータを削除するときのご注意

・データの削除中は、“ PlayStation 2 ”専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードを抜かないでください。

フォルダの情報を表示するときのご注意

・メモリーカード ユーティリティでは、ゲームデータのセーブやロードはできません。ゲームデータのセーブやロードのしかたについて詳しくは、各ゲームに付属の解説書などをご覧ください。

S映像ケーブルを使って本機とワイドテレビ（画面横縦比16:9のテレビ）をつなぐときは

ゲームを楽しむときは、テレビのワイド切り換え機能を使い、画面の横縦比を4:3に変更してください。
16:9のままゲーム画面をテレビに表示すると、ゲーム画面の上下が正しく表示されません。

* S映像ケーブル以外のケーブルで本機とテレビをつないでいるときは、上記変更は不要です。

▼ テレビ側で4:3に切り換える

テレビ画面の切り換え方法については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

特定のゲーム専用に開発されたコントローラを使用するときは

ゲーム専用コントローラをゲーム使用時以外で接続すると、本機が正しく動作しないことがあります。ゲームを楽しまないときは、ゲーム専用コントローラを抜き、付属のリモコンや別売りの ʼPSX ʼ専用アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）（DESR-10）で本機を操作してください。

ゲーム専用コントローラを使用するときのご注意

ゲーム専用コントローラを使って、そのコントローラが対応するゲームを楽しむときは、以下の手順でゲーム専用コントローラを差し込んでください。

- ゲームの［ディスクアイコン］や［ゲームアイコン］を選んで (決定) を押す。
- ゲーム画面が表示されたらゲーム専用コントローラを接続する。ゲーム画面が表示される前に、ゲーム専用コントローラを差し込まない。

ゲーム専用コントローラを差し込むと、ゲーム専用コントローラでのみ操作可能になるゲームがあります。付属のリモコンや別売りの ʼPSX ʼ専用アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）での操作ができなくなる場合がありますのでご注意ください。

付属のリモコンでゲームをするときのご注意

- ゲームによっては、リモコンのボタン操作が正常に動作しないことがあります。
- リモコンで複数のボタンを同時に押しても機能しません。

“PlayStation® BB”を楽しむ

本機の“PlayStation® BB”を使用すると、ゲームソフトウェアメーカーや、インターネットサービスプロバイダから提供されるコンテンツを閲覧することができます。
“PlayStation® BB”の各種コンテンツや、
“PlayStation® BB”インフォを閲覧するには、本機をネットワークに接続する必要があります。
ネットワークの接続方法については、“PSX”本体に付属している取扱説明書の112ページ「ネットワークの接続と設定をする」をご覧ください。

Step1

⬆⬇⬅➡でホームメニューの （“PlayStation® BB”）から閲覧したいチャンネルを選び 決定 を押す。

ネットワークに接続し、選んだチャンネルが表示されます。

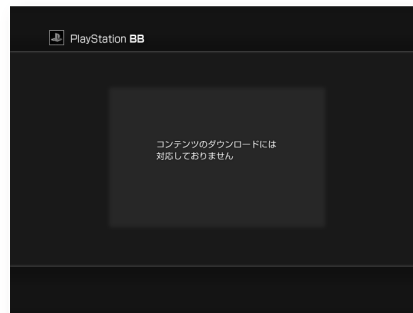
サービス内容はコンテンツを提供しているゲームソフトウェアメーカーやインターネットサービスプロバイダーによって異なります。詳しくは、各ゲームソフトウェアメーカーまたは、インターネットサービスプロバイダーへお問い合わせください。

“PlayStation® BB”インフォを閲覧する

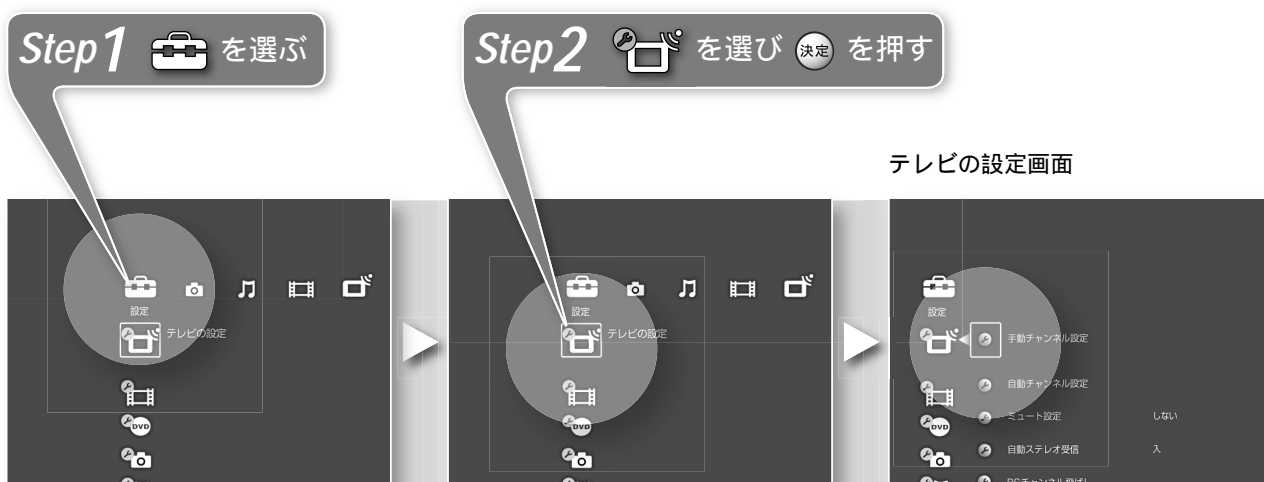
“PlayStation® BB”インフォには、“PlayStation® BB”の利用規約などが掲載されています。

⬆⬇⬅➡でホームメニューの PSBB PlayStation®BB（“PlayStation® BB”）から［“PlayStation® BB”インフォ］を選び 決定 を押す。

“PlayStation® BB”利用上のご注意

- 本機を使って“PlayStation® BB”のコンテンツなどをダウンロードすることはできません。
- “PlayStation® BB”の各チャンネルでダウンロード実行しようとすると、画面上にメッセージが表示されますが、故障ではありません。

- 本機では、有料のコンテンツを閲覧することができません。

テレビの設定をする

テレビの設定画面の出しかた

受信するチャンネルを手動設定する

1 ↑↓でテレビの設定画面から[手動チャンネル設定]を選び 決定 を押す。
2 ↑↓で設定したいチャンネルを選び 決定 を押す。
3 ←→で変更したい項目を選ぶ。
4 ↑↓で設定し 決定 を押す。

項目一覧

受信チャンネル

受信するチャンネルを設定できます。

ガイドチャンネル

番組表に表示させるチャンネルを手動で設定できます。「ガイドチャンネル一覧」(136ページ)をご覧になり、設定してください。

CATV経由でBS放送をご覧になる場合、BSチャンネルが異なる場合があります。

このようなときは、BS放送を受信しているチャンネルに、BS放送のガイドチャンネルを設定してください。

BS放送のガイドチャンネルについては、「BS放送のガイドチャンネルについて」(139ページ)をご覧ください。

チャンネル飛ばし

ホームメニューのチャンネル一覧に、選んだチャンネルを表示させないように設定します。

GRT

放送局から送信されるゴースト除去基準信号を関知し、建物や地形などによる妨害電波で発生するゴーストを少なくするようにします。

自動チューニング

受信状態が最適になるよう、自動的に調整します。

ご注意

- GRTは、チャンネルを切り換えたあと数秒してから働き、強いゴーストから順に少なくしていきます。このとき、画像が一瞬またたくことがあります。また、電波が弱い場合は、GRTは通常よりも時間がかかる場合があります。
- アンテナの設置や調整のときは「GRT」を「切」にすると、ゴーストの少ない方向を確認できます。
- 次のときは効果が十分に出ないため、「GRT」を「切」にしてください。
  - ゴーストが強すぎるとき
  - ゴーストが同時に10波以上起きているとき
  - 飛行機に反射して起きるゴーストなど、一定でないゴーストのとき
  - 室内アンテナなどアンテナ設置や調整が適切に行われていないとき

受信するチャンネルを自動的に設定する

受信可能なチャンネルを自動的に設定します。

1 ↑↓でテレビの設定画面から[自動チャンネル設定]を選び 決定 を押す。
2 ←→で[実行する]を選び 決定 を押す。

チャンネルの自動設定が始まります。

受信状態の悪いチャンネルを非表示にする

1 ⬆⬇でテレビの設定画面から［ミュート設定］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

する

受信状態の悪いチャンネルを受信しないようにします。

しない

受信状態の悪いチャンネルも受信します。

ステレオ音声を自動的に出力する

ステレオ放送を受信したときに、自動的にステレオ音声に切り換えるための設定です。

1 ⬆⬇でテレビの設定画面から［自動ステレオ受信］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

入

自動的にステレオ音声に切り換えます。

切

モノラル音声で出力します。

視聴しないBSチャンネルを非表示にする

利用しないBSチャンネルを表示できないように設定することができます。

1 ⬆⬇でテレビの設定画面から［BSチャンネル飛ばし］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇でチャンネルを選び 決定 を押す。
3 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

する

選局できないようにします。

しない

選局できるようにします。

BSアンテナの受信状態を確認する

⬆⬇でテレビの設定画面から［BSアンテナレベル表示］を選び 決定 を押す。

BSアンテナの受信状態を確認することができます。

アンテナレベルが、できるかぎり最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整してください。

BSアンテナへの電源供給方法を設定する

1 ⬆⬇でテレビの設定画面から［BSアンテナ電源］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

入

本機の電源が入っているときはBSアンテナに常に電源を供給します。

切

BSアンテナに電源を供給しません。

番組表の地域番号を設定する

同じ放送局でも地域によってチャンネルが違うため、本機の番組表を利用するには、お住まいの地域の地域番号を設定して、その地域にあった番組表を表示させる必要があります。

1 ⬆⬇でテレビの設定画面から［地域番号設定］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で地域を選び 決定 を押す。

地域番号がわからないときは

「ガイドチャンネル一覧」(136ページ)をご覧になり、お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域番号を選んでください。お住まいの地域の放送局は、新聞のテレビ欄などで確認できます。

次のようなときは「受信するチャンネルを手動設定する」でガイドチャンネルの設定を変更してください。

- 表の中の表示チャンネルがテレビのチャンネルと違う
- ケーブルテレビやマンションの共同受信システムなどをご利用の場合で、表の中の表示チャンネルが違う

番組表の番組情報を取得するためのチャンネルを設定する

「ガイドチャンネル一覧」(136ページ)で「•」の付いている放送局から番組表データが送信されます(2004年6月現在)。

1 ↑↓でテレビの設定画面から[番組表取得チャンネル]を選び (決定) を押す。
2 ↑↓でチャンネルを選び (決定) を押す。

番組表の番組情報を取得するための時刻を設定する

番組表の番組情報は、お住まいの地域によって取得時刻が異なります。誤った時刻を指定すると、番組情報を正しく受信できなくなりますので、放送局からのお知らせがない限り、時刻を変更しないでください。

1 ↑↓でテレビの設定画面から[番組表取得時刻]を選び (決定) を押す。
2 ↑↓で設定したい欄を選び (決定) を押す。
3 ←→で設定したい項目を選び、↑↓で設定する。
4 変更したい項目を設定したら (決定) を押す。

ご注意

- [番組表取得チャンネル]と[番組表取得時刻]は、ホスト局の都合でデータを送信する放送局や時刻が変更になった時以外には、手動で変更しないでください。誤って変更すると、番組表を取得できなくなります。その場合は、テレビの設定画面から[自動チャンネル設定]を選びチャンネルの自動設定をやり直します。詳しくは、お客様ご相談センター(裏表紙)へお問い合わせください。

ビデオの設定をする

ビデオの設定画面の出しかた

録画モードを設定する

録画時はここで選んだ録画モードが通常の設定となります。

1 ⬆⬇でビデオの設定画面から［録画モード］を選び 決定 を押す。

2 ⬆⬇で録画モードを選び 決定 を押す。

録画モードについて

本機には6つの録画モードがあります。高画質で記録したいときは、HQなどの高い画質の録画モードを選んでください。本機のハードディスクにより多くの映像を録画したいときは、SLPなどの録画モードを選んでください。

録画モード		記録可能時間	
		DESR-7100	DESR-5100
HQ*	高画質	約53時間	約33時間
HSP		約81時間	約51時間
SP（標準）		約107時間	約67時間
LP		約164時間	約103時間
EP		約217時間	約137時間
SLP		約325時間	約204時間

* HQモードのときはLPCM（リニアPCM）で音声が記録されます。HQモード以外のときは、ドルビーデジタルの2チャンネルで音声が記録されます。

ご注意

- 録画中は録画モードを変更することができません。
- ハードディスクの領域を変更すると、記録可能時間も変わります。
- 録画を開始してから6時間たつと、録画が自動的に停止します。

DVD-RWのダビング方法を設定する

ダビング時はここで設定した記録モードが標準設定となります。

1 ⬆⬇でビデオの設定画面から［DVD-RW記録モード］を選び 決定 を押す。

2 ⬆⬇でモードを選び 決定 を押す。

項目一覧

DVD-Video

DVD-RWをVideoモードでダビングします。

DVD-VR

DVD-RWをVRモードでダビングします。

DVD-VRモードについて

VRモードでDVD-RWにダビングした場合、編集した箇所を削除してダビングするか、編集した箇所を削除せず、プレイリストつきでダビングするかを選ぶことができます。詳しくは64ページをご覧ください。

編集した映像をDVD-RWのVRモードにダビングするときのダビング方法を設定する

DVD-RWのVRモードで編集した映像をダビングすると、プレイリストを作成したり、編集で再生しないように設定した箇所を削除してダビングしたりすることができます。

Step1 ↑↓←→でホームメニューの（設定）から［ビデオの設定］を選び 決定 を押す。

Step2 ↑↓で［VRモードプレイリスト］を選び 決定 を押す。

Step3 ↑↓でダビング方法を選び 決定 を押す。

項目一覧

作成する

プレイリストとオリジナルの映像をダビングします。編集で再生しないように設定した箇所も、オリジナルの映像に残ります。

作成しない

オリジナルの映像から、編集で再生しないように設定した箇所を削除してダビングします。

プレイリストとは

再生の順番など、映像を再生するための管理情報のことをプレイリストと呼びます。

ホームメニューの （ビデオ）で、プレイリストが記録されているDVD-RWのディスクを選び 決定 を押すと、タイトル一覧に、オリジナルの映像とプレイリストが表示されます。

プレイリストには、P LIST マークが表示されます。

オリジナルの映像を選ぶと、編集で再生しないように設定した箇所もそのまま再生します。

プレイリストを選ぶと、編集で再生しないように設定した箇所を飛ばして再生します。

外部映像を入力する端子を設定する

1 ↑↓でビデオの設定画面から［外部映像入力］を選び 決定 を押す。

2 ↑↓で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

映像

映像端子を使って外部入力機器をつないだときに選びます。

S映像

S端子を使って外部入力機器をつないだときに選びます。

外部入力音声を設定する

1 ↑↓でビデオの設定画面から［外部入力音声設定］を選び 決定 を押す。

2 ↑↓で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

ステレオ

外部入力でステレオ放送を記録するときに選びます。

二重音声

外部入力で二カ国語放送などの二重音声放送を記録するときに選びます。

二カ国語放送をハードディスクに録画するときの音声記録方法を設定する

1 ↑↓でビデオの設定画面から［HDD二カ国語記録音声］を選び 決定 を押す。

2 ↑↓で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

主音声

主音声のみを記録します。

副音声

副音声のみを記録します。

主+副音声

主音声と副音声を記録します。

二カ国語放送の録画映像をDVDにダビングするときの音声記録方法を設定する

二カ国語放送の録画映像をDVD-R、DVD-RW（Videoモード）、DVD+RWでダビングするときの音声記録方法を設定します。
DVD-RW（VRモード）でダビングするときは、主音声と副音声の両方が記録されます。

Step1 ↑↓←→でホームメニューの（設定）から［ビデオの設定］を選び 決定 を押す。

Step2 ↑↓で［DVD二カ国語記録音声］を選び 決定 を押す。

Step3 ↑↓で記録方法を選び 決定 を押す。

項目一覧

主音声
主音声のみをダビング時に記録します。

副音声
副音声のみをダビング時に記録します。

二カ国語放送の録画映像をDVDにダビングするときの記録音声について

主音声・副音声両方の音声が記録されている録画映像は、ダビングに使用するディスクによって記録できる音声が異なります。

録画時のHDD二カ国語記録音声の設定	ダビング可能なDVDディスクと記録モード			
	DVD-R（Videoモード）	DVD-RW Videoモード	DVD-RW VRモード	DVD+RW（+VRモード）
主音声	○	○	○	○
副音声	○	○	○	○
主+副音声	△	△	◎	△

△ 「DVD二カ国語記録音声」の設定で選択した音声で記録されます
○ 録画時に設定したHDD二カ国語記録音声の音声のみダビングされます
◎ 主音声/副音声両方がダビングされ、再生時に主音声/副音声の切り換えができます

ご注意

外部入力機器で放送されている二カ国語放送を録画するときは、あらかじめ本機の外部入力音声の設定を「二重音声」に設定してください。外部入力音声の設定を「ステレオ」のまま録画すると、HDD二カ国語記録音声の設定で「主+副音声」に設定しても、再生時に主音声/副音声の切り換えができなくなります。

録画時のノイズを軽減する

1 ↑↓でビデオの設定画面から［録画NR］（録画ノイズリダクション）を選び 決定 を押す。
2 ↑↓で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

3
ノイズ軽減効果を強くかける

2
ノイズ軽減効果をやや強くかける

1
ノイズ軽減効果を弱くかける

切
録画NR機能を切にします

リモコンのL2·R2ボタンの設定をする

リモコンのL2/R2ボタンの設定を変更すると、リモコンでもフラッシュが使えるようになります。

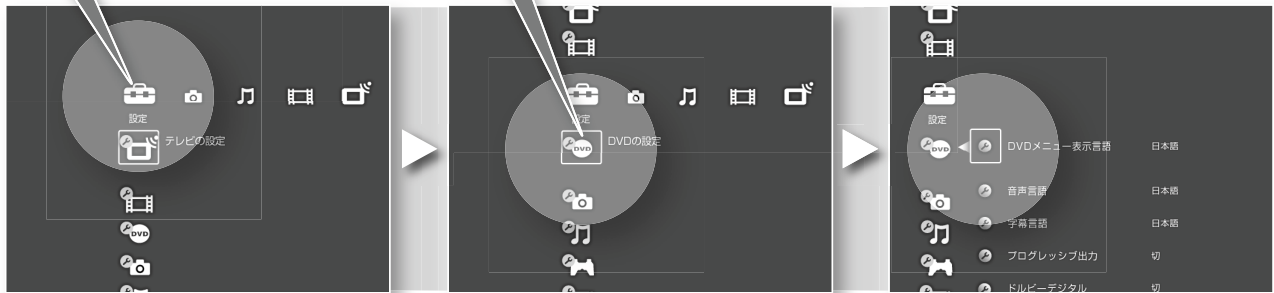
1 ↑↓［L2·R2ボタン設定］を選び 決定 を押す。
2 ↑↓［フラッシュ］を選び 決定 を押す。
L2がフラッシュー、R2がフラッシュ＋になります。

L2·R2ボタン設定について

項目	説明
サーチ	映像を早送り、早戻ししながら目的の場面まで飛ばしたいときに選びます。
フラッシュ	映像を約15秒先の場面までに飛ばしたい（戻したい）ときに選びます。

上記設定を行うと別売りの" PSX "専用アナログコントローラ（DESR-10）のL2/R2ボタンも同時に切り換わります。

DVDの設定をする

DVDの設定画面の出しかた

DVDメニューに表示させる言語を設定する

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から[DVDメニュー表示言語]を選び 決定 を押す。

2 ⬆⬇で言語を選び 決定 を押す。

「言語一覧」を選んだときは、言語一覧から設定したい言語を選びます。

再生する音声言語を設定する

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から[音声言語]を選び 決定 を押す。

2 ⬆⬇で言語を選び 決定 を押す。

「言語一覧」を選んだときは、言語一覧から設定したい言語を選びます。

表示する字幕言語を設定する

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から[字幕言語]を選び 決定 を押す。

2 ⬆⬇で言語を選び 決定 を押す。

「言語一覧」を選んだときは、言語一覧から設定したい言語を選びます。

プログレッシブ出力を設定する

D映像コードでテレビと接続するときに設定します。

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から［プログレッシブ出力］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

入

本機のD端子からプログレッシブ映像を出力します。

切

プログレッシブ映像を出力しません。テレビがプログレッシブに対応していないときや、D映像コード以外でテレビと接続しているときは、こちらを選んでください。

ご注意

- お使いのテレビがD1端子にのみ対応している場合、プログレッシブ出力を「入」にしてDVD-ビデオの再生を行うと、画像が乱れることがあります。このようなときは、プログレッシブ出力を必ず「切」に設定してください。

ドルビーデジタルを設定する

光デジタルケーブルでAVアンプと接続するときに設定します。

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から［ドルビーデジタル］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

入

ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しているオーディオ機器を接続するときに選びます。

切

ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続するときに選びます。

DTS（デジタルシアターシステムズ）を設定する

光デジタルケーブルでAVアンプと接続するときに設定します。

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から［DTS］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

入

DTSデコーダーを内蔵しているオーディオ機器を接続するときに選びます。

切

DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続するときに選びます。

音声トラックの再生方法を設定する

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から［音声トラック自動選定］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

入

DVDビデオを再生するときに、チャンネル数の最も多い音声トラック（ドルビーデジタル、DTSなど）を優先して再生します。

切

DVDビデオを再生するときに、チャンネル数の最も多い音声トラックを優先して再生しません。

視聴年齢制限の暗証番号を変更する

お買い上げ時には暗証番号は0000に設定されています。変更したい場合は以下の操作を行ってください。

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から［視聴年齢制限暗証番号］を選び 決定 を押す。
2 0000を入力する。
3 ⬆⬇で新しい暗証番号を設定し 決定 を押す。

暗証番号を忘れたときは

「本機の設定をお買い上げ時の状態に戻す」（107ページ）で、お買い上げ時の設定に戻してください。

視聴年齢制限の使用地域を設定する

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から［視聴年齢制限使用地域］を選び 決定 を押す。
2 画面の指示に従って暗証番号を入力する。
3 ⬆⬇で地域を選び 決定 を押す。

ここで［その他］を選ぶと地域コードを入力する画面が出てきます。

地域コード一覧をご覧になり、コードを入力して 決定 を押してください。

地域コード一覧

使用地域	コード
アメリカ	US
イギリス	GB
イタリア	IT
インドネシア	ID
オーストリア	AT
オランダ	NL
カナダ	CA
韓国	KR
シンガポール	SG
スイス	CH
スウェーデン	SE
スペイン	ES
タイ	TH
台湾	TW
中国	CN
デンマーク	DK
ドイツ	DE
日本	JP
ノルウェー	NO
フィリピン	PH
フィンランド	FI
フランス	FR
ベルギー	BE
香港	HK
マレーシア	MY
ロシア	RU

視聴年齢制限レベルを設定する

1 ⬆⬇でDVDの設定画面から［視聴年齢制限のレベル］を選び 決定 を押す。
2 画面の指示に従って暗証番号を入力する。
3 ⬆⬇で制限レベルを設定し 決定 を押す。

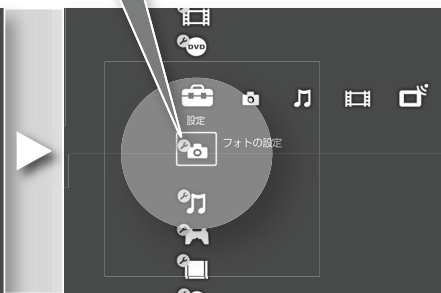
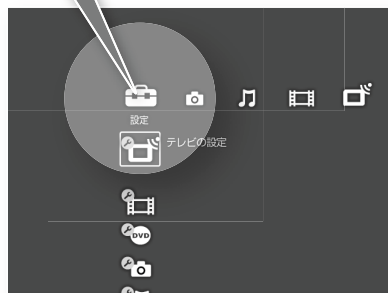
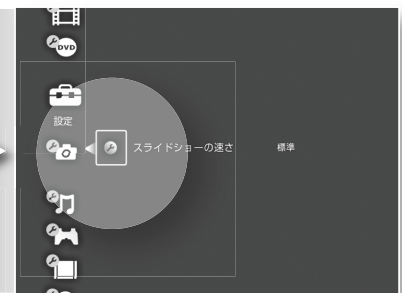
ご注意

- ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。つづき再生を解除した場合は、最初に設定したレベルに戻ります。
- 視聴年齢制限機能がないDVDビデオは、本機で視聴年齢制限をしても再生は制限できません。
- DVDビデオには、視聴年齢制限レベルの変更をせずに暗証番号のみ入力するものもあります。

フォトの設定をする

フォトの設定画面の出しかた

Step1 を選ぶ

Step2 を選び 決定 を押す

フォトの設定画面

スライドショーの表示速度を設定する

スライドショーで写真を切り換える速さを設定します。

1 ➡でフォトの設定画面から[スライドショーの速さ]を選び 決定 を押す。

2 ⬆⬇で切り換えたい速さを選び 決定 を押す。

項目一覧

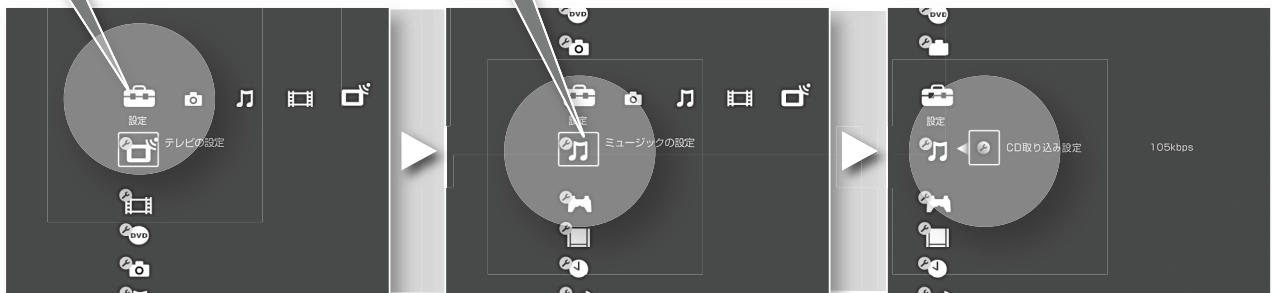
速い

写真の切り換え速度が速くなります。

標準

標準の速度で写真を切り換えます。

遅い

写真の切り換え速度が遅くなります。

ミュージックの設定をする

CDの曲を取り込むときの音質を設定する

1 ➡でミュージックの設定画面から[CD取り込み設定]を選び 決定 を押す。

2 ⬆⬇で音質を選び 決定 を押す。

項目一覧

132kbps

高音質で曲を取り込みます。

105kbps

標準の音質で曲を取り込みます。

66kbps

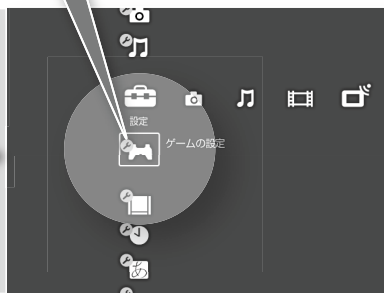
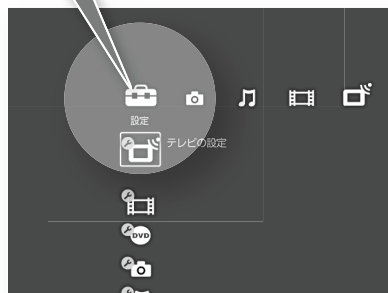
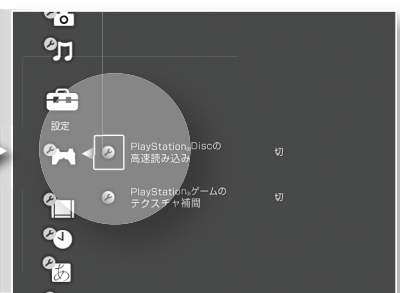
取り込むときのデータサイズを小さくすることができます。

ご注意

- 132kbpsで取り込む場合、データサイズは大きくなります。

ゲームの設定をする

ゲームの設定画面の出しかた

“ PlayStation ”規格ソフトウェア用の設定をします。
“ PlayStation 2 ”規格ソフトウェアには働きません。

“ PlayStation ”規格ソフトウェアの高速読み込みを設定する

1 ⬆⬇でゲームの設定画面から［PlayStation®Discの高速読み込み］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

入
高速読み込みでディスクを再生します。

切
通常の読み込みでディスクを再生します。

“ PlayStation ”規格ソフトウェアのテクスチャ（画像）補間を設定する

1 ⬆⬇でゲームの設定画面から［PlayStation®ゲームのテクスチャ補間］を選び 決定 を押す。
2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

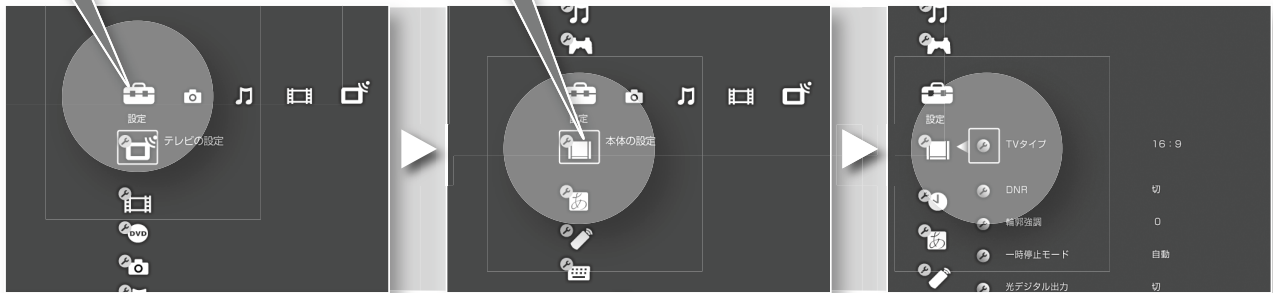
入
表示するテクスチャ（画像）をよりきれいに表示します。

切
通常のテクスチャで表示します。

ご注意

- それぞれのゲーム設定を「入」にしても、本機の電源を入れ直すと、設定は「切」に戻ります。
- ゲームソフトによっては、効果が分かりにくかったり、画像が乱れることがあります。その場合は「切」を選んでください。

本体の設定をする

本体の設定画面の出しかた

テレビ画面の横縦比を登録する

1 ⬆⬇で本体の設定画面から［TVタイプ］を選び 決定 を押す。

2 ⬆⬇で映像を表示するテレビの横縦比を選び 決定 を押す。

項目一覧

16:9

テレビ画面の横縦比が16:9のテレビのときに選択します。

4:3レターボックス

テレビ画面の横縦比が4:3で、16:9の映像をオリジナルの比率のまま見たいときに選択します。

4:3パンスキャン

テレビ画面の横縦比が4:3で、16:9の映像を4:3の画面比率に合わせて見たいときに選択します。

再生時のノイズを軽減する

再生中に画面に表示されるノイズ（ちらつき）を軽減します。

1 ⬆⬇で本体の設定画面から［DNR］を選び 決定 を押す。

2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

切

元の映像信号の状態を確認するときなどに選びます。

DNR1

映像のざらつきや色ノイズを軽減します。

DNR2

DNR1よりも強くノイズを軽減します。

映像の輪郭をはっきりさせる

1 ⬆⬇で本体の設定画面から［輪郭強調］を選び 決定 を押す。

2 ⬆⬇で数値を選び 決定 を押す。

大きい数値を選択するほど、映像の輪郭がはっきりします。

一時停止したときの表示方法を設定する

1 ⬆⬇で本体の設定画面から[一時停止モード]を選び 決定 を押す。

2 ⬆⬇でモードを選び 決定 を押す。

項目一覧

自動

動きの大きい被写体の画像がぶれずに見られます。

フレーム

動きの少ない被写体の画像を高い解像度で表示します。

光デジタル出力を設定する

1 ⬆⬇で本体の設定画面から[光デジタル出力]を選び 決定 を押す。

2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

入

光デジタル出力から音声を出力します。

切

光デジタル出力からは音声を出力しません。

ご注意

- ゲームで遊ぶときは、「切」にしていても音声が出力されることがあります。
- テレビの音声を切っても、設定を「入」にしていれば音楽は出力されます。

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻す

⬆⬇で本体の設定画面から[出荷時設定に戻す]を選び 決定 を押す。

画面の指示にしたがって操作してください。

録画中は[戻す]を選ぶことができません。なお、[戻す]を選んでもハードディスクの映像などは消えません。

ハードディスクの領域を変更する

本機のハードディスクは映像や写真、音楽などを保存する領域と、ゲーム専用の領域の2種類に分かれています。
お買い上げ時はゲーム用の領域が設定されていますが、本機でハードディスク対応ゲームで遊ばない場合は、ゲームの領域を0GB(ギガバイト)に設定することができます。

⬆⬇で本体の設定画面から[HDD領域設定]を選び 決定 を押す。
ハードディスク領域設定ウィザードが表示されますので、画面の指示にしたがって操作してください。

ご注意

- ハードディスクの領域を変更すると、ハードディスクなどに保存された映像、音楽、写真、ゲームタイトル、フォルダなどの情報がすべて消去されますので、ご注意ください。
- ハードディスクの領域を変更すると、記録可能時間も変わります。

本機の情報を表示する

本機の機種名やMACアドレスを表示します。

⬆⬇で本体の設定画面から[情報表示]を選び 決定 を押す。

本体の設定をする

日時と時刻の設定画面の出しかた

Step1 を選ぶ

Step2 を選び 決定 を押す

日時と時刻の設定画面

日時を設定する

1 ↑↓で日時の設定画面から[時刻設定]を選び 決定 を押す。
2 ←→で設定したい項目を選び、↑↓で設定する。
3 変更したい項目を設定したら 決定 を押す。

時間を自動調整する

1 ↑↓で日時の設定画面から[ジャストクロック]を選び 決定 を押す。
2 ↑↓で設定し 決定 を押す。

項目一覧

入

NHK教育テレビの時報で本機の時刻を調整します。

切

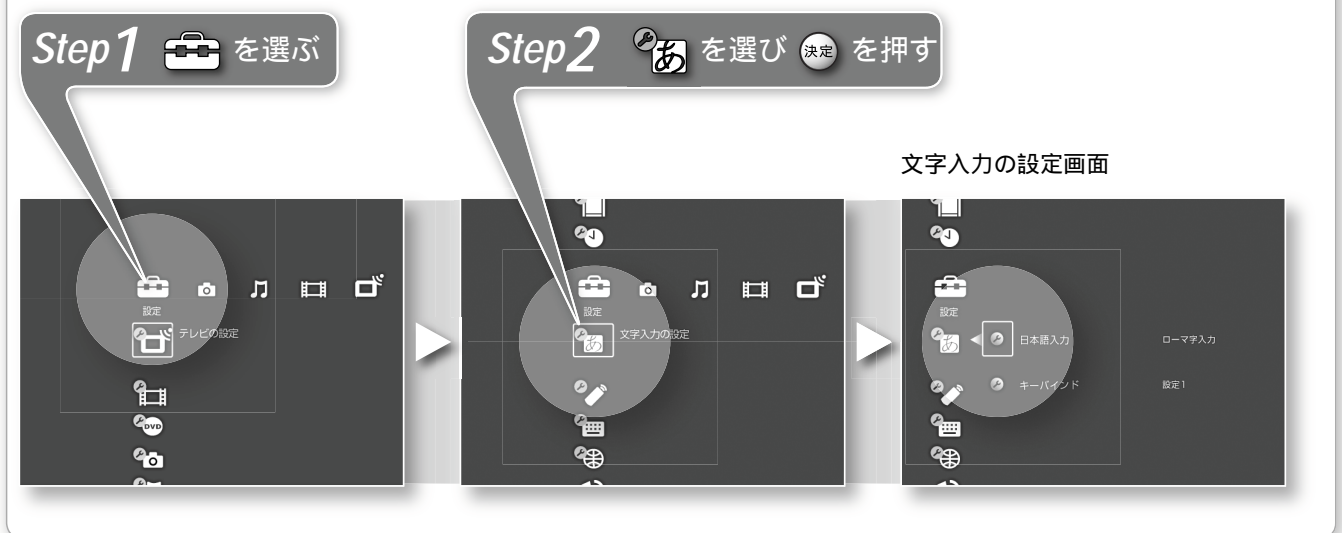
時刻の自動調整を行いません。

自動調整するチャンネルを変更するには

1 ↑↓で日時の設定画面から[設定チャンネル]を選び 決定 を押す。
2 ↑↓でチャンネルを選び 決定 を押す。

ご注意

- 自動調整が働かないときは、設定し直してください。
- 時計の自動調整を設定しているチャンネル(NHK教育テレビ)を飛ばすと、自動調整が働きません。このときはNHK教育テレビを受信できるよう設定してください。
- 正午に時報を読みとるとき、次の場合は自動調整できません。
  - ― 本機の電源が入っている(本機の電源ランプが緑に点灯しているとき)
  - ― 録画中
  - ― 時計が2分以上ずれている
- 正午の時報送信時には、本機の電源を切ってください。
- スポーツなどの中継で、正午の時報が送信されないときは、自動調整できません。

文字入力の設定画面の出しかた

文字入力の設定をする

USBで接続したキーボードで文字入力するときの文字入力方法を設定します。

日本語の入力方法を設定する

「ローマ字入力」と「かな入力」の2種類の入力方法があります。

1 ↑↓で[日本語入力]を選び 決定 を押す。

2 ↑↓で入力方法を選び 決定 を押す。

項目一覧

ローマ字入力

アルファベットキーを使ってローマ字で日本語を入力します。

かな入力

かなキーを使って日本語を入力します。

キーバインドの設定をする

日本語の変換方法を設定します。本機には2種類の設定があるので、使いやすい設定を選んでください。

1 ↑↓で[キーバインド]を選び 決定 を押す。

2 ↑↓で設定を選び 決定 を押す。

リモコンの設定画面の出しかた

Step1 を選ぶ

Step2 を選び 決定 を押す

リモコンの設定画面

リモコンモードを変更する

2台以上の“PSX”を1つのリモコンで操作したいときに、本機のリモコンモードを設定します。

1 ↑↓でリモコンの設定画面から[リモコンモード]を選び 決定 を押す。
2 ↑↓でリモコンモードを選び 決定 を押す。

操作したい“PSX”のリモコンモードに合わせて、リモコンのリモコンモードを切り換えてください。

付属のリモコンでゲームをするための設定をする

本機に付属しているリモコンでゲームを楽しむための設定をします。

1 ↑↓でゲームの設定画面から[ゲームプレイ機能]を選び 決定 を押す。
2 ↑↓で設定したい項目を選び 決定 を押す。

項目一覧

入

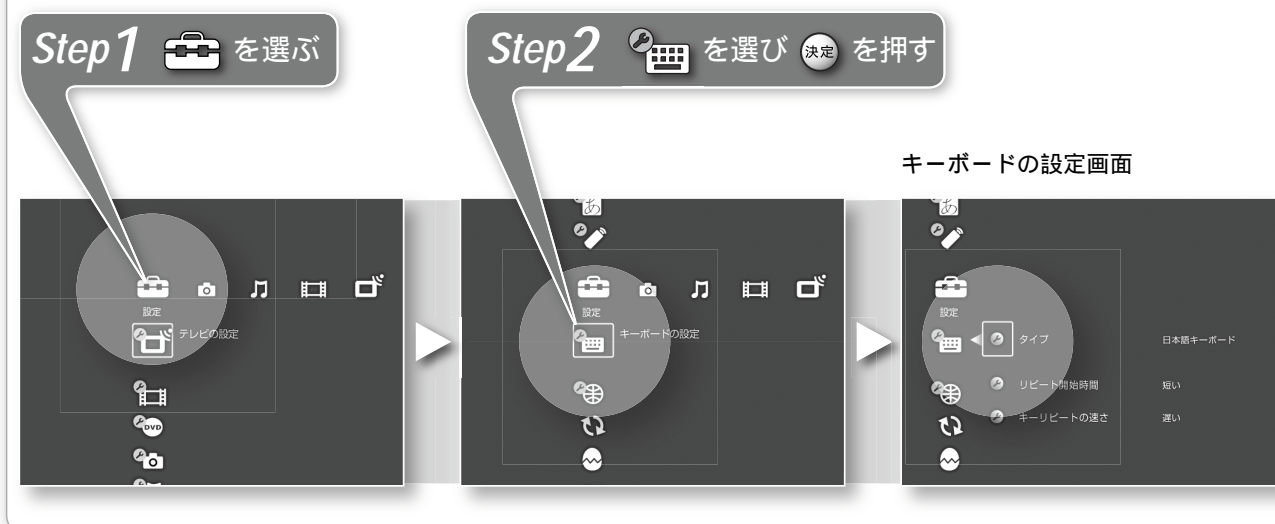
本機のリモコンでゲームを操作することができます。

切

本機のリモコンでゲームを操作することができません。

ご注意

- 「入」に設定しているときに、コントローラ端子1から別売りのアナログコントローラを抜くと、リモコンで“PlayStation 2”規格ソフトウェアまたは“PlayStation”規格ソフトウェアの操作が正しくできなくなる可能性があります。その場合は「切」に設定してください。

キーボードの設定画面の出しかた

キーボードの設定をする

使用しているキーボードに合わせて以下の設定を行ってください。

キーボードの種類を設定する

英語のキーボードをつないだときはこの設定を行ってください。

1 ⬆⬇で［タイプ］を選び 決定 を押す。

2 ⬆⬇でキーボードの種類を選び 決定 を押す。

項目一覧

日本語キーボード

日本語キーボードを接続したときに選びます。

英語キーボード

英語キーボードを接続したときに選びます。

キーを長押ししたときの文字入力開始時間を設定する

キーボードのキーを長押ししたときに、文字が繰り返し入力されるまでの時間を調整します。

1 ⬆⬇で［リピート開始時間］を選び 決定 を押す。

2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

短い

キーを長押しすると、同じ文字がすぐに入力されます。

標準

標準的な設定です。

長い

キーを長押ししても、同じ文字が連続して入力されるまでに少し時間があきます。間違って長押ししても、同じ文字が続けて入力されるのを防ぎます。

キーを長押ししたときの文字入力速度を設定する

キーを長押ししたときに入力される文字の入力速度を設定します。

1 ⬆⬇で［キーリピートの速さ］を選び 決定 を押す。

2 ⬆⬇で設定を選び 決定 を押す。

項目一覧

遅い

入力速度が遅くなります。

標準

標準の設定です。

速い

入力速度が速くなります。

ネットワークの接続と設定をする

ネットワークの接続と設定に関する詳しい情報は、以下のホームページでご覧ください。

http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

“PSX”のソフトウェア更新サービス（ネットワークアップデート）などを利用するには、本機をネットワークにつなぐ必要があります。ここでは、本機をネットワークに接続するための方法を説明します。

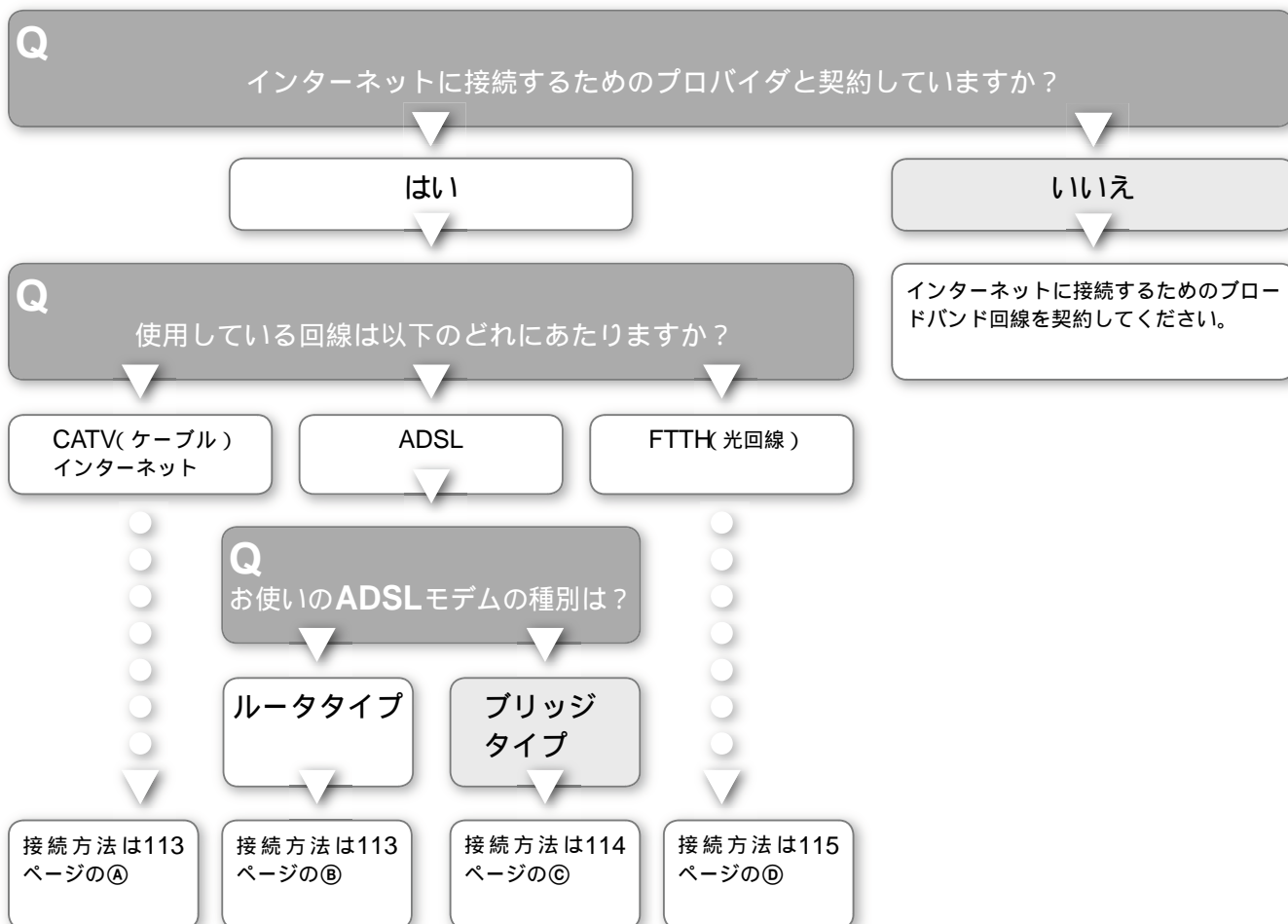
ブロードバンド回線に加入されていない方は、ネットワークの接続をする前に、ADSLやFTTH（光回線）などのブロードバンド回線の準備と、インターネットサービスプロバイダとの契約を済ませてください。

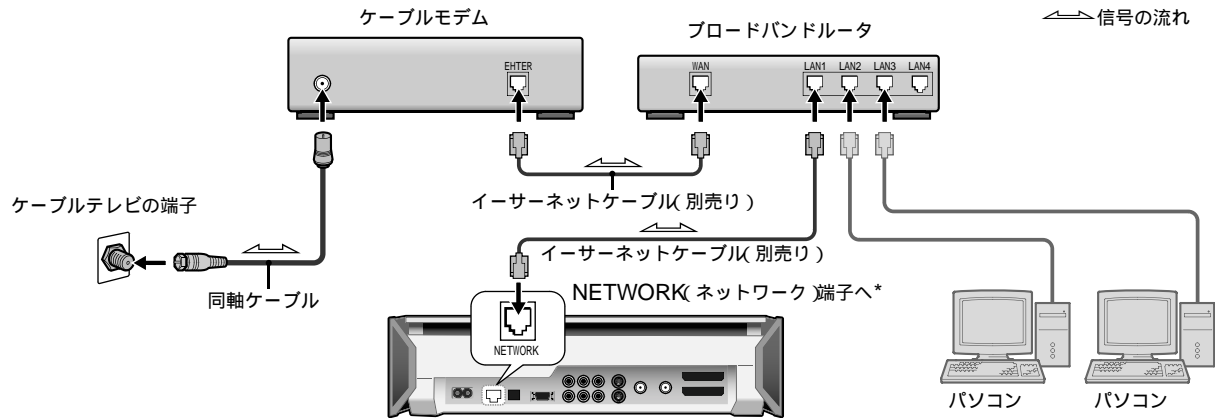
なお、ケーブルテレビ会社のインターネットサービスによっては、MACアドレスの届出が必要な場合があります。本機のMACアドレスは「本体設定」の「情報表示」画面で見ることができます。

準備1　イーサーネットケーブルをつなぐ

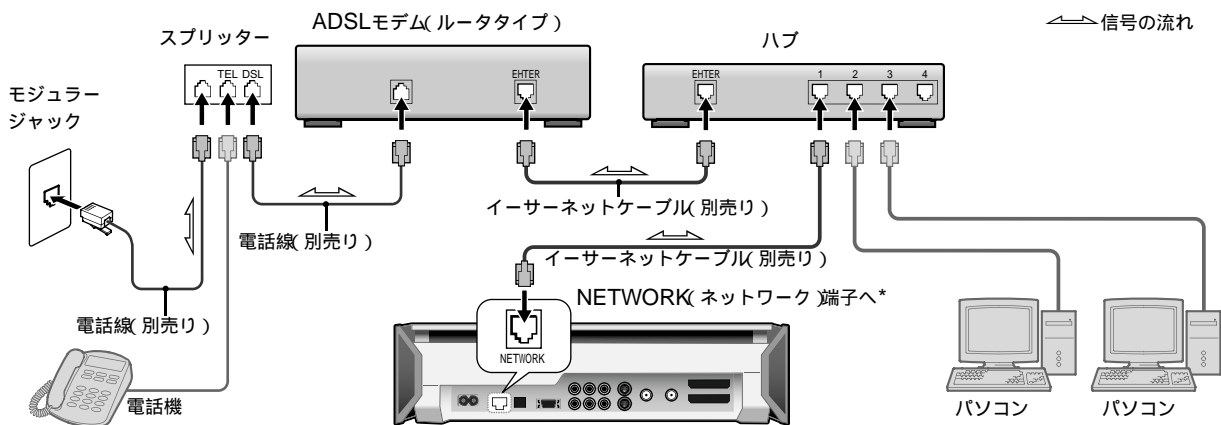
本機のNETWORK（ネットワーク）端子にイーサーネットケーブルをつないでください。

ご注意

- ダイアルアップやISDNでの接続はご利用になれません。
- インターネットサービスプロバイダから提供されているサービスによっては、接続環境設定時やネットワーク設定時にパソコンなどが必要となる場合があります。ネットワークの接続と設定をする前にご確認ください。
- イーサーネットケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。本機は、ストレートケーブルを使用してつないでください。その際には、不要電波の放射を抑えるため、シールドタイプのケーブルをお使いください。

Ⓐ CATV(ケーブル)インターネットを利用して接続する

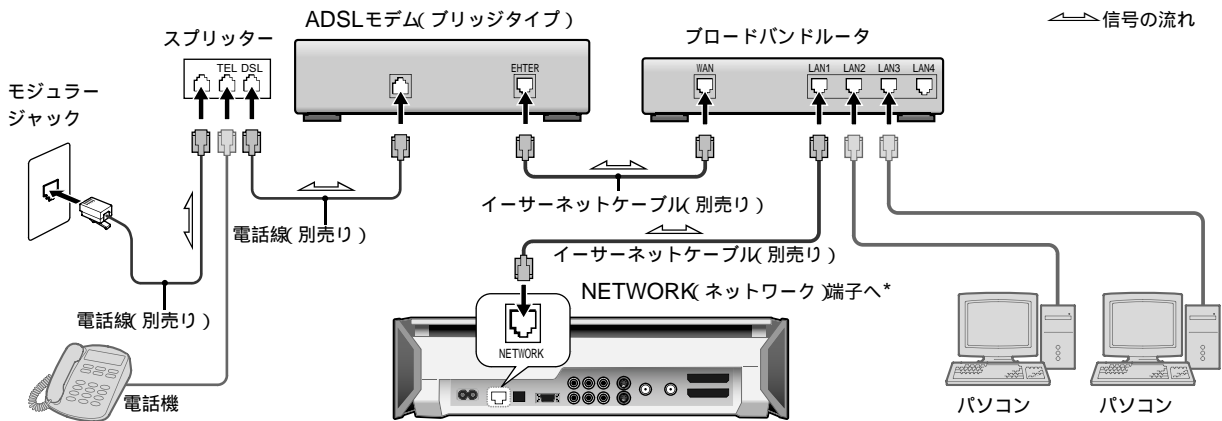
ケーブルモデムを使い、本機以外の端末からもインターネットに接続するときの接続方法です。

- 本機のみをインターネットに接続する場合は、本機とケーブルモデムを直接接続してください。
- ケーブルテレビ会社によっては、ブロードバンドルータの接続を許可していない場合があります。
  あらかじめケーブルテレビ会社にご確認ください。
  - * NETWORK(ネットワーク)端子には電話線を接続しないでください。故障の原因となります。NETWORK(ネットワーク)端子にイーサーネットケーブルを接続するときは、端子のシールをはがしてから接続してください。

Ⓑ ADSL回線を使って接続する①

ルータタイプのADSLモデムを使い、インターネットに接続する方法です。

- 本機にはウェブブラウザ機能が搭載されていないため、ADSLモデム(ルータタイプ)の設定を本機から行うことはできません。ルータの設定にはパソコンなどが必要になりますのでご注意ください。
- ADSLモデム(ルータタイプ)に装備されているイーサーネット端子の数が接続する端末数より少ない場合は、ハブが必要となります。
  - * NETWORK(ネットワーク)端子には電話線を接続しないでください。故障の原因となります。NETWORK(ネットワーク)端子にイーサーネットケーブルを接続するときは、端子のシールをはがしてから接続してください。

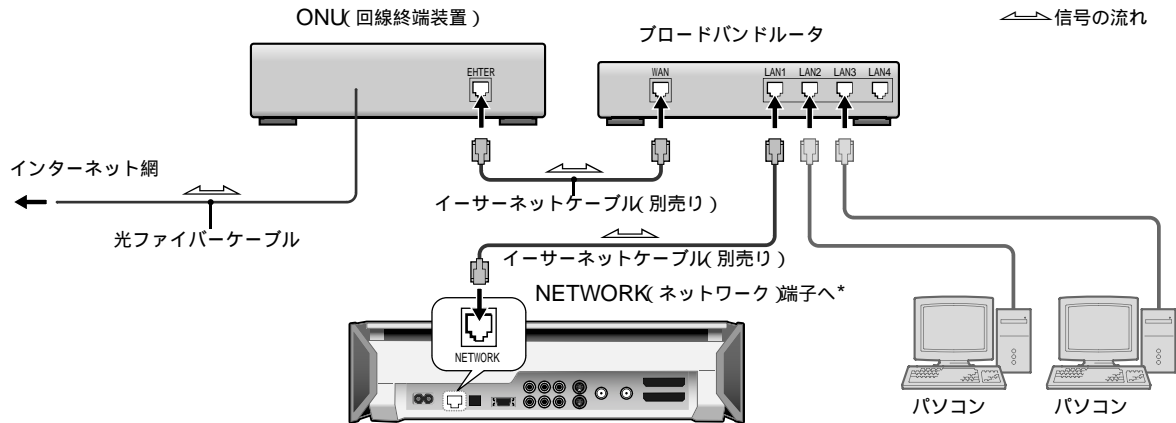
ネットワークの接続と設定をする（つづき）

Ⓒ ADSL回線を使って接続する②

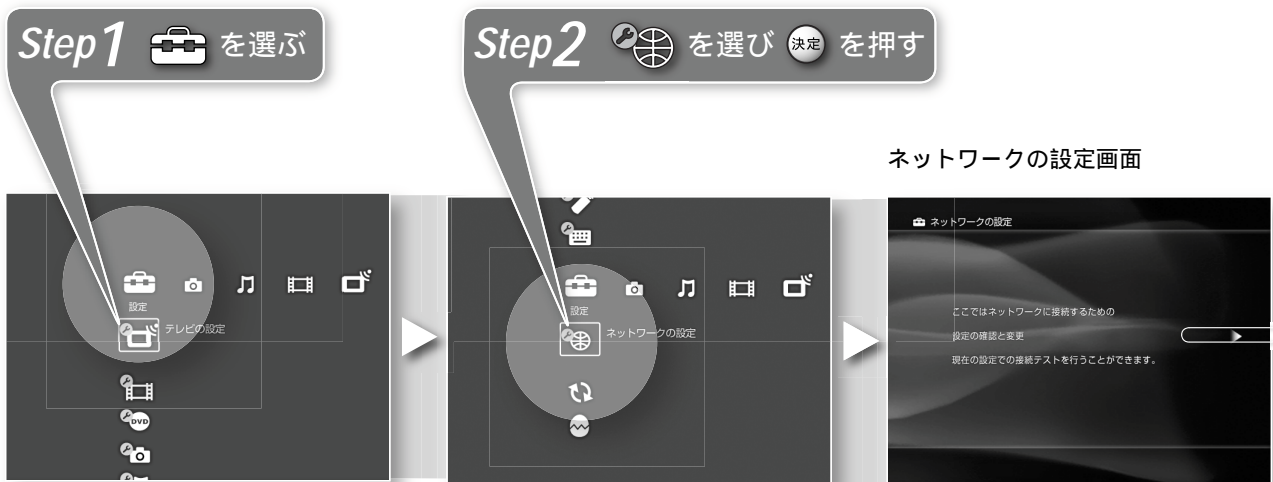
ブリッジタイプのADSLモデムを使ってインターネットに接続し、本機以外の端末からもインターネットに接続するときの接続方法です。
本機以外の端末からインターネットに接続する必要がない場合、本機とADSLモデムを直接接続してください。

- 本機のみをインターネットに接続する場合は、本機とADSLモデムを直接接続してください。
- 直接接続するときに本機のPPPoEを使用する場合があります。詳しくはインターネットサービスプロバイダにご確認ください。

* NETWORK（ネットワーク）端子には電話線を接続しないでください。故障の原因となります。NETWORK（ネットワーク）端子にイーサーネットケーブルを接続するときは、端子のシールをはがしてから接続してください。

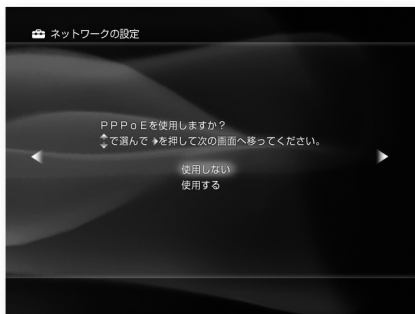
Ⓓ FTTH（光回線）を使って接続する

FTTH（光回線）でインターネットに接続し、本機以外の端末からもインターネットに接続するときの接続方法です。

- 本機のみをインターネットに接続する場合は、本機とONU（回線終端装置）を直接接続してください。
- 直接接続するときに本機のPPPoEを使用する場合があります。詳しくはインターネットサービスプロバイダにご確認ください。
- マンションなどで共同インターネット回線をご使用の場合、ONU（回線終端装置）が必要ないことがあります。（直接お部屋までイーサーネット回線の配線が敷設されている場合など）

* NETWORK（ネットワーク）端子には電話線を接続しないでください。故障の原因となります。NETWORK（ネットワーク）端子にイーサーネットケーブルを接続するときは、端子のシールをはがしてから接続してください。

ネットワークの設定画面の出しかた

準備2　ネットワークを設定する

ネットワークの設定画面を表示したら、画面の指示に従って設定してください。

STEP 1　「PPPoEの確認」

本機でPPPoEを使用し、インターネットに接続するときは「使用する」を選びます。

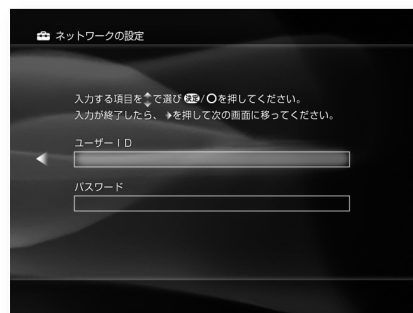
PPPoEを使わずにネットワークに接続するときや、本機ではなく、ルータのPPPoE機能を使用するときは「使用しない」を選んでください。

PPPoEの設定はインターネット接続環境により異なりますので、詳しくはお使いのインターネットサービスプロバイダ（プロバイダ）にお問い合わせください。

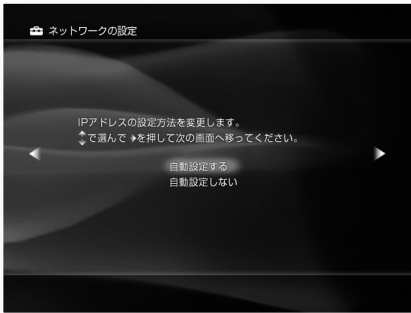
「使用しない」を選んだ場合

IPアドレス設定方法の確認画面に切り換わります。STEP2「IPアドレスの確認」（117ページ）をご覧ください。

「使用する」を選んだ場合

PPPoEの設定画面が以下のように表示されます。

設定する項目

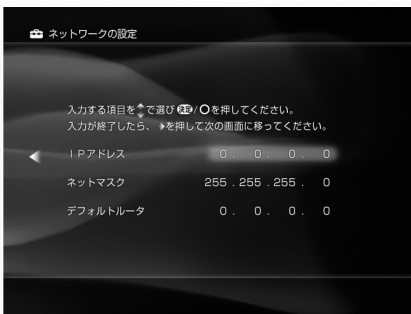
- ユーザー ID、パスワードの入力：PPPoEを使用するための、ユーザー IDとパスワードを入力してください。ここで入力するユーザー IDとパスワードはインターネットに接続するためのユーザー ID、パスワードと同じです。ユーザー IDとパスワードについて詳しくは、お使いのプロバイダにお問い合わせください。

STEP 2　「IPアドレスの確認」

IPアドレスの設定方法を確認します。
プロバイダから使用するIPアドレスを指定されている場合は、「自動設定しない」を選んでください。
インターネット接続時に IPアドレスが自動的に割り当てられる場合や、お使いのルータから IPアドレスが自動的に割り当てられる場合は、「自動設定する」を選んでください。
IPアドレスについて詳しくはお使いのプロバイダにお問い合わせください。

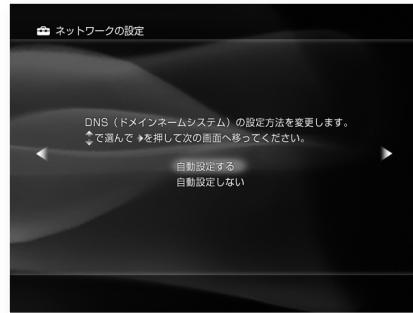
「自動設定する」を選んだ場合

IPアドレスが自動的に割り当てられます。

「自動設定しない」を選んだ場合

IPアドレス、ネットマスク、デフォルトルータなどを設定する画面が以下のように表示されます。

設定する項目

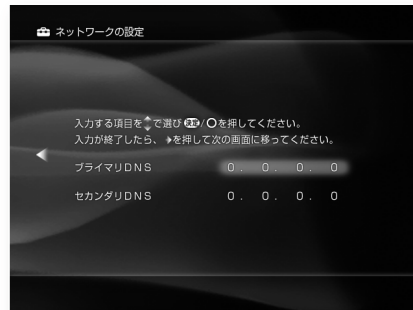
- IPアドレス：プロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。
- ネットマスク：プロバイダから指定された値を入力してください。プロバイダによってはネットマスク以外の名称で呼ばれていることがあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。
- デフォルトルータ：プロバイダから指定された値を入力してください。プロバイダによってはデフォルトルータ以外の名称で呼ばれていることがあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

STEP 3　「DNSの確認」

DNSの設定方法を確認します。
プロバイダから使用するDNSのアドレスが指定されている場合は、「自動設定しない」を選んでください。
インターネット接続時にDNSのアドレスがプロバイダから自動的に割り当てられる場合は、「自動設定する」を選んでください。
DNSについて詳しくはお使いのプロバイダにお問い合わせください。

「自動設定する」を選んだ場合

DNSのアドレスがプロバイダから自動的に割り当てられます。

「自動設定しない」を選んだ場合

DNSを設定する画面が以下のように表示されます。

設定する項目

- プライマリDNS：プロバイダから指定されたプライマリDNSを入力してください。
- セカンダリDNS：プロバイダから指定されたセカンダリDNSを入力してください。

ネットワークの設定で使われる用語は、お使いのプロバイダによって、以下のように呼びかたが異なります。
詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

「ユーザー ID」の別の呼びかた
・「接続ID」
・「ユーザー名」
・「PPPログイン名」
・「ネットワークID」
・「接続ログイン名」
・「アカウント名」
・「ログオン名」

「パスワード」の別の呼びかた
・「PPPパスワード」
・「ネットワークパスワード」
・「接続パスワード」

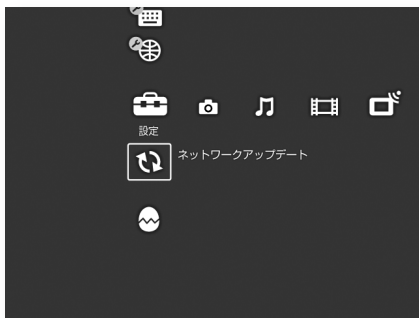
「プライマリDNS」の別の呼びかた
・「ネームサーバ」
・「プライマリDNSサーバ」
・「プライマリネームサーバ」
・「ドメインネームサーバ」

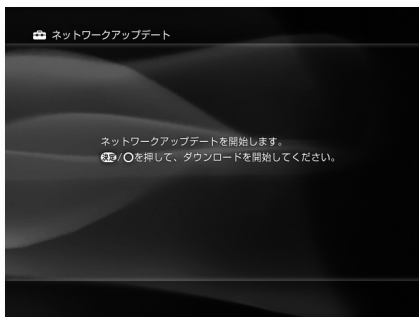
「セカンダリDNS」の別の呼びかた
・「セカンダリDNSサーバ」
・「セカンダリネームサーバ」
・「ドメインネームサーバ」

「デフォルトルーター」の別の呼びかた
・「デフォルトゲートウェイ」

本機のソフトウェアを更新する（ネットワークアップデート）

本機のソフトウェアをネットワークを使って更新するには、ネットワークの接続と設定が必要です（112ページ）。
更新にはしばらく時間がかかる場合がありますが、すべての作業が終了するまでI/⏻（電源）スイッチや⏏（取り出し）ボタンを押さないでください。故障の原因となります。

Step1

から を選び 決定 を押す。

Step2

ネットワークアップデートの設定画面が表示されます。

Step3

ネットワークアップデートの設定画面が表示したら 決定 を押して、画面の指示にしたがって更新する。

更新作業の流れはソフトウェアのバージョンにより異なります。詳しくはソフトウェアアップデート時に発行される“PSX”アップデート取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- ソフトウェアの更新中にエラーメッセージが表示された場合、最初からやり直してください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、お客様ご相談センターへお問い合わせください（裏表紙）。

文字の入力方法について

本機では画面上に表示されるキーボードを使って文字入力を行います。入力する文字により、使用するキーボードが異なります。入力したい文字に合わせてキーボードを切り換えてください。

文字入力のしかた

例として「日曜ドラマ」の入力方法を説明します。

Step1

←→↑↓でキーボードの「に」を選び 決定 を押す。
続けて「ち」、「よ」、「う」、「と」、「゛」、「ら」、「ま」を入力します。間違えたときは[BS]を選び 決定 を押します。

Step2

△ を押す。
「日曜ドラマ」に変換されます。他の変換候補を選ぶにはもう一度 △ を押します。
確定するには 決定 または ○ を押します。

Step3

←→↑↓でキーボードの[完了]を選び 決定 を押す。
「日曜ドラマ」が名前として登録されます。

文字を削除するには

Step1

←→↑↓でキーボードの[←]や[→]を選び、決定 を押してカーソルを削除したい文字の右側に移動させる。

Step2

←→↑↓でキーボードの[BS]を選び ◎ を押す。

キーボードを切り換える

キーボード表示中にリモコンのL1ボタンを押すと、以下のようにキーボードが切り換わります。
ひらがな入力用キーボード→カタカナ入力用キーボード→英字入力用キーボード→数字入力用キーボード→記号入力用画面→ひらがな入力用キーボードの順に切り換わります。

ひらがな入力用キーボード

リモコンのL1ボタンを押し、以下のキーボードを表示させます。

小さい「っ」などを入力するには
←→↑↓でキーボードの[Shift]を選び 決定 を押します。
小さい文字を1文字入力すると、大きい文字のキーボードに切り換わります。

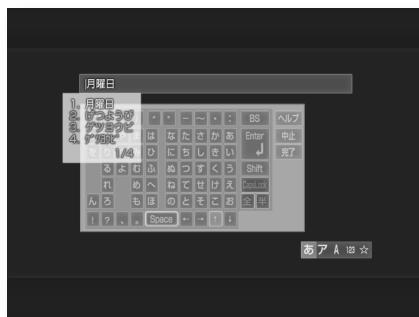
漢字などに変換するには

Step1

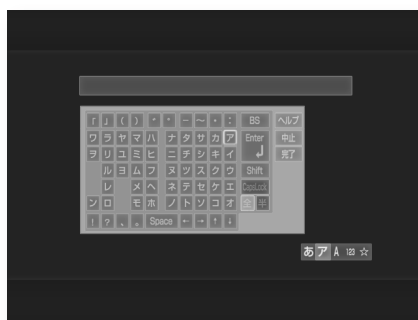
ひらがなを入力する。
ひらがなが反転した状態で表示されます。

Step2

△ を2回押す。
変換候補が表示されます。

Step3

↑↓で変換したい文字を選び 決定 を押す。

カタカナ入力用キーボード

リモコンのL1ボタンを押し、以下のキーボードを表示させます。

小さい「ッ」などを入力するには
←→↑↓でキーボードの[Shift]を選び 決定 を押します。
小さい文字を1文字入力すると、大きい文字のキーボードに切り換わります。

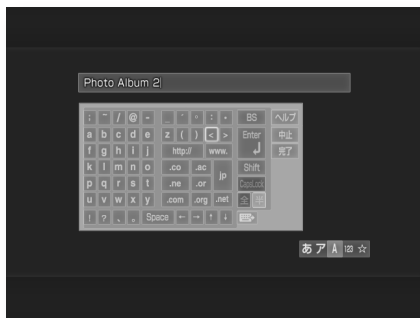
文字の入力方法について（つづき）

半角文字を入力するには

←→↑↓でキーボードの 全 半 を選び 決定 を押すと半角文字を選ぶことができます。

全 半 を選ぶと全角に戻ります。

英字入力用キーボード

リモコンのL1ボタンを押し、以下のキーボードを表示させます。

大文字を入力するには

一時的に大文字を入力する場合

←→↑↓でキーボードの［Shift］を選び 決定 を押すと大文字の入力ができます。

大文字を１文字入力すると小文字のキーボードに切り換わります。

継続して大文字を入力する場合

←→↑↓でキーボードの［CapsLock］を選び 決定 を押すと大文字の入力ができます。

もう一度［CapsLock］を選ぶまで大文字が入力されます。

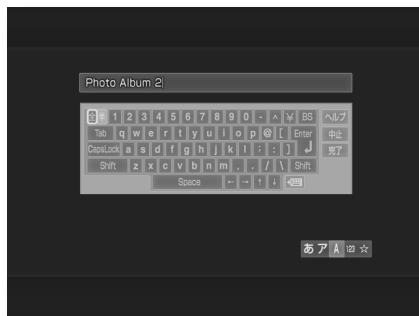
全角文字を入力するには

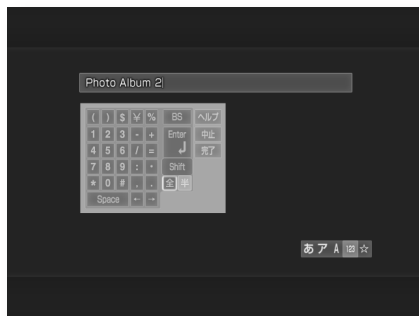
←→↑↓でキーボードの 全 半 を選び 決定 を押すと全角文字を選ぶことができます。

全 半 を選ぶと半角に戻ります。

キーボードの配列を変更するには

←→↑↓で ⌨⇨ を選び 決定 を押します。

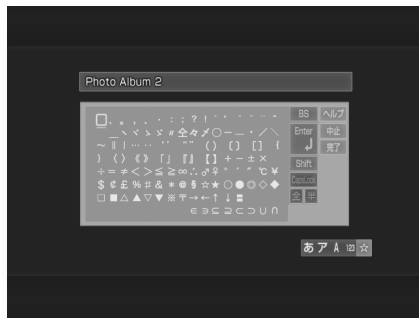
もう一度 ⇦⌨ を選ぶと元の配列に戻ります。

数字入力用キーボード

リモコンのL1ボタンを押し、以下のキーボードを表示させます。

全角数字を入力するには

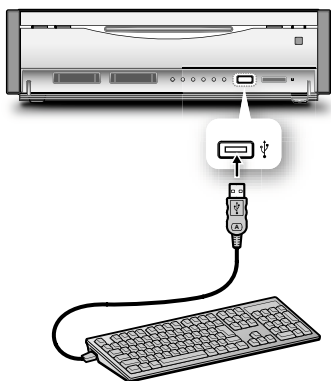
←→↑↓でキーボードの 全 半 を選び 決定 を押すと全角文字を選ぶことができます。

全 半 を選ぶと半角に戻ります。

記号入力用キーボード

リモコンのL1ボタンを押し、以下のキーボードを表示させます。

キーボードを接続して文字を入力するには

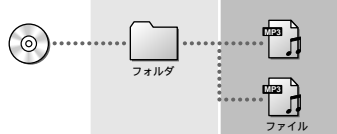
USB端子を使って本機に"PlayStation 2"対応キーボードをつなぐと、画面上に表示されるキーボードを使わずに、文字の入力ができるようになります。

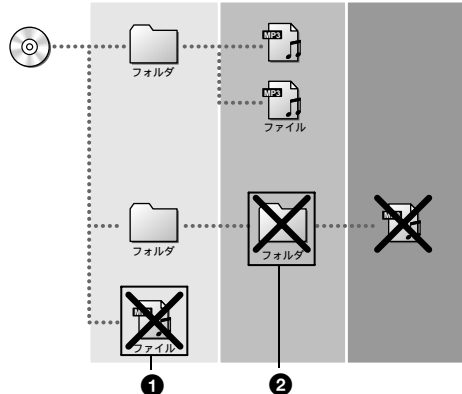
Step1 キーボードを接続する。
以下の図の通りに接続してください。

Step2 キーボードの設定をする。
必要に応じてキーボードの設定や文字入力の設定をしてください。設定方法について詳しくは、「キーボードの設定をする」(111ページ)と「文字入力の設定をする」(109ページ)をご覧ください。

CD-Rへのファイルの保存方法について

本機で再生できる音楽(MP3)や写真、動画のファイルは、以下の方法で保存されたCD-Rのみです。これ以外の方法で保存されたファイルを再生することはできません。

フォルダやファイルの作成・保存場所
CD-Rの直下(ルート)にフォルダを作成し、そのフォルダの中に音楽や写真、動画のファイルを保存してください。

CD-R　1階層目(CD-R直下)　2階層目

フォルダやファイルを作成・保存するときのご注意

- CD-R直下(ルート)に書き込んだファイルは本機で認識されません(下図❶)。
- フォルダの中にフォルダを作成しないでください(下図❷)。

- 1枚のCD-Rに40個以上のフォルダを作成しないでください。
- 1つのフォルダの中に100個以上のMP3ファイルを保存しないでください。
- 1つのフォルダの中に201個以上の写真や動画ファイルを入れないでください。

フォルダ名やファイル名をつけるときのご注意

- ファイル名は64文字以内で設定してください。
- 半角の「<」「>」「|」「"」「/」「\」「*」「:」「?」「¥」「,」などの文字は使用しないでください。
- ファイル名、フォルダ名はISO9660のレベル1、レベル2、拡張フォーマット(Joliet)に準拠していない場合、正しく表示されない場合があります。
- ファイルに名前をつけるときは、ファイルの最後にファイルの内容に従った拡張子をつけてください。ファイルの拡張子は「.JPG」「.GIF」「.MPG」「.TIF」「.mp3」のいずれかをつけてください。

CD-Rへのファイルの保存方法について（つづき）

- JPEG画像ファイルの拡張子には「.JPG」、TIFF画像ファイルの拡張子には「.TIF」、GIF画像ファイルの拡張子には「.GIF」、MPEG1動画ファイルの拡張子には「.MPG」とつけてください。拡張子とファイルの内容が一致していないファイルを再生すると、本機の動作が不安定になります。
- MP3形式以外のファイルに拡張子「.mp3」を付けると、そのファイルを再生してしまう場合があるため、雑音や故障の原因となります。
- ID3タグはVersion1.0にのみ対応しています。
- CD-R上のMP3ファイルにおけるトラック名は、ID3タグが存在する場合、ID3タグの情報を参照して表示されますが文字数に制限があります。
- HDDに取り込んだMP3ファイルのトラック名は、ファイル名を表示しますが、文字数に制限があります。

パソコンでCD-Rに書き込むときのご注意

- CD-Rを必ず使ってください。
- 「Disc at once」で必ず書き込んでください。
- 一度書き込んだCD-Rに追記しないでください。
- ディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- マルチセッションで記録したディスクは、再生できません。
- CD-RWには対応しておりません。
- パケットライトには対応しておりません。

本機が対応しているフォーマットについて

CD-Rファイルシステム	ファイル名文字数制限
ISO9660レベル1	8.3形式
ISO9660レベル2	最大半角31文字（拡張子含む）
拡張フォーマット（Jolietのみ）	最大64文字（拡張子含む）

＊ フォルダは1階層までしか対応していません。

本機が対応しているCD-Rに書き込むための規格

項目	MPEG1 Layer3	MPEG2 Layer3
書き込みモード	モード1、モード2（Form1）に対応	
圧縮方式（サンプリングレート）	48KHz, 44.1KHz, 32KHz	24KHz, 22.05KHz, 16KHz
ビットレート	32k ～ 320kbps、VBRも可＊	8k ～ 160kbps、VBRも可＊
ファイル数	99（1フォルダあたり）	
アルバム（フォルダ）数	39	
アルバム（フォルダ）階層	1	
マルチセッション	非対応	
m3uプレイリスト	非対応	
mp3PRO フォーマット	非対応	

＊ VBRの場合、再生経過時間表示が実際と異なる場合があります。

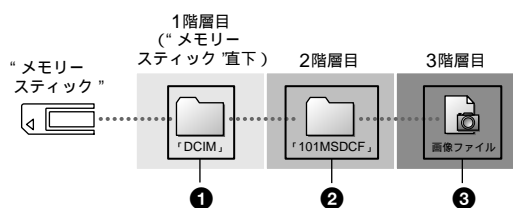
“メモリースティック”への写真や動画ファイルの保存方法について

“メモリースティック”に保存した写真や動画を表示したいときは、写真や動画を以下の形式（DCF*形式）で“メモリースティック”に保存してください。
DCF形式で保存していない場合、本機で再生することはできません。一部のソニー製デジタルスチルカメラ“サイバーショット”にはDCF形式で保存できない機種がありますが、この場合パソコンでDCF形式のフォルダに移動またはコピーすると、本機で再生できるようになります。

＊ 「Design rule for Camera File system」の略で、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された統一規格のことです。

＊“メモリースティック デュオ”を利用するときは、必ず“メモリースティック デュオ”アダプター（別売り）を使ってください。

ファイルを保存する場所について

以下の図のように、3階層目に画像ファイルを保存してください。（下図❸）

- “メモリースティック”直下（ルート）に1階層目のフォルダを作成してください。（上図❶）
- 2階層目のフォルダ（写真や動画を保存するためのフォルダ）は必ず「DCIM」フォルダの直下に作成してください。（上図❷）

ファイルやフォルダ名のつけ方について

- 1階層目のフォルダには必ず半角大文字で「DCIM」という名前をつけてください。
- 2階層目のフォルダ名は、半角英数字3文字＋半角アルファベット5文字の計8文字にしてください。

  例）「101MSDCF」
- 拡張子を除くファイル名は、半角英数字4文字＋半角数字4文字の計8文字にしてください。拡張子はファイルの内容にしたがって「.JPG」「.GIF」「.MPG」「.TIF」のいずれかをつけてください。拡張子とファイルの内容が一致していないファイルを再生すると、本機の動作が不安定になります。

  例）「MOV00399.MPG」
  「DSC00001.JPG」
  「DSC00002.TIF」
  「CLP00003.GIF」

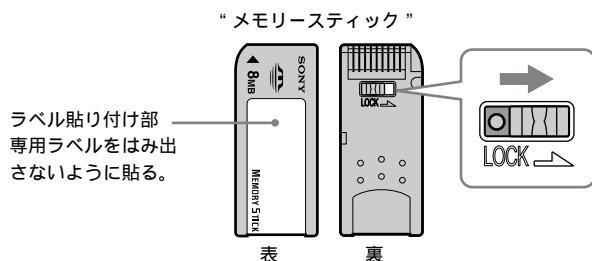
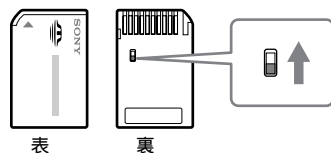
" メモリースティック "について

別売りの" メモリースティック "(" Memory Stick ")は小さくて軽く、フロッピーディスクより大容量のIC記録メディアです。本機で" メモリースティック "を使用するときは、" メモリースティック "に画像を記録、編集した機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

本機では以下の" メモリースティック "に対応しています。

" メモリースティック "の種類	ロゴ
" メモリースティック "(メモリーセレクト機能付きを含む)	MEMORY STICK
" メモリースティック PRO "	MEMORY STICK PRO
" マジックゲート　メモリースティック "	MAGICGATE
" メモリースティック デュオ "*	MEMORY STICK DUO

* " メモリースティック デュオ "を利用するときは、必ず" メモリースティック デュオ "アダプター(別売り)を使ってください。

記録されている音楽や写真などを消さないためには

誤消去防止スイッチをスライドさせて、「LOCK」する。

以下の場合、静止画や動画のファイルが破壊されることがあります

" メモリースティック "に記録されているデータが破壊された場合の内容の保証については、ご容赦ください。大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。

- 静止画・動画ファイルの読み込み中(アクセスランプ点灯中)に、" メモリースティック "を取り出したり、電源コードを抜いた場合
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合

著作権について

本機で記録した静止画や動画及び音楽などの第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できませんのでご注意ください。

記録内容の保証について

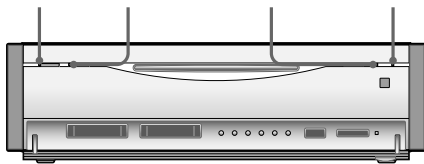
本機を使用中、不具合により記録されなかった場合の内容の保証については、ご容赦ください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはお客様ご相談センター（裏表紙）にお問い合わせください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

本機の型名：DESR-7100（ディーイーエスアール）
DESR-5100（ディーイーエスアール）
リモコンの型名：RMT-P001（アールエムティー ピー）
故障の状況：できるだけ詳しく
購入年月日：

自己診断表示

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、本体のランプの点滅で本機の状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。本体のランプの点滅状態が以下に該当するときは、お買い上げ店またはお客様ご相談センターに点滅の状態をお知らせください。

本機の温度に異常がある場合

I/⏻（電源）ランプ→赤点滅
⏏（取り出し）ランプ→消灯
HDD RECランプ→消灯
DISC RECランプ→消灯

本機のハードディスクの残量がない場合

I/⏻（電源）ランプ→緑点灯
⏏（取り出し）ランプ→消灯
HDD RECランプ→赤点滅
DISC RECランプ→消灯

本機の通信機能に異常がある場合

I/⏻（電源）ランプ→緑点滅⇔赤点滅
⏏（取り出し）ランプ→消灯
HDD RECランプ→消灯
DISC RECランプ→消灯

本機に内蔵されている冷却ファンに異常がある場合

I/⏻（電源）ランプ→赤点滅
⏏（取り出し）ランプ→青点滅
HDD RECランプ→消灯
DISC RECランプ→消灯

本機の症状と対処のしかた

電源	
電源が入らない。	→ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。

画像	
映像が出ない、乱れる。	→ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。 → 接続コードが断線していないか確認してください。 → テレビを本機に接続している入力（「ビデオ」など）に切り換えます。 → プログレッシブ方式に対応していないテレビとつないでいるときに、本機をプログレッシブ出力を「入」に設定しないでください。 → プログレッシブ（525p）方式に対応しているテレビでも、プログレッシブを設定していると映像が乱れることがあります。 → 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続していると、一部のDVDビデオに使用されているコピー制御信号が画質に悪影響をおよぼす可能性があります。 本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続してください（16ページ）。 → ハードディスクの特性上、ごくまれに画像が乱れることがあります。故障ではありません。 → 映像入力と映像出力端子を間違って接続していないか、確認してください。 → BS IF入力端子とVHF/UHF入力端子を逆に接続していないか、確認してください。

テレビのチャンネルを変えられない。	➔ アンテナ線を正しく接続してください(13ページ)。 ➔ チャンネルを飛ばすように設定している場合は、ホームメニューで選局することができません(94ページ)。
本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。	➔ ホームメニューで外部入力を選んでいるか確認してください。 ➔ S映像端子を使って本機の外部入力端子につないだ場合は、テレビの設定画面の[外部映像入力]を[S映像]に設定します(98ページ)。
画面設定の「TVタイプ」で設定した画像の形で再生できない。	➔ 画像の形が固定されているディスクを再生しています。
画面の横縦比がおかしい。	➔ テレビの横縦比に画像を合わせてください(106ページ)。

TV/BS受信

本機で受信しているテレビ放送が映らない。	➔ テレビの設定画面の[手動チャンネル設定]で手動でチャンネルを合わせてください(94ページ)。 ➔ 地上波デジタルテレビジョン放送の開始に伴い、「アナログ周波数変更」が行われた地域では、変更前のチャンネルが停波されていると、番組が見られません。変更後のチャンネルを手動で合わせてください(94ページ)。
本機で受信しているテレビ放送の画像が汚い。	➔ アンテナの向きを調節してください。 ➔ 本機とテレビを離して設置してください。 ➔ 本機から離してアンテナ線をたばねてください。 ➔ 電波が弱い場合、別売りアンテナブースターで電波を増幅してください。 ➔ 分配器の代わりに分波器を使っていないか確認してください。
本機につないだ他機で再生・受信している画像がゆがむ。	➔ DVDプレーヤーやビデオデッキなどで再生しているソフトや、別売りのチューナーなどで受信している信号に、著作権保護のための信号が含まれています。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずして、テレビに直接つないでください。
BS放送の番組が映らない。	➔ BSアンテナを正しくつないでください(13ページ)。 ➔ BSアンテナの受信状態を確認し、BSアンテナの向きを調整してください(95ページ)。 ➔ BSアンテナのごみや雪を取り除いてください。 ➔ 本機ではWOWOWのデコーダーを接続できません。

番組表(Gガイド)

番組表が表示されない。	➔ ①接続と「かんたん設定」が終了しても、番組表のデータを受信するまでは表示されません。②電源を切って受信が終わるまでしばらく待ちます。③受信までに、1日程度かかることがあります。 ➔ 日付や時刻が正しく設定されているか確認してください(108ページ)。 ➔ 録画中は番組表情報は取得できません。 ➔ 番組表のデータを送信している放送局(136ページ)の受信状態が悪い場合、番組表を表示できないことがあります。 ➔ 間違った地域番号やガイドチャンネルが設定されています。テレビの設定画面の[地域番号設定]で、正しい地域番号を入力し直してから[自動チャンネル設定]を行ってください。 ➔ Gガイド番組情報送信放送局または取得時刻が変わった可能性があります。正しい放送局や時刻を設定してください(96ページ)。 ➔ Gガイド番組情報送信放送局または取得時刻が誤った設定に変更されています。「かんたん設定」(20ページ)をもう一度やり直してください。 ➔ CATV(ケーブルテレビ)でご覧になっている場合、ケーブルテレビ会社の局内機器の都合により、番組表情報が取得できない可能性があります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。 ➔ お住まいの地域によっては、番組表を受信できない場合があります。

故障かな？と思ったら(つづき)

症状	対処
表示されない放送局がある。	➔ 間違った地域番号が設定されています。テレビの設定画面の[地域番号設定]で、正しい地域番号を入力し直してください(95ページ)。 ➔ 本機ではWOWOWのデコーダーを接続できません。 ➔ [手動チャンネル設定]で[チャンネル飛ばし]が[する]に設定されています。 ➔ 番組表のデータに含まれない放送局は表示されません。
番組表が更新されない。	➔ 更新時の受信状態が悪い場合、最新の番組表を受信できないことがあります。 ➔ 録画中は番組表情報は取得できません。 ➔ Gガイド番組情報送信放送局または取得時刻が変わった可能性があります。正しい放送局や時刻を設定してください(96ページ)。
番組表に表示されない番組がある。	➔ 受信状態が悪い場合、すべての番組表データを受信できないことがあります。 ➔ 時刻別番組表には、短い番組(5分間の番組など)は表示されません。チャンネル別番組表を使ってください(32ページ)。
間違った放送局名が表示される。	➔ 間違った地域番号が設定されています。テレビの設定画面の[地域番号設定]で、正しい地域番号を入力し直してください。 ➔ 引越などをして、地域番号が変更になったときは、テレビの設定画面の[地域番号設定]で新しい地域番号を入力し直してください。

録画・予約・編集	
裏番組録画中、テレビでチャンネルを変えられない。	➔ テレビ本体の入力切換で見たいチャンネルに切り換えてください。
録画中に■停止ボタンを押しても、録画が止まらない。	➔ ■停止ボタンを押していませんか？ ■録画停止ボタンを押してください。(テレビをご覧になっているときのみ有効です。)
予約したのに録画されていない。	➔ 予約した後で、予約したチャンネルを飛ばした可能性があります(94ページ)。 ➔ コピー制御信号が含まれている映像は青色の画面として録画されます。 ➔ 予約終了時刻と次の予約開始時刻が同じときは、最初の予約の終了前に録画が切れます。 ➔ DVDへのダビング中は録画できません(50ページ)。 ➔ ハードディスクに録画するために必要な空き容量があるか確認してください(42ページ)。
以前録画した内容がなくなっている。	➔ パソコンで録画したDVDディスクを本機に入れると、ディスクの内容が消去されることがあります。

再生	
再生が始まらない。	➔ ディスクが入っているか確認してください。 ➔ 録画されていないディスクが入っていませんか？ ➔ ディスクが裏返しに入っていませんか？ラベル面(再生面ではない面)を表に向けて入れてください(25ページ)。 ➔ ディスクが斜めにずれて入っていませんか？ ➔ CD-ROMなどの再生できないディスクを入れていませんか？（38ページ） ➔ 本機で再生できない地域番号のDVDを入れていませんか？（38ページ） ➔ 結露していると再生できません(8ページ)。 ➔ 他機で作ったファイナライズされていないディスクを再生することはできません。 ➔ 本機で再生できないディスクを入れていませんか？（38ページ）
再生がディスクの最初から始まらない。	➔ 自動的にタイトルメニュー、DVDメニューの画面が出るディスクを入れていませんか？
再生が自動的に始まる。	➔ 自動的に再生が始まるDVDを入れていませんか？
再生が自動的に止まる。	➔ ディスクによってはオートポーズ信号が記録されているものがあります。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。

停止、早送り/早戻し、スロー再生などの操作ができない。	→ 操作を禁止しているディスクを再生していませんか？ディスクに付属の説明書も合わせてご覧ください。
音声言語を変更できない。	→ 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていますか？ → 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生していませんか？ → DVDメニューから操作してください。
字幕を変更できない。	→ 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていますか？ → 字幕を変更したり、字幕を消すことを禁止しているDVDを再生していませんか？ → DVDメニューから操作してください。
アングルを変更して見ることができない。	→ 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていますか？ → アングルの変更を禁止しているDVDを再生していませんか？ → DVDメニューから操作してください。

音声	
音が出ない。	→ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。 → 接続コードが断線していないか確認してください。 → アンプの入力端子に正しく接続されていますか？ → アンプの入力切換で本機の音声が出るようにしてください。 → 一時停止、スロー再生になっていると音が出ません。 → 早送りまたは早戻し（サーチ）になっていると音が出ません。 → 光デジタル音声出力端子から音声が出ないときは本体の設定画面の［光デジタル出力］の設定を確認してください（107ページ）。 → 録画するときにテレビの設定画面の［自動ステレオ受信］を［入］にしてください（95ページ）。 → ドルビーデジタルのデコーダを内蔵していないアンプに光デジタル音声出力で接続していませんか？このようなときは、Audio LR OUT（音声出力）で接続してください。
音声多重放送の音声が切り換えられない。	→ 電波が弱いためモノラルまたは主音声だけで録画されていた可能性があります。アンテナの向きを調節するか、市販のアンテナブースターで電波を増幅してください。

リモコン	
リモコンが働かない。	→ 乾電池が消耗しています（17ページ）。 → 乾電池を交換すると、テレビのメーカー設定はお買い上げ時の設定に戻る場合があります。リモコンのメーカー登録番号を合わせ直してください（17ページ）。 → リモコンを本体に向けて操作してください。 → 本体とリモコンのリモコンモードが合っているか確認してください（18ページ）。 → リモコンを本体から遠いところで操作しないでください。 → リモコン受光部に強い光が当たらないようにしてください。

本機のリモコンで操作したら、本機と他の“ PSX ”が同時に動いてしまった。	➔ 本機と他機のリモコンモードが同じになっていないか確認してください。本機のリモコンモードを変えてください（18ページ）。

“ PlayStation 2 ”	
“ PlayStation 2 ”専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードが認識またはセーブ（記録）できない。	➔“ PlayStation 2 ”専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードが本体にしっかり差し込まれているか確認してください。 ➔ ゲームの指示通りに操作しているか確認してください。ソフトウェアの説明書などをご覧ください。 ➔“ PlayStation 2 ”専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードに空き容量があるか確認してください。 ➔ 使用しているソフトウェアに対応したメモリーカードが差し込まれているか確認してください。 ➔“ PlayStation 2 ”専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードに問題がある可能性があります。お手持ちの他の“ PlayStation 2 ”専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードに交換してお試しください。

その他	
正常に動作しない。	➔ 本体のI/⏻（電源）スイッチを10秒押し続け、もう1度電源を入れ直してください。 ➔ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源を切ってから電源コードを抜き、しばらく置いてから再びコードを差して電源を入れてください。
チャンネルを切り換えたとき画像が出るまで時間がかかる。	➔ 番組表の受信が終了した後は、画像が出るまで時間がかかることがあります。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

• この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
• 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
• 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。
症状が改善されないときは、お客様ご相談センター（裏表紙）へご連絡ください。

修理について（ハードディスク）
• 修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製・保存することはありません。
• ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて消去されますのでご了承ください（著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます）。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

録画内容の保証はできません
不具合、故障、修理、交換、その他の外部要因を含め何らかの原因で録画・編集ができなかった場合、録画・編集されたものが破損、消滅した場合等、いかなる場合においても記録内容の補償及びそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いません。

部品の保有期間について
当社ではハードディスク搭載DVDレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、お客様ご相談センター(裏表紙)へご連絡ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
●型名:DESR-7100/DESR-5100
●ディスクの種類:DVDビデオ、DVD-RW、DVD-Rなど
●接続しているアンテナ:VHF/UHF、VHF/UHF/BS混合、CATV
●つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名
●故障の状態: できるだけ詳しく
●購入年月日:

主な仕様

システム

形式　ハードディスク搭載DVDレコーダー
信号方式　JEITA標準、NTSCカラー方式
受信チャンネル　VHF：1 ～ 12チャンネル
UHF：13 ～ 62チャンネル
CATV：C13 ～ C35チャンネル
BS：1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル
映像受信方式　周波数シンセサイザー方式
音声受信方式　スプリットキャリア方式
映像圧縮方式　MPEG1、MPEG2
音声圧縮方式/ビットレート
リニアPCM（HQモード時）、Dolby Digital 2チャンネル/256 kbps
（HSP、SP、LP、EP、SLPモード時）

入・出力端子

アンテナ入力　地上波：VHF/UHF1軸、75ΩＦ型コネクター
BS IF：75ΩＦ型コネクター（コンバーター用電源出力DC15V 最大4W、芯線側＋）
映像入力　ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
映像出力　ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
S映像入力　4ピンミニDIN、
輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω
色信号：0.286 Vp-p/75 Ω
S1映像出力　4ピンミニDIN
輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω
色信号：0.286 Vp-p/75 Ω
音声入力　ピンジャック
入力レベル：2 Vrms（入力インピーダンス：22 kΩ以上）
音声出力　ピンジャック
出力レベル：2 Vrms（負荷インピーダンス：10 kΩ）
デジタル音声出力*　光：角型光ジャック1系統/-18 dBm（発光波長660 nm）
D1/D2映像出力　D端子/Y：1.0 Vp-p/75 Ω、
P_B/C_B：0.7 Vp-p/75 Ω、
P_R/C_R：0.7 Vp-p/75 Ω

MEMORY STICK挿入口
スタンダード
MEMORY　CARD差込口（2）

ネットワーク端子　10BASE-T/100 BASE-TXコネクター
（ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100 BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）
コントローラ端子（2）

USB端子　1.1、 1系統

* 96 kHz PCM音声は、デジタル音声出力端子から48 kHzに変換されて出力されます。

電源、その他

電源　AC100 V、50/60 Hz
消費電力　80W
許容動作温度　5 ℃～ 35 ℃
許容動作湿度　25 %～ 80 %
最大外形寸法（横置き時）　312 × 88 × 323 mm（幅×高さ×奥行き）最大突起含む
ハードディスク容量　DESR-7100：250Gバイト
DESR-5100：160Gバイト
本体質量　DESR-7100：約5.8kg
DESR-5100：約5.7kg
付属品　映像・音声コード（1）
電源コード（1）
アンテナ分配器（2）
F型コネクター付同軸ケーブル（4）
リモコン（1）
単3形（R6）乾電池（2）
取扱説明書（1）
準備ガイド（1）
保証書（1）
“ PSX ”カルテ（1）
安全のために（1）

別売りアクセサリー
2004年6月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

“ PSX ”専用アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）型名：DESR-10

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様(以下お客様とします)とソニー株式会社(以下ソニーとします)との間での下記のソフトウェア(以下許諾ソフトとします)の使用権の許諾に関する条件を定めるものです。

許諾ソフト[PSX® upgrade software ver.1.30]

第1条(総 則)

許諾ソフトは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利及びこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法律によって保護されています。許諾ソフトは、本契約の条件に従いソニーからお客様に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトの著作権等の知的財産権はお客様に移転いたしません。

第2条(使用権)

1. ソニーは、許諾ソフトの非独占的な使用権をお客様に許諾します。
2. 本契約によって生ずる許諾ソフトの使用権とは、お客様が許諾ソフトをネット上若しくはお客様がソニーより配布を受けた又は購入されたメディア上からお客様の所有するソニー製PSX®(以下本製品とします)1台に1部ダウンロードし、当該製品上において使用する権利をいいます。
3. お客様は、許諾ソフトの全部又は一部を複製、複写したり、これに対する修正、追加等の改変をすることができません。

第3条(権利の制限)

1. お客様は、許諾ソフトを再使用許諾、貸与又はリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
2. 許諾ソフトは1つのソフトウェアとして、本製品における使用を条件に許諾されています。お客様は許諾ソフトの全部若しくは一部又はその構成部分を複数の製品での使用のために分離してはならないものとします。
3. お客様は、許諾ソフトを用いて、ソニー又は第三者の著作権等の権利を侵害する行為を行ってはならないものとします。
4. お客様は、許諾ソフトに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
5. お客様は、本契約に基づいて、本製品と一体としてのみお客様の許諾ソフトに関する権利の全てを譲渡することができます。但しその場合、お客様は許諾ソフトの複製物を保有することはできず、許諾ソフトの一切(全ての構成部分、媒体、マニュアルなどの関連書類、電子文書及び本契約書を含みます)を譲渡し、かつ譲受人が本契約の条項に同意することを条件とします。

第4条(許諾ソフトの権利)

許諾ソフトに関する著作権等一切の権利は、ソニー又はソニーが本契約に基づきお客様に対して使用許諾を行うための権利をソニーに認めた原権利者(以下原権利者とします)に帰属するものとし、お客様は許諾ソフトに関して本契約第2条に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条(責任の範囲)

1. ソニーは、許諾ソフトにエラー、バグ等の不具合がないこと、又は許諾ソフトが中断なく稼動することを保証しません。但し、ソニーは、当該エラー、バグ等の不具合に対応するため、許諾ソフトの一部を書き換えるソフトウェア若しくはバージョンアップの提供による許諾ソフトの修補、許諾ソフトの郵送による交換又は許諾ソフト中の他社製ソフトウェアについての問い合わせ先の通知を行うことがあります。本項に定めるソフトウェア及びバージョンアップの提供方法はソニーがその裁量により定めるものとします。なお、かかる修補又はバージョンアップが行われたソフトウェアについても、特段の定めがない限り本契約の規定が適用されるものとします。
2. ソニーは、許諾ソフトに関連してソニー及び原権利者が第三者の知的財産権を侵害していないことを保証するものではありません。
3. ソニーは、お客様が本契約に基づき許諾された使用権を行使することによりお客様又は第三者に生じた損害に関していかなる責任も負わないものとします。
4. ソニーは、許諾ソフトに関連してソニー又は第三者が提供するサービスの開始又は継続を保証しません。
5. お客様に対するソニーの損害賠償責任は、いかなる場合であってもお客様が証明する本製品の購入代金を上限とします。
6. 尚、許諾ソフトウェアには“ PlayStation® BB ”にアクセスする為の“ PlayStation® BB Navigator ”というソフトウェアが含まれておりますが、“ PlayStation® BB ”上の各種サービスを利用する際には、サービス提供者又は著作権者と別途、利用規定にご同意いただくか又は使用許諾契約をご締結頂く必要のある場合がございますので、あらかじめご了承下さい。まず始めに、“ PlayStation® BB ”インフォ内の利用規約をご一読ください。

第6条(契約の解約)

1. ソニーは、お客様が本契約に定める条項に違反した場合、直ちに本契約を解約することができるものとします。お客様が本契約に定める条項に違反し、ソニーがお客様に本契約解約の通知を送付した場合、お客様が本契約に定める条項に違反したことをソニーが認識した日を以って本契約は終了するものとします(以下契約終了日とします)。
2. 前項の規定により本契約が終了した場合、お客様は契約終了日から 2週間以内に許諾ソフトの使用を中止するものとします。また、お客様はソニーから要請があった場合、ソニーが本製品から許諾ソフトを削除するために本製品をソニーが指定する場所に送付するものとし、ソニーは削除後すみやかに本製品をお客様に返還するものとします。

ソフトウェア使用許諾契約書(つづき)

第７条(その他)

1. 本契約は、日本国法に準拠するものとします。

2. お客様は、許諾ソフトを日本国外に持ち出して使用する場合、適用ある国内外の輸出管理規制、法律、命令に従うものとします。尚、お客様がネット上から本製品に許諾ソフトをダウンロードする行為は、お客様が米国国内にあるソニーグループのサーバーより許諾ソフトを米国国外に輸出し、日本国内に輸入する行為に該当する可能性があります。許諾ソフトは、米国輸出管理規則の規制対象となる暗号技術を含んでいますので、お客様は、米国輸出管理規則の規定に従い、許諾ソフトを米国政府が輸出を禁ずる国(キューバ、イラク、リビア、スーダン、北朝鮮、イラン、シリア)に日本から輸出すること及び米国が取引を禁止している個人、団体に日本から輸出することはできませんので、ご注意下さい。

3. 本契約は、消費者契約法を含む消費者保護法規によるお客様の権利を不利益に変更するものではありません。

4. 本契約の一部条項が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。

本契約に定めなき事項又は本契約の解釈に疑義を生じた場合は、お客様及びソニーは誠意をもって協議し、解決するものとします。

商標について

“ ”、“ PSX ”、“ PlayStation ”、“ DUALSHOCK ”および“ PocketStation ”は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。また、“ DNAS ”は同社の商標です。“ SONY ”はソニー株式会社の登録商標です。

・TIFF Software
  Copyright © 1988-1997 Sam Leffler
  Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

・libgif
  © 1997 Eric S. Raymond

Portions of this software are copyright © 1996-2002 The FreeType Project (www.freetype.org). All Rights Reserved.

Unicode はUnicode, Inc.の商標です。

The International Components for Unicode - Internationalization Classes for Unix Copyright ©2000 International Business Machines Corporation and others. All Rights Reserved.

・libjpeg
  This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

・Standard Template Library
  Copyright (c) 1994 Hewlett-Packard Company
  Copyright (c) 1996 Silicon Graphics Computer Systems, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. Hewlett-Packard Company/ Silicon Graphics makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

・「ATOK for“ PlayStation 2 ”」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK for“ PlayStation 2 ”」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

・「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

本製品に搭載されているフォントの内、リュウミンM-KL 、新ゴR 、新丸ゴR 、MBR-SE1 、MBR-SE2 、MBDB-SE1 、MBDB-SE2 、SGR-SE1 、SGR-SE2 、SGB-SE1 、SGB-SE2 、RM-SE1 、RM-SE2 、REB-SE1 、REB-SE2 、SRGR-SE1 、SRGR-SE2 、SRGB-SE1 、SRGB-SE2 の各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。

本製品はRSA Security Inc.のRSA® BSAFE™ Crypto-C及びRSA® BSAFETM SSL-C を搭載しております。
RSA 及びBSAFE は、RSA Security Inc.の日本、米国およびその他の国における商標又は登録商標です。

DTSおよびDTS Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

Copyright(c) 1988,1989,1990,1991,1992 by Richard Outerbridge. (GEnie: OUTER; CIS:［71755,204］) Graven Imagery, 1992.

Gガイドについて

Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

“ OpenMG ”はソニー株式会社の商標です。

MagicGate は、ソニーが考案した著作権保護の仕組みを表す名称であり、各種メディア間の互換性を保証するものではありません。
MagicGate は、ソニー株式会社の商標です。

“ Memory Stick ”及び Memory Stick は、ソニー株式会社の商標です。

“ ATRAC3 ”は、ソニー株式会社の商標です。

Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/Solana/4C.

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。

Gガイドシステムについて

本機の番組表機能にはGガイドシステムを採用しています。Gガイドシステムでは、特定の放送局(ホスト局)が地上波テレビ放送を利用して番組表データを配信します。本機は番組表データを1日数回受信し、テレビ画面に表示します。
ホスト局からの放送を受信できる地域にお住まいの場合は、かんたん設定を行うだけで、この番組情報サービスを無料にてご利用いただけます。Gガイドの番組情報を利用しているときに GG マークが表示されます。

ご注意

- お住まいの地域や電波状況によっては、ご利用いただけない場合があります。
- 当社はGガイドシステムを利用した番組表のサービス内容に関与していません。

Gガイドシステムのサービス提供について

Gガイドシステムのサービスは(株)インタラクティブ・プログラム・ガイドが主体となって提供されています。番組表データを配信する(株)インタラクティブ・プログラム・ガイドと放送局(ホスト局)の都合により、データが送信されない場合があります。

Gガイドのサービス地域について

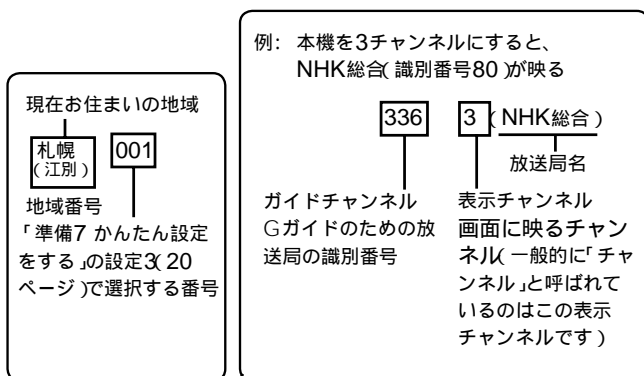
Gガイドシステムを利用した番組表データは、次の放送局より送信されています(2004年6月現在)。

- 北海道地域ー北海道放送(HBC)
- 東北地域ー青森テレビ(ATV)、秋田テレビ(AKT)、岩手放送(IBC)、テレビユー山形(TUY)、東北放送(TBC)、テレビユー福島(TUF)
- 関東地域ー東京放送(TBS)
- 中部地域ー新潟放送(BSN)、信越放送(SBC)、静岡放送(SBS)、中部日本放送(CBC)、テレビ山梨(UTY)、チューリップテレビ(TUT)、北陸放送(MRO)、福井テレビ(FTB)
- 近畿地域ー毎日放送(MBS)、朝日放送(ABC)
- 中国・四国地域ー山陽放送(RSK)、中国放送(RCC)、テレビ山口(TYS)、山陰放送(BSS)、あいテレビ(ITV)、テレビ高知(KUTV)
- 九州・沖縄地域ーRKB毎日放送(RKB)、長崎放送(NBC)、大分放送(OBS)、熊本放送(RKK)、宮崎放送(MRT)、南日本放送(MBC)、琉球放送(RBC)

ガイドチャンネル一覧

Gガイド地域番号・放送局表

「•」の付いている放送局(ホスト局)から番組表のデータが送信されています(2004年6月現在)。

表の中の文字の見かた

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)	
北海道	札幌(江別)	001	336→3 (NHK総合) 257→1 (北海道放送)• 291→35 (北海道テレビ) 273→17 (テレビ北海道)	346→12 (NHK教育) 261→5 (札幌テレビ) 283→27 (北海道文化放送)
	小樽	002	336→11 (NHK総合) 257→9 (北海道放送)• 291→4 (北海道テレビ) 273→24 (テレビ北海道)	346→2 (NHK教育) 261→7 (札幌テレビ) 283→26 (北海道文化放送)
	旭川	003	336→9 (NHK総合) 257→11 (北海道放送)• 291→39 (北海道テレビ) 273→33 (テレビ北海道)	346→2 (NHK教育) 261→7 (札幌テレビ) 283→37 (北海道文化放送)
	名寄	004	336→4 (NHK総合) 257→10 (北海道放送)• 291→24 (北海道テレビ) 273→33 (テレビ北海道)	346→12 (NHK教育) 261→6 (札幌テレビ) 283→26 (北海道文化放送)
	稚内	005	336→28 (NHK総合) 257→10 (北海道放送)• 291→24 (北海道テレビ) 273→33 (テレビ北海道)	346→30 (NHK教育) 261→22 (札幌テレビ) 283→26 (北海道文化放送)
	室蘭	006	336→9 (NHK総合) 257→11 (北海道放送)• 291→39 (北海道テレビ) 273→29 (テレビ北海道)	346→2 (NHK教育) 261→7 (札幌テレビ) 283→37 (北海道文化放送)
	苫小牧	007	336→51 (NHK総合) 257→55 (北海道放送)• 291→61 (北海道テレビ) 273→47 (テレビ北海道)	346→49 (NHK教育) 261→57 (札幌テレビ) 283→53 (北海道文化放送)
	函館	008	336→4 (NHK総合) 257→6 (北海道放送)• 291→35 (北海道テレビ) 273→21 (テレビ北海道)	346→10 (NHK教育) 261→12 (札幌テレビ) 283→27 (北海道文化放送)
	帯広	009	336→4 (NHK総合) 257→6 (北海道放送)• 291→34 (北海道テレビ)	346→12 (NHK教育) 261→10 (札幌テレビ) 283→32 (北海道文化放送)
	釧路	010	336→9 (NHK総合) 257→11 (北海道放送)• 291→39 (北海道テレビ) 273→29 (テレビ北海道)	346→2 (NHK教育) 261→7 (札幌テレビ) 283→41 (北海道文化放送)
	網走	011	336→3 (NHK総合) 257→1 (北海道放送)• 291→35 (北海道テレビ)	346→12 (NHK教育) 261→5 (札幌テレビ) 283→27 (北海道文化放送)
	北見	012	336→9 (NHK総合) 257→53 (北海道放送)• 291→61 (北海道テレビ)	346→2 (NHK教育) 261→7 (札幌テレビ) 283→59 (北海道文化放送)
青森	青森(弘前)	013	592→3 (NHK総合) 513→1 (青森放送) 290→34 (青森朝日放送)	602→5 (NHK教育) 294→38 (青森テレビ)•
	八戸	014	592→9 (NHK総合) 513→11 (青森放送) 290→31 (青森朝日放送)	602→7 (NHK教育) 294→33 (青森テレビ)•
	むつ	015	592→4 (NHK総合) 513→10 (青森放送) 290→56 (青森朝日放送)	602→12 (NHK教育) 294→58 (青森テレビ)•
岩手	盛岡	016	848→4 (NHK総合) 262→6 (岩手放送)• 289→33 (岩手めんこいテレビ)	858→8 (NHK教育) 547→35 (テレビ岩手) 276→31 (岩手朝日テレビ)
	釜石	017	848→2 (NHK総合) 262→10 (岩手放送)• 289→60 (岩手めんこいテレビ)	858→12 (NHK教育) 547→58 (テレビ岩手) 276→62 (岩手朝日テレビ)
	二戸	018	848→5 (NHK総合) 262→2 (岩手放送)• 289→29 (岩手めんこいテレビ)	858→12 (NHK教育) 547→37 (テレビ岩手) 276→27 (岩手朝日テレビ)
宮城	仙台	019	1104→3 (NHK総合) 769→1 (東北放送)• 546→34 (宮城テレビ)	1114→5 (NHK教育) 268→12 (仙台放送) 288→32 (東日本放送)
	石巻	020	1104→51 (NHK総合) 769→59 (東北放送)• 546→55 (宮城テレビ)	1114→49 (NHK教育) 268→57 (仙台放送) 288→61 (東日本放送)
	気仙沼	021	1104→2 (NHK総合) 769→4 (東北放送)• 546→37 (宮城テレビ)	1114→10 (NHK教育) 268→6 (仙台放送) 288→43 (東日本放送)
秋田	秋田	022	1360→9 (NHK総合) 267→11 (秋田放送) 287→31 (秋田朝日放送)	1370→2 (NHK教育) 293→37 (秋田テレビ)•
	大館	023	1360→4 (NHK総合) 267→6 (秋田放送) 287→59 (秋田朝日放送)	1370→8 (NHK教育) 293→57 (秋田テレビ)•
	大曲	024	1360→45 (NHK総合) 267→47 (秋田放送) 287→41 (秋田朝日放送)	1370→43 (NHK教育) 293→51 (秋田テレビ)•
山形	山形	025	1616→8 (NHK総合) 266→10 (山形放送) 292→36 (テレビユー山形)•	1626→4 (NHK教育) 550→38 (山形テレビ) 286→30 (さくらんぼテレビ)
	鶴岡(酒田)	026	1616→3 (NHK総合) 266→1 (山形放送) 292→22 (テレビユー山形)•	1626→6 (NHK教育) 550→39 (山形テレビ) 286→24 (さくらんぼテレビ)
	米沢	027	1616→52 (NHK総合) 266→54 (山形放送) 292→56 (テレビユー山形)•	1626→50 (NHK教育) 550→58 (山形テレビ) 286→60 (さくらんぼテレビ)
福島	福島(郡山)	028	1872→9 (NHK総合) 523→11 (福島テレビ) 803→35 (福島放送)	1882→2 (NHK教育) 545→33 (福島中央テレビ) 543→31 (テレビユー福島)•
	いわき	029	1872→4 (NHK総合) 523→8 (福島テレビ) 803→60 (福島放送)	1882→10 (NHK教育) 545→58 (福島中央テレビ) 543→62 (テレビユー福島)•
	会津若松	030	1872→1 (NHK総合) 523→6 (福島テレビ) 803→41 (福島放送)	1882→3 (NHK教育) 545→37 (福島中央テレビ) 543→47 (テレビユー福島)•
茨城	水戸	031	2128→44 (NHK総合) 260→42 (日本テレビ) 264→38 (フジテレビ) 524→32 (テレビ東京) 270→14 (東京メトロポリタン)	2138→46 (NHK教育) 518→40 (TBSテレビ)• 522→36 (テレビ朝日) 302→39 (千葉テレビ)
	日立	032	2128→52 (NHK総合) 260→54 (日本テレビ) 264→58 (フジテレビ) 524→62 (テレビ東京) 270→14 (東京メトロポリタン)	2138→50 (NHK教育) 518→56 (TBSテレビ)• 522→60 (テレビ朝日) 302→39 (千葉テレビ)
栃木	宇都宮	033	2128→29 (NHK総合) 260→25 (日本テレビ) 264→21 (フジテレビ) 524→17 (テレビ東京) 270→14 (東京メトロポリタン)	2138→27 (NHK教育) 518→23 (TBSテレビ)• 522→19 (テレビ朝日) 535→31 (とちぎテレビ)
	矢板	034	2128→51 (NHK総合) 260→53 (日本テレビ) 264→57 (フジテレビ) 524→61 (テレビ東京) 270→14 (東京メトロポリタン)	2138→49 (NHK教育) 518→55 (TBSテレビ)• 522→59 (テレビ朝日) 535→31 (とちぎテレビ)
群馬	前橋(伊勢崎・高崎)	035	2128→52 (NHK総合) 260→54 (日本テレビ) 264→58 (フジテレビ) 524→62 (テレビ東京) 806→38 (テレビ埼玉)	2138→50 (NHK教育) 518→56 (TBSテレビ)• 522→60 (テレビ朝日) 270→14 (東京メトロポリタン) 304→48 (群馬テレビ)
	桐生	036	2128→43 (NHK総合) 260→39 (日本テレビ) 264→35 (フジテレビ) 304→41 (群馬テレビ) 270→14 (東京メトロポリタン)	2138→45 (NHK教育) 518→37 (TBSテレビ)• 522→33 (テレビ朝日) 524→31 (テレビ東京) 806→38 (テレビ埼玉)

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)	
埼玉	さいたま	037	2128→1 (NHK総合) 260→4 (日本テレビ) 264→8 (フジテレビ) 524→12 (テレビ東京) 270→14 (東京メトロポリタン)	2138→3 (NHK教育) 518→6 (TBSテレビ)• 522→10 (テレビ朝日) 806→38 (テレビ埼玉)
	熊谷	038	2128→33 (NHK総合) 260→25 (日本テレビ) 264→21 (フジテレビ) 524→17 (テレビ東京)	2138→35 (NHK教育) 518→23 (TBSテレビ)• 522→19 (テレビ朝日) 806→28 (テレビ埼玉)
	秩父	039	2128→51 (NHK総合) 260→53 (日本テレビ) 264→57 (フジテレビ) 524→61 (テレビ東京)	2138→49 (NHK教育) 518→55 (TBSテレビ)• 522→59 (テレビ朝日) 806→47 (テレビ埼玉)
千葉	千葉	040	2128→1 (NHK総合) 260→4 (日本テレビ) 264→8 (フジテレビ) 524→12 (テレビ東京) 298→42 (テレビ神奈川)	2138→3 (NHK教育) 518→6 (TBSテレビ)• 522→10 (テレビ朝日) 302→46 (千葉テレビ) 270→14 (東京メトロポリタン)
	銚子	041	2128→51 (NHK総合) 260→53 (日本テレビ) 264→57 (フジテレビ) 524→61 (テレビ東京) 298→42 (テレビ神奈川)	2138→49 (NHK教育) 518→55 (TBSテレビ)• 522→59 (テレビ朝日) 302→39 (千葉テレビ)
東京	23区	042	2128→1 (NHK総合) 260→4 (日本テレビ) 264→8 (フジテレビ) 524→12 (テレビ東京) 298→42 (テレビ神奈川) 270→14 (東京メトロポリタン)	2138→3 (NHK教育) 518→6 (TBSテレビ)• 522→10 (テレビ朝日) 302→46 (千葉テレビ) 806→38 (テレビ埼玉)
	八王子	043	2128→51 (NHK総合) 260→53 (日本テレビ) 264→57 (フジテレビ) 524→61 (テレビ東京) 298→42 (テレビ神奈川) 270→14 (東京メトロポリタン)	2138→49 (NHK教育) 518→55 (TBSテレビ)• 522→59 (テレビ朝日) 302→46 (千葉テレビ) 806→38 (テレビ埼玉)
	多摩	044	2128→30 (NHK総合) 260→26 (日本テレビ) 264→22 (フジテレビ) 524→18 (テレビ東京) 298→42 (テレビ神奈川) 270→28 (東京メトロポリタン)	2138→32 (NHK教育) 518→24 (TBSテレビ)• 522→20 (テレビ朝日) 302→46 (千葉テレビ) 806→38 (テレビ埼玉)
神奈川	横浜1*	045	2128→52 (NHK総合) 260→54 (日本テレビ) 264→58 (フジテレビ) 524→62 (テレビ東京) 270→14 (東京メトロポリタン)	2138→50 (NHK教育) 518→56 (TBSテレビ)• 522→60 (テレビ朝日) 298→48 (テレビ神奈川)
	横浜2*	046	2128→1 (NHK総合) 260→4 (日本テレビ) 264→8 (フジテレビ) 524→12 (テレビ東京) 270→14 (東京メトロポリタン)	2138→3 (NHK教育) 518→6 (TBSテレビ)• 522→10 (テレビ朝日) 298→42 (テレビ神奈川)
	平塚(茅ヶ崎)	047	2128→33 (NHK総合) 260→35 (日本テレビ) 264→39 (フジテレビ) 524→43 (テレビ東京) 270→14 (東京メトロポリタン)	2138→29 (NHK教育) 518→37 (TBSテレビ)• 522→41 (テレビ朝日) 298→31 (テレビ神奈川)
	秦野	048	2128→47 (NHK総合) 260→51 (日本テレビ) 264→55 (フジテレビ) 524→59 (テレビ東京) 270→14 (東京メトロポリタン)	2138→49 (NHK教育) 518→53 (TBSテレビ)• 522→57 (テレビ朝日) 298→61 (テレビ神奈川)
	小田原	049	2128→52 (NHK総合) 260→54 (日本テレビ) 264→58 (フジテレビ) 524→62 (テレビ東京) 270→14 (東京メトロポリタン)	2138→50 (NHK教育) 518→56 (TBSテレビ)• 522→60 (テレビ朝日) 298→46 (テレビ神奈川)
山梨	甲府	050	2896→1 (NHK総合) 773→5 (山梨放送)	2906→3 (NHK教育) 549→37 (テレビ山梨)•

* NHK総合を52チャンネルでご覧の方は「横浜1」を、それ以外の方は「横浜2」を選んでください。どちらかわからない方は「横浜2」を選び、受信状態を確認してください。正しく受信できないときは、「横浜1」を選び直してください。

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)	
長野	長野1**	051	2640→44 (NHK総合) 779→48 (信越放送)• 542→40 (テレビ信州)	2650→46 (NHK教育) 1062→42 (長野放送) 532→50 (長野朝日放送)
	長野2**	052	2640→2 (NHK総合) 779→11 (信越放送)• 542→30 (テレビ信州)	2650→9 (NHK教育) 1062→38 (長野放送) 532→20 (長野朝日放送)
	松本	053	2640→44 (NHK総合) 542→48 (テレビ信州) 1062→42 (長野放送)	2650→46 (NHK教育) 779→40 (信越放送)• 532→50 (長野朝日放送)
	飯田	054	2640→4 (NHK総合) 779→6 (信越放送)• 542→42 (テレビ信州)	2650→3 (NHK教育) 1062→40 (長野放送) 532→44 (長野朝日放送)
	岡谷・諏訪	055	2640→4 (NHK総合) 542→59 (テレビ信州) 1062→47 (長野放送)	2650→8 (NHK教育) 779→6 (信越放送)• 532→61 (長野朝日放送)
新潟	新潟(長岡)	056	2384→8 (NHK総合) 517→5 (新潟放送)• 285→29 (テレビ新潟)	2394→12 (NHK教育) 1059→35 (新潟総合テレビ) 277→21 (新潟テレビ21)
	上越	057	2384→3 (NHK総合) 517→10 (新潟放送)• 285→27 (テレビ新潟)	2394→1 (NHK教育) 1059→33 (新潟総合テレビ) 277→37 (新潟テレビ21)
富山	富山	058	3152→3 (NHK総合) 1025→1 (北日本放送) 544→32 (チューリップテレビ) •	3162→10 (NHK教育) 802→34 (富山テレビ)
	高岡	059	3152→48 (NHK総合) 1025→50 (北日本放送) 544→42 (チューリップテレビ) •	3162→46 (NHK教育) 802→44 (富山テレビ)
石川	金沢(小松)	060	3408→4 (NHK総合) 774→6 (北陸放送)• 801→33 (テレビ金沢)	3418→8 (NHK教育) 805→37 (石川テレビ) 281→25 (北陸朝日放送)
	七尾	061	3408→9 (NHK総合) 774→11 (北陸放送)• 801→57 (テレビ金沢)	3418→5 (NHK教育) 805→55 (石川テレビ) 281→59 (北陸朝日放送)
福井	福井	062	3664→9 (NHK総合) 1035→11 (福井放送)	3674→3 (NHK教育) 295→39 (福井テレビ)•
	敦賀	063	3664→6 (NHK総合) 1035→8 (福井放送)	3674→12 (NHK教育) 295→38 (福井テレビ)•
岐阜	岐阜(大垣)	064	4176→39 (NHK総合) 1029→5 (中部日本放送)• 1547→11 (名古屋テレビ) 1061→37 (岐阜放送) 1313→33 (三重テレビ)	4186→9 (NHK教育) 1281→1 (東海テレビ) 1571→35 (中京テレビ) 537→25 (テレビ愛知)
	高山	065	4176→4 (NHK総合) 1029→6 (中部日本放送)• 1547→12 (名古屋テレビ) 1061→38 (岐阜放送) 1313→33 (三重テレビ)	4186→2 (NHK教育) 1281→8 (東海テレビ) 1571→26 (中京テレビ) 537→25 (テレビ愛知)
	中津川	066	4176→4 (NHK総合) 1029→8 (中部日本放送)• 1547→6 (名古屋テレビ) 1061→28 (岐阜放送) 1313→33 (三重テレビ)	4186→12 (NHK教育) 1281→10 (東海テレビ) 1571→26 (中京テレビ) 537→25 (テレビ愛知)
静岡	静岡(清水・焼津)	067	3920→9 (NHK総合) 1291→11 (静岡放送)• 1057→33 (静岡朝日テレビ)	3930→2 (NHK教育) 1315→35 (テレビ静岡) 799→31 (静岡第一テレビ)
	浜松	068	3920→4 (NHK総合) 1291→6 (静岡放送)• 1057→28 (静岡朝日テレビ)	3930→8 (NHK教育) 1315→34 (テレビ静岡) 799→30 (静岡第一テレビ)
	富士(富士宮)	069	3920→52 (NHK総合) 1291→41 (静岡放送)• 1057→29 (静岡朝日テレビ)	3930→54 (NHK教育) 1315→39 (テレビ静岡) 799→27 (静岡第一テレビ)
	三島・沼津	070	3920→53 (NHK総合) 1291→55 (静岡放送)• 1057→57 (静岡朝日テレビ)	3930→51 (NHK教育) 1315→59 (テレビ静岡) 799→61 (静岡第一テレビ)
	島田	071	3920→1 (NHK総合) 1291→5 (静岡放送)• 1057→50 (静岡朝日テレビ)	3930→3 (NHK教育) 1315→58 (テレビ静岡) 799→48 (静岡第一テレビ)
	藤枝	072	3920→42 (NHK総合) 1291→40 (静岡放送)• 1057→26 (静岡朝日テレビ)	3930→44 (NHK教育) 1315→38 (テレビ静岡) 799→24 (静岡第一テレビ)
愛知	名古屋	073	4176→3 (NHK総合) 1029→5 (中部日本放送)• 1547→11 (名古屋テレビ) 537→25 (テレビ愛知) 1061→37 (岐阜放送)	4186→9 (NHK教育) 1281→1 (東海テレビ) 1571→35 (中京テレビ) 1313→33 (三重テレビ)
	豊橋(豊川)	074	4176→54 (NHK総合) 1029→62 (中部日本放送)• 1547→60 (名古屋テレビ) 537→52 (テレビ愛知) 1061→37 (岐阜放送)	4186→50 (NHK教育) 1281→56 (東海テレビ) 1571→58 (中京テレビ) 1313→33 (三重テレビ)

** NHK総合を44チャンネルでご覧の方は「長野1」を、それ以外の方は「長野2」を選んでください。どちらかわからない方は「長野2」を選び、受信状態を確認してください。正しく受信できないときは、「長野1」を選び直してください。

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
愛知	豊田	075	4176→53（NHK総合）	4186→51（NHK教育）
			1029→55（中部日本放送）•	1281→57（東海テレビ）
			1547→61（名古屋テレビ）	1571→59（中京テレビ）
			537→49（テレビ愛知）	1313→33（三重テレビ）
			1061→37（岐阜放送）	
三重	津	076	4176→31（NHK総合）	4186→9（NHK教育）
			1029→5（中部日本放送）•	1281→1（東海テレビ）
			1547→11（名古屋テレビ）	1571→35（中京テレビ）
			1313→33（三重テレビ）	537→25（テレビ愛知）
	伊勢	077	4176→53（NHK総合）	4186→49（NHK教育）
			1029→55（中部日本放送）•	1281→57（東海テレビ）
			1547→61（名古屋テレビ）	1571→47（中京テレビ）
			1313→59（三重テレビ）	537→25（テレビ愛知）
	名張	078	4176→52（NHK総合）	4186→50（NHK教育）
			1029→60（中部日本放送）•	1281→62（東海テレビ）
			1547→56（名古屋テレビ）	1571→54（中京テレビ）
			1313→58（三重テレビ）	537→25（テレビ愛知）
滋賀	大津	079	4432→28（NHK総合）	4442→46（NHK教育）
			516→36（毎日放送）•	1030→38（朝日放送）
			520→40（関西テレビ）	778→42（読売テレビ）
			798→30（びわ湖放送）	1058→34（京都テレビ）
	彦根	080	4432→52（NHK総合）	4442→50（NHK教育）
			516→54（毎日放送）•	1030→58（朝日放送）
			520→60（関西テレビ）	778→62（読売テレビ）
			798→56（びわ湖放送）	1058→34（京都テレビ）
京都	京都（宇治）	081	4432→2（NHK総合）	4442→12（NHK教育）
			516→4（毎日放送）•	1030→6（朝日放送）
			520→8（関西テレビ）	778→10（読売テレビ）
			1058→34（京都テレビ）	275→19（テレビ大阪）
			548→36（サンテレビ）	
	舞鶴	082	4432→51（NHK総合）	4442→49（NHK教育）
			516→53（毎日放送）•	1030→55（朝日放送）
			520→59（関西テレビ）	778→61（読売テレビ）
			1058→57（京都テレビ）	275→19（テレビ大阪）
			548→36（サンテレビ）	
	福知山	083	4432→50（NHK総合）	4442→52（NHK教育）
			516→54（毎日放送）•	1030→58（朝日放送）
			520→60（関西テレビ）	778→62（読売テレビ）
			1058→56（京都テレビ）	275→19（テレビ大阪）
			548→36（サンテレビ）	
大阪	大阪	084	4432→2（NHK総合）	4442→12（NHK教育）
			516→4（毎日放送）•	1030→6（朝日放送）
			520→8（関西テレビ）	778→10（読売テレビ）
			275→19（テレビ大阪）	1058→34（京都テレビ）
			548→36（サンテレビ）	
兵庫	神戸	085	4432→28（NHK総合）	4442→26（NHK教育）
			516→18（毎日放送）•	1030→20（朝日放送）
			520→22（関西テレビ）	778→24（読売テレビ）
			548→36（サンテレビ）	275→19（テレビ大阪）
	神戸灘	086	4432→52（NHK総合）	4442→50（NHK教育）
			516→54（毎日放送）•	1030→56（朝日放送）
			520→58（関西テレビ）	778→60（読売テレビ）
			548→62（サンテレビ）	275→19（テレビ大阪）
	川西	087	4432→29（NHK総合）	4442→31（NHK教育）
			516→35（毎日放送）•	1030→37（朝日放送）
			520→39（関西テレビ）	778→41（読売テレビ）
			548→33（サンテレビ）	275→19（テレビ大阪）
	三木	088	4432→44（NHK総合）	4442→46（NHK教育）
			516→34（毎日放送）•	1030→38（朝日放送）
			520→40（関西テレビ）	778→42（読売テレビ）
			548→36（サンテレビ）	275→19（テレビ大阪）
	姫路	089	4432→50（NHK総合）	4442→52（NHK教育）
			516→54（毎日放送）•	1030→58（朝日放送）
			520→60（関西テレビ）	778→62（読売テレビ）
			548→56（サンテレビ）	275→19（テレビ大阪）
	明石（加古川）	090	4432→51（NHK総合）	4442→49（NHK教育）
			516→53（毎日放送）•	1030→57（朝日放送）
			520→59（関西テレビ）	778→61（読売テレビ）
			548→55（サンテレビ）	275→19（テレビ大阪）
奈良	奈良	091	4432→51（NHK総合）	4442→12（NHK教育）
			516→4（毎日放送）•	1030→6（朝日放送）
			520→8（関西テレビ）	778→10（読売テレビ）
			311→55（奈良テレビ）	548→36（サンテレビ）
			1058→34（京都テレビ）	275→19（テレビ大阪）
	五條	092	4432→43（NHK総合）	4442→45（NHK教育）
			516→33（毎日放送）•	1030→35（朝日放送）
			520→37（関西テレビ）	778→39（読売テレビ）
			311→41（奈良テレビ）	548→36（サンテレビ）
			1058→34（京都テレビ）	275→19（テレビ大阪）
和歌山	和歌山	093	4432→32（NHK総合）	4442→26（NHK教育）
			516→42（毎日放送）•	1030→44（朝日放送）
			520→46（関西テレビ）	778→48（読売テレビ）
			1054→30（テレビ和歌山）	
	海南・田辺	094	4432→50（NHK総合）	4442→52（NHK教育）
			516→54（毎日放送）•	1030→58（朝日放送）
			520→60（関西テレビ）	778→62（読売テレビ）
			1054→56（テレビ和歌山）	
鳥取	鳥取	095	4688→3（NHK総合）	4698→4（NHK教育）
			1537→1（日本海テレビ）	1034→22（山陰放送）•
			1314→24（山陰中央テレビ）	
島根	松江	096	4944→6（NHK総合）	4954→12（NHK教育）
			1034→10（山陰放送）•	1314→34（山陰中央テレビ）
			1537→30（日本海テレビ）	
	浜田	097	4944→2（NHK総合）	4954→9（NHK教育）
			1034→5（山陰放送）•	1314→58（山陰中央テレビ）
			1537→54（日本海テレビ）	
岡山	岡山（倉敷）	098	5200→5（NHK総合）	5210→3（NHK教育）
			1803→11（山陽放送）•	1827→35（岡山放送）
			279→23（テレビせとうち）	265→9（西日本放送）
			1569→25（瀬戸内海放送）	
	津山	099	5200→2（NHK総合）	5210→12（NHK教育）
			1803→7（山陽放送）•	1827→60（岡山放送）
			279→56（テレビせとうち）	265→58（西日本放送）
			1569→62（瀬戸内海放送）	
	笠岡	100	5200→2（NHK総合）	5210→4（NHK教育）
			1803→6（山陽放送）•	1827→60（岡山放送）
			279→19（テレビせとうち）	265→17（西日本放送）
			1569→21（瀬戸内海放送）	
広島	広島	101	5456→3（NHK総合）	5466→7（NHK教育）
			772→4（中国放送）•	780→12（広島テレビ）
			2083→35（広島ホームテレビ）	1055→31（テレビ新広島）
	福山	102	5456→5（NHK総合）	5466→3（NHK教育）
			772→7（中国放送）•	780→11（広島テレビ）
			2083→57（広島ホームテレビ）	1055→54（テレビ新広島）
	尾道	103	5456→1（NHK総合）	5466→7（NHK教育）
			772→10（中国放送）•	780→12（広島テレビ）
			2083→24（広島ホームテレビ）	1055→26（テレビ新広島）
	呉	104	5456→11（NHK総合）	5466→1（NHK教育）
			772→9（中国放送）•	780→5（広島テレビ）
			2083→24（広島ホームテレビ）	1055→26（テレビ新広島）
山口	山口（徳山・防府）	105	5712→9（NHK総合）	5722→1（NHK教育）
			2059→11（山口放送）	1318→38（テレビ山口）•
			284→28（山口朝日放送）	
	下関	106	5712→39（NHK総合）	5722→41（NHK教育）
			2059→4（山口放送）	1318→33（テレビ山口）•
			284→21（山口朝日放送）	
	宇部	107	5712→16（NHK総合）	5722→14（NHK教育）
			2059→18（山口放送）	1318→20（テレビ山口）•
			284→31（山口朝日放送）	
	岩国	108	5712→9（NHK総合）	5722→1（NHK教育）
			2059→11（山口放送）	1318→22（テレビ山口）•
			284→28（山口朝日放送）	
徳島	徳島	109	5968→3（NHK総合）	5978→38（NHK教育）
			1793→1（四国放送）	516→4（毎日放送）•
			1030→6（朝日放送）•	520→8（関西テレビ）
香川	高松	110	6224→37（NHK総合）	6234→39（NHK教育）
			1569→33（瀬戸内海放送）	265→41（西日本放送）
			1803→29（山陽放送）•	1827→31（岡山放送）
			279→19（テレビせとうち）	
	丸亀	111	6224→44（NHK総合）	6234→40（NHK教育）
			1569→42（瀬戸内海放送）	265→20（西日本放送）
			1803→18（山陽放送）•	1827→22（岡山放送）
			279→16（テレビせとうち）	
愛媛	松山	112	6480→6（NHK総合）	6490→2（NHK教育）
			1290→10（南海放送）	1317→37（愛媛放送）
			541→29（あいテレビ）•	793→25（愛媛朝日テレビ）
	新居浜	113	6480→2（NHK総合）	6490→4（NHK教育）
			1290→6（南海放送）	1317→36（愛媛放送）
			541→27（あいテレビ）•	793→14（愛媛朝日テレビ）
	今治	114	6480→32（NHK総合）	6490→30（NHK教育）
			1290→34（南海放送）	1317→36（愛媛放送）
			541→27（あいテレビ）•	793→17（愛媛朝日テレビ）
	宇和島	115	6480→6（NHK総合）	6490→1（NHK教育）
			1290→10（南海放送）	1317→32（愛媛放送）
			541→34（あいテレビ）•	793→16（愛媛朝日テレビ）
高知	高知	116	6736→4（NHK総合）	6746→6（NHK教育）
			776→8（高知放送）	1574→38（テレビ高知）•
			296→40（高知さんさんテレビ）	

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)	
福岡	福岡	117	6992→3 (NHK総合) 1028→4 (RKB毎日放送)• 521→9 (テレビ西日本) 531→19 (TXN九州)	7002→6 (NHK教育) 2049→1 (九州朝日放送) 1573→37 (福岡放送)
	久留米	118	6992→46 (NHK総合) 1028→48 (RKB毎日放送)• 521→60 (テレビ西日本) 531→14 (TXN九州)	7002→54 (NHK教育) 2049→57 (九州朝日放送) 1573→52 (福岡放送)
	大牟田	119	6992→53 (NHK総合) 1028→61 (RKB毎日放送)• 521→55 (テレビ西日本) 531→19 (TXN九州)	7002→50 (NHK教育) 2049→58 (九州朝日放送) 1573→43 (福岡放送)
	北九州	120	6992→6 (NHK総合) 1028→8 (RKB毎日放送)• 521→10 (テレビ西日本) 531→23 (TXN九州)	7002→12 (NHK教育) 2049→2 (九州朝日放送) 1573→35 (福岡放送)
	行橋	121	6992→49 (NHK総合) 1028→60 (RKB毎日放送)• 521→54 (テレビ西日本) 531→19 (TXN九州)	7002→46 (NHK教育) 2049→57 (九州朝日放送) 1573→43 (福岡放送)
佐賀	佐賀	122	7760→38 (NHK総合) 804→36 (サガテレビ) 1573→52 (福岡放送) 1028→48 (RKB毎日放送)•	7770→40 (NHK教育) 2315→11 (熊本放送) 531→14 (TXN九州) 2049→57 (九州朝日放送)
長崎	長崎	123	7248→3 (NHK総合) 1285→5 (長崎放送)• 539→27 (長崎文化放送)	7258→1 (NHK教育) 1829→37 (テレビ長崎) 1049→25 (長崎国際テレビ)
	佐世保	124	7248→8 (NHK総合) 1285→10 (長崎放送)• 539→31 (長崎文化放送)	7258→2 (NHK教育) 1829→35 (テレビ長崎) 1049→17 (長崎国際テレビ)
	諫早	125	7248→47 (NHK総合) 1285→49 (長崎放送)• 539→24 (長崎文化放送)	7258→45 (NHK教育) 1829→42 (テレビ長崎) 1049→20 (長崎国際テレビ)
熊本	熊本	126	7504→9 (NHK総合) 2315→11 (熊本放送)• 278→22 (熊本県民テレビ)	7514→2 (NHK教育) 1570→34 (テレビ熊本) 528→16 (熊本朝日放送)
大分	大分(別府)	127	8016→3 (NHK総合) 1541→5 (大分放送)• 280→24 (大分朝日放送)	8026→12 (NHK教育) 1060→36 (テレビ大分)
	中津	128	8016→48 (NHK総合) 1541→51 (大分放送)• 280→17 (大分朝日放送)	8026→45 (NHK教育) 1060→37 (テレビ大分)
宮崎	宮崎	129	8272→8 (NHK総合) 1546→10 (宮崎放送)•	8282→12 (NHK教育) 2339→35 (テレビ宮崎)
	延岡	130	8272→4 (NHK総合) 1546→6 (宮崎放送)•	8282→2 (NHK教育) 2339→39 (テレビ宮崎)
鹿児島	鹿児島	131	8528→3 (NHK総合) 2305→1 (南日本放送)• 800→32 (鹿児島放送)	8538→5 (NHK教育) 1830→38 (鹿児島テレビ) 1310→30 (鹿児島読売テレビ)
	阿久根	132	8528→8 (NHK総合) 2305→10 (南日本放送)• 800→23 (鹿児島放送)	8538→12 (NHK教育) 1830→35 (鹿児島テレビ) 1310→17 (鹿児島読売テレビ)
	鹿屋	133	8528→4 (NHK総合) 2305→6 (南日本放送)• 800→31 (鹿児島放送)	8538→2 (NHK教育) 1830→33 (鹿児島テレビ) 1310→25 (鹿児島読売テレビ)
沖縄	沖縄	134	8784→2 (NHK総合) 1802→10 (琉球放送)• 540→28 (琉球朝日放送)	8794→12 (NHK教育) 1032→8 (沖縄テレビ)

BS放送のガイドチャンネルについて

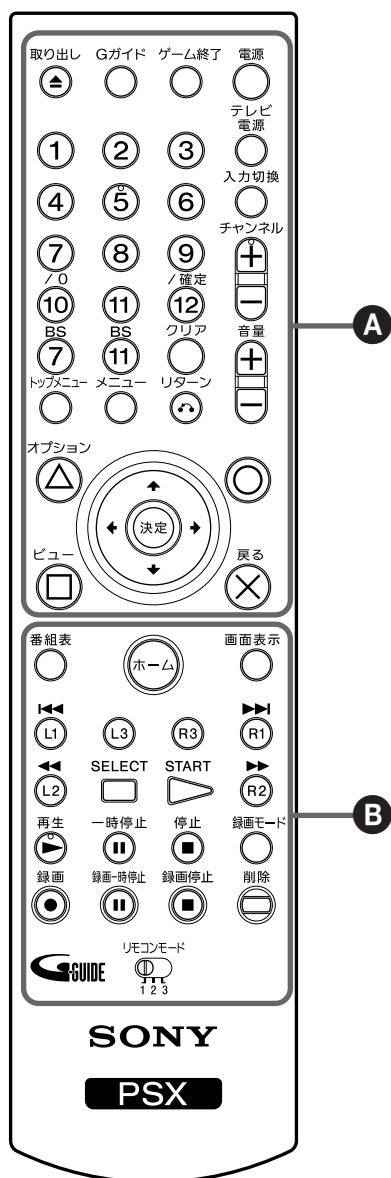
BS放送局名	ガイドチャンネル
NHK衛星第一	74
NHK衛星第二	76
WOWOW	73

各部のなまえ

各部の説明は(　)内のページをご覧ください。

リモコン

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。

数字、チャンネル、再生ボタンには凸(突起)がついています(数字ボタンは「5」のみ、チャンネル＋/－ボタンは「＋」のみ)。操作の目印としてお使いください。

A

ボタン	名称	機能/参照ページ
取り出し	⏏取り出し	ディスクを取り出す
Gガイド	Gガイド	番組表を表示させる/終了させる(31)
ゲーム終了	ゲーム終了	ゲームモードを終了する(87)
電源	電源	本機の電源を入れる
1 ～ 12	数字ボタン	チャンネルを選ぶ/数字を入力する(17)
BS 7 BS 11	BSチャンネル	BSチャンネルを選ぶ
クリア	クリア	入力した数字を消す
トップメニュー	トップメニュー	DVDのタイトルを表示させる
メニュー	メニュー	DVDのメニューを表示させる
リターン	リターン	1つ前の画面に戻る
テレビ電源	テレビ電源	テレビの電源を入れる
入力切換	テレビ入力切換	テレビの入力を切り換える
チャンネル ＋ －	テレビチャンネル＋/－	テレビのチャンネルを選ぶ
音量 ＋ －	テレビ音量＋/－	テレビの音量を調整する
オプション △	△/オプション	操作パネルを表示させる/オプション画面を表示させる(41、36)
ビュー □	□/ビュー	ビジュアライザーを変更する
○	○	決定する
戻る ×	×/戻る	1つ前の画面に戻る
決定	↑↓←→/決定	決定する(40)、↑↓でチャンネルを選ぶ

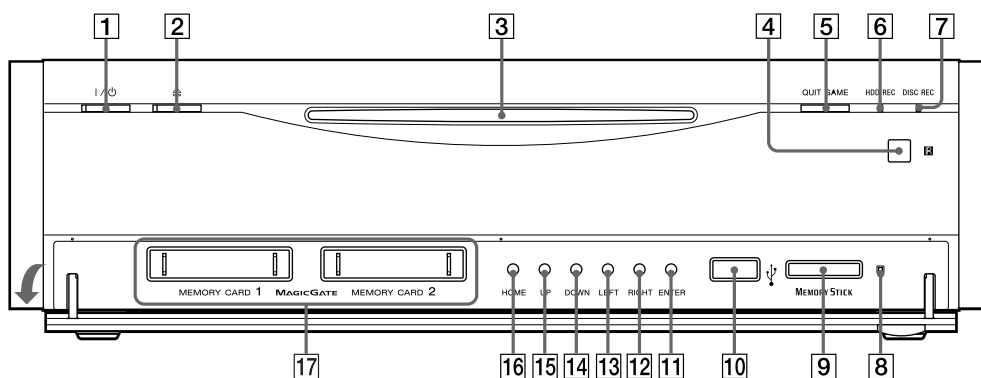
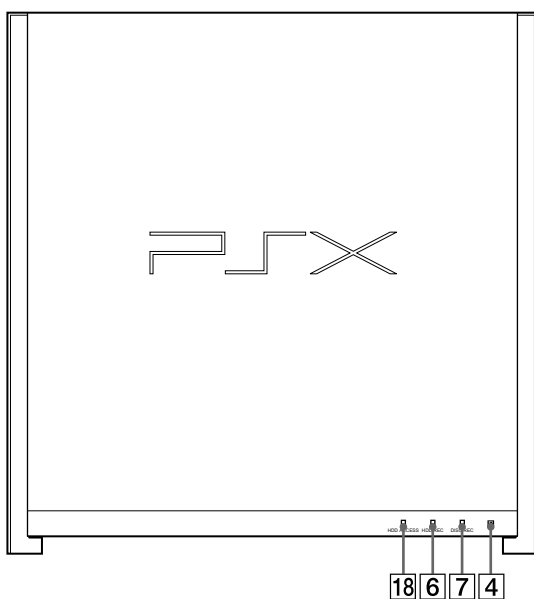
B

ボタン	名称	機能/参照ページ
ホーム	ホーム	ホームメニューを表示させる(40)
番組表	番組表	番組表を表示させる/切り換える(33)
画面表示	画面表示/時間表示	画面表示/時間表示を切り換える(53)
L1	L1/I◀◀	タイトルの頭に戻る
R1	R1/▶▶I	次のタイトルの頭に進む
L2	L2/◀◀	再生中のとき早戻し再生になる
R2	R2/▶▶	再生中のとき早送り再生になる
L3	L3	-
R3	R3	チャプターマークを加える
SELECT	SELECT(セレクト)	ホームメニューを表示させる
START	START(スタート)	-
再生	▷再生	再生する
一時停止	❚❚一時停止	一時停止する
停止	■停止	停止する
録画モード	録画モード	録画モードを切り換える
録画	●録画	録画を開始する
録画一時停止	❚❚録画一時停止	録画一時停止する
録画停止	■録画停止	テレビ番組を表示中に録画を停止する
削除	削除	音楽を削除する
リモコンモード 1 2 3	リモコンモードスイッチ	リモコンモードを切り換える

各部のなまえ（つづき）

本体

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。（）内の数字はページ番号です。

前面（横置き）

天面（縦置き）

1 I/⏻（電源）スイッチ（21）

2 ⏏（取り出し）ボタン（25）

3 ディスクスロット（25）

4 🅁（リモコン受光部）

5 QUIT GAME（ゲーム終了）ボタン（87）

6 HDD REC（HDD録画）ランプ（126）

7 DISC REC（ディスク録画）ランプ（126）

8 MEMORY STICKアクセスランプ（25）

9 MEMORY STICK挿入口（25）

10 USB端子（24）

11 ENTER（決定）ボタン

12 RIGHT（右）ボタン

13 LEFT（左）ボタン

14 DOWN（下）ボタン

15 UP（上）ボタン

16 HOMEボタン

17 MEMORY CARD差込口（22）

18 HDD ACCESSランプ（18）

()内の数字はページ番号です。

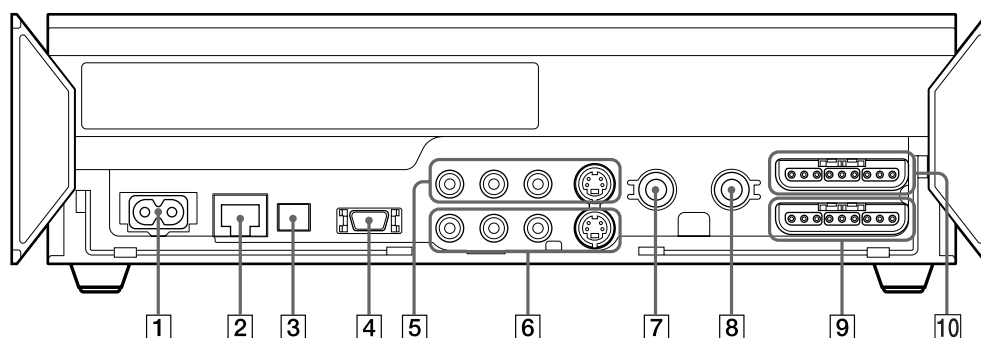
後面

1 ～AC IN(電源入力)端子(18)

2 NETWORK(ネットワーク)端子(113)

3 DIGITAL OUT(OPTICAL)(光デジタル音声出力)端子(24)

4 D1/D2(映像出力)端子(16)

5 AUDIO LR/VIDEO/S VIDEO IN(音声/映像/S映像入力)端子(23)

6 AUDIO LR/VIDEO/S VIDEO OUT(音声/映像/S1映像出力)端子(16)

7 VHF/UHF IN(VHF/UHF入力)端子(13)

8 BS IF IN(BS IF入力)端子(13)

9 コントローラ端子2(22)

10 コントローラ端子1(22)

用語集

ア行

アンテナレベル(95ページ)
アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナ接続ケーブルの長さによって影響を受けます。

インターレース(26ページ)
映像の1フレーム(コマ)を2つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方法です。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示するようになっています。

カ行

ガイドチャンネル(94、136ページ)
ジェムスター社が各放送局に割り当てている識別番号です。

書き込みモード
CD-ROMを記録するときの規格です。

拡張子
ファイルの種類をあらわすための文字列です。MP3ファイルの場合は、ファイル名の後に「.」を挟んで「mp3」という拡張子をつけます。

例)　ongaku.mp3
ファイル名　拡張子
ドット

クリップモーション
サイバーショットで扱えるGIF形式の画像の1つ。1つのファイルに複数枚のGIF形式の画像を組み合わせ、パラパラ漫画のような動きのある画像を表示させることができます。

ケーブルテレビ(CATV)(110ページ)
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。地上アナログのテレビ番組や地上デジタル、BSアナログに加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

ゴースト(94ページ)
放送局からの電波が、テレビアンテナに届く前に、建物や地形の影響で妨害波となり、時間がずれて二重、三重に受信されることです。そのため、正しく送られてきた画像に妨害電波の画像が重なって表れ、見にくい画面となります。

コピー制御信号(9ページ)
複製防止機能のことです。著作権者などによって、複製を制限するための信号が記録されているソフトや、放送番組は録画することができません。

サ行

視聴年齢制限(102ページ)
国・地域ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制限に対応したディスクへの再生を制限するDVDの機能です。制限のしかたはDVDによって異なり、全く再生しない場合や、過激な場面をとばして、別の場面に差し換えて再生する場合などがあります。

受信チャンネル(94ページ)
本機が放送局を受信したときのチャンネル。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じです。本機では、かんたん設定をおこなったときに設定されます。

スプリッター(113ページ)
電話線に混在している音声通話とADSLの情報を2つに分けるために使用します。音声通話よりもADSLが使用する周波数帯域が高いため、ADSLの情報を分離できるようになっています。

タ行 ナ行

チャプター(62ページ)
HDDやDVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位です。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されています。チャプターが記録されていないタイトルもあります。

デフォルトルータ(117ページ)
ネットワーク上で、異なる方式を使用している機器間の接続を可能にする仕組みです。

ドルビーデジタル(101ページ)
ドルビーラボラトリーズの開発した音声圧縮技術です。マルチチャンネル・サラウンドに対応しています。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力します。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができます。

ネットマスク(117ページ)
IPアドレスの一部で、サブネットを特定するものです。

ハ行

ハードディスク(8ページ)
大容量データ記憶装置のひとつ。表面に磁性体を塗った平らな円盤(ディスク)を回転させ、それに磁気ヘッドを近づけてデータを記録します。磁気ディスクと駆動機構が一体になっているため、非常に高速でデータを読み書きすることができ、データの検索性にすぐれています。

パケットライト
CD-Rにデータを書き込むときに、データをパケットと呼ばれる単位に分割して書き込む記録方法です。

ビットレート
1秒間にどれだけの情報があるかを表わす指標です。数値が大きいほど単位時間あたりに対する情報量が多いため音質もよくなります。

プログレッシブ（101ページ）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの画像で表示する方法。従来のインターレース方式が1秒を30フレーム（60フィールド）で構成するのに対して、初めから1秒を60フレームで構成することで高品質な映像を再現できます。

ブロードバンド（112ページ）
広域の周波数帯域を使用して、大容量の映像・音声データを高速で送受信できる回線の総称です。現在、ブロードバンドと言われるものには、ADSL、CATVインターネット、FTTHなどがあります。

ブロードバンドルータ（113ページ）
ADSLやCATVインターネットでインターネットに接続する場合、ADSLモデムやケーブルモデムという機器を使いますが、複数の端末からインターネットに接続するときは、ブロードバンドルータという機器を使用します。

プロバイダ（112ページ）
「インターネットサービスプロバイダ（ISP）」とも言います。インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者です。

マ行 ヤ行

マルチセッション
一枚のCD-Rに複数のセッションを書き込む方法です。トラックアットワンスなどで書き込んだCD-Rはマルチセッションになります。

“メモリースティック”（125ページ）
小さくて軽く、フロッピーディスクよりも容量が大きいIC記録メディアです。本機では“メモリースティック”を使って写真を再生できます。

ユーザーID（116ページ）
ネットワークに接続するときに使用します。パスワードと組み合わせて、利用者本人であることを確認します。

ラ行 ワ行

ルータ（112ページ）
ネットワーク間を中継する装置の事で、相互のネットワークのプロトコルやアドレスの変換を行います。ADSLやCATVインターネットに接続するためのブロードバンドルータがあります。単に「ルータ」と呼ぶときは、これらの機器をさすこともあります。

ABC

ATRAC3（75ページ）
ミニディスクで使用していた音楽圧縮フォーマット「Atrac」をもとに、圧縮率と音質の向上を図った圧縮規格です。

CD-R
書き込み可能なCDの規格です。本機では、CD-Rに書き込んだ写真や音楽のファイルの読み込みのみ対応しています。

DEF

D端子（143ページ）
DVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。本機とテレビを1本のケーブルでつなげるだけで、かんたんに映像信号を送ることできます。コンポーネット映像で接続するため、映像出力端子でテレビとつなげたときよりも、より高画質な画像が楽しめます。
D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。

- D1端子：525i（480i）の信号に対応
- D2端子：525i（480i）と525p(480p）の信号に対応
- D3端子：525i(480i）と525p(480p)、1125i(1080i）の信号に対応
- D4端子：525i（480i）と525p（480p)、1125i（1080i）、750p（720p）の信号に対応

本機にはD1/Ｄ２端子に対応しています。

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。
( )内は有効走査線数で数えたときの別称です。

DCF
Design rule for Camera File system の略。デジタルカメラ用の画像のフォーマットです。

Disc at once［ディスク アット ワンス］
CD-Rへの書き込み方法のひとつです。すべてのデータを一度に書き込む方法です。本機では、この方法で書き込んだCD-Rのみ再生できます。

DNS（117ページ）
「プライマリDNS」、「ドメインネームサーバ」、「DNSサーバ」などとも呼びます。
ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバでIPアドレスで特定されています。

DTS（101ページ）
デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術です。マルチチャンネル・サラウンドに対応しています。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力されます。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルでたのしむことができます。

DVD+RW［ディーブイディープラスアールダブリュー］
書き換え可能なDVDの規格の一つ。DVD-RWと比べて、DVD-ROMとの互換性が高い。

GH

GB［ギガバイト］（107ページ）
HDDやDVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量となります。1GBは約1000MB（メガバイト）あります。

GIF［ジフ］
画像ファイル形式の一つです。本機では、GIF形式の画像の再生や取り込みができます。

用語集(つづき)

IJKL

ID3タグ[アイディー3タグ]
MP3のファイルにタイトルやアーティスト名などの情報を付加するための規格です。

IPアドレス[アイピーアドレス](117ページ)
TCP/IP(伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル)ネットワークで使用される識別情報。
通常は、3桁の数字4組を点で区切ったものです。(192.168.239.1など)

ISO9660 [アイエスオー 9660]
CD-ROMの論理ファイルフォーマットに関する規格です。

Joliet[ジュリエット]
CD-ROMの論理ファイルフォーマットに関する規格です。

LPCM(97ページ)
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式です。「リニア･パルス･コード･モジュレーション(Linear Pulse Code Modulation)」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

MNO

MACアドレス[マックアドレス](107ページ)
Media Access Controlの略称です。
LAN上につながっている機器を識別するために各機器ごとに割り当てられている番号です。ケーブルテレビ会社によっては、本機のMACアドレスの届け出が必要な場合があります。本機のMACアドレスは、「本体の設定」の「情報表示」(107ページ)で確認できます。

MagicGate[マジックゲート](135ページ)
デジタル音楽コンテンツの著作権を保護するための暗号化技術です。

MPEG[エムペグ](132ページ)
Moving Picture Experts Groupの略称です。動画像データの圧縮するための国際標準規格です。

MPEG1[エムペグ1]
映像データの圧縮方式の一つ。VHSビデオ並みの画質で、動画を再生することができます。

MPEG1 Audio Layer3
MP3で利用される音声圧縮方式で、MPEG1で標準化された音声規格です。

MPEG2 Audio Layer3
MP3で利用される音声圧縮方式で、MPEG2で標準化された音声規格です。

MP3[エムピースリー]
音楽フォーマットのひとつで、MPEGによって規格された音声圧縮規格です。
高い圧縮率にも関わらず、CDに近い高音質を保つことができます。本機ではパソコンなどで作成したMP3ファイルを再生したり、ハードディスクに取り込んだりすることができます。

mp3PRO[エムピー3プロ]
MP3の独自拡張規格です。

m3u[エム3ユー]
演奏リストファイル形式のひとつです。

PQRSTUVWXYZ

PPPoE[ピーピーピーオーイー](116ページ)
Point-to-Point Protocol over Ethernetの略称です。ADSLやFTTHを使ってインターネットに接続するときに使われるプロトコルです。

TIFF[ティフ]
画像ファイル形式のひとつです。本機ではデジタルカメラで保存したTIFFファイルを再生したり、ハードディスクに取り込んだりすることができます。

VBR[ブイビーアール]
曲のデータ量を自動的に調整し、音質を落とさずにファイルサイズを必要最低限に抑える機能です。

数字

8.3形式
ファイル名の形式を規定した規格です。
8.3形式の場合、ファイルの名前は半角文字で8文字以下、拡張子は3文字以下で設定します。

索引

かな